

ハケンのホント
ハケンのホンネ

派遣社員WEBアンケート調査結果 2024年度

一般社団法人日本人材派遣協会（所在地：東京都港区、会長：川崎 健一郎）では、この度、インターネット上で、派遣で働いている方と、過去3年未満の間に派遣で働いていたことがある方5,245人を対象に、就業条件や実際の働き方、満足度など、派遣社員の実態や本音を明らかにする「派遣社員WEBアンケート調査」を実施しました。本調査は、派遣で働いている方の就業実態やキャリアに関する希望、満足度などを把握し、会員企業の事業運営やキャリア形成支援の取り組みに活用していただくことを目的として2007年度より毎年実施しています。

【2024年度のポイント】

- ・時給は大都市圏では落ち着きつつあるが、地方では継続して上昇
- ・身につけたい専門的・技術的スキルとして「A I 活用」がトップに
- ・スポットワークは約半数が経験あり、今後の就労意向は約4割
- ・週20時間未満で働く派遣社員は6%で、派遣で働くことへの満足度は高め
- ・回答者の年齢層は50代が最も多くなり、60歳以上も増加傾向

調査実施要領

調査名：「派遣社員WEBアンケート調査」

実施時期：2024年9月30日～2024年11月14日

調査対象：現在派遣で働いている方及び過去3年未満の間に派遣で働いていたことがある方

実施方法：WEBアンケートページ(パソコン、スマホ等)に直接入力し、WEB送信により回答

周知協力：当協会会員、エン派遣、はたらこねっと

有効回答数：6,599サンプル

そのうち、「現在、派遣で働いている」と回答した5,245人(79.5%)の回答結果を記載

調査結果レポート 目次

1. 派遣社員の現在の就業状況について	P3		
1-1. 労働契約の期間				
1-2. 勤務時間・日数				
1-3. 現在の業務・勤務地				
1-4. 現在の派遣先の規模・業種				
1-5. 現在の派遣先での通算期間				
1-6. 現在の派遣会社での雇用期間				
1-7. 副業兼業状況				
2. 賃金について	P13		
2-1. 賃金の実態は？				
(1)東京都・愛知県・大阪府				
(2)東京都・愛知県・大阪府以外の地域				
2-2. 過去に給与が上がったか？				
3. これまでのキャリアと今後のキャリア形成について	P26		
3-1. これまでの働き方は？				
3-2. 派遣で働く理由				
3-3. はじめて派遣で働いた年齢				
3-4. 現在と同じ仕事の通算経験期				
3-5. 過去3年間／1年間における業務範囲の変化				
3-6. スキルアップについて				
3-7. 派遣会社からの支援について				
3-8. 派遣先からの支援について				
3-9. 今後の働き方の希望は？				
3-10. 希望する雇用安定措置について				
4. 無期雇用への転換について	P46		
4-1. 無期雇用転換のタイミング・理由				
4-2. 無期雇用転換したことの満足度				
5. 現在の派遣会社について	P49		
5-1. 現在の派遣会社から就業している理由				
5-2. 現在の派遣会社の満足度				
5-3. 現在の派遣会社・派遣で働くことの推奨度				
5-4. 営業担当者とのコミュニケーションの頻度や内容は？				
6. スポットワークについて	P56		
6-1. スポットワークの経験、就業意向は？				
7. 現状の満足度、悩み、ストレスなどについて	P59		
7-1. 現在の満足度と今後の見通し				
7-2. 現在の悩み				
7-3. ストレスについて				
8. プロフィール	P64		

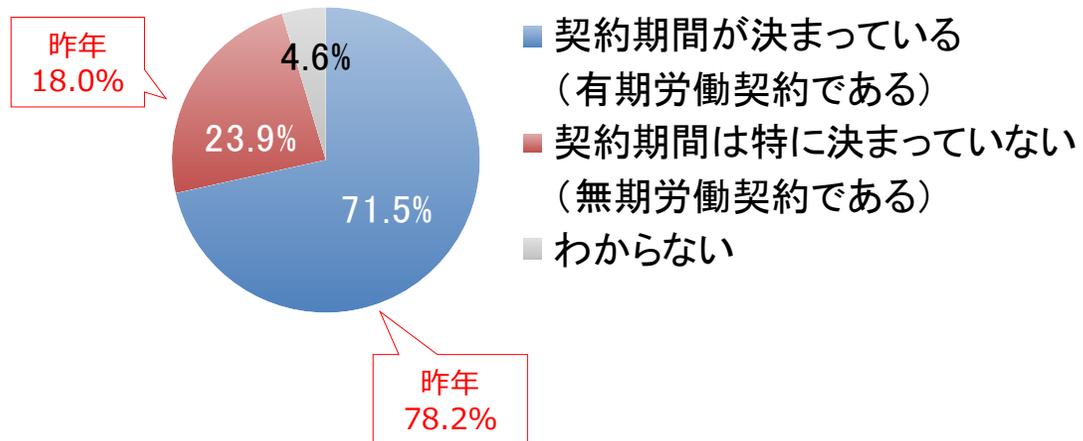
1. 現在の就業状況について

1-1. 労働契約の期間

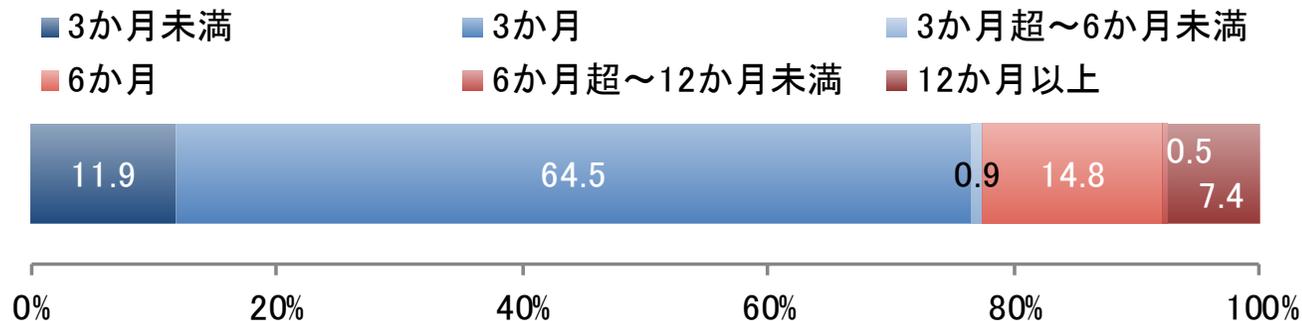
7割が「有期労働契約」。「無期労働契約」は23.9%。有期労働契約の契約期間は「3か月」が6割超。

労働契約期間が決まっている有期労働契約の人は71.5%で、労働契約期間が決まっていない無期労働契約の人は23.9%でした。昨年に比べて、「有期労働契約」の割合は6.7ポイント減少しています。また、契約期間が決まっている人の労働契約の期間は、「3か月」が64.5%を占めています。

【図表1】労働契約の期間の有無[SA] N=5,245



【図表2】労働契約の期間[NA] N=3,749 (有期労働契約の人)

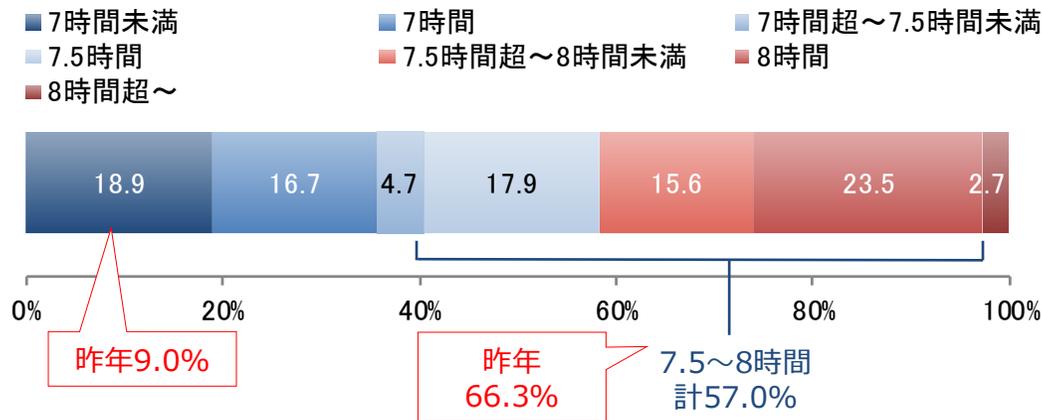


1-2. 勤務時間・日数

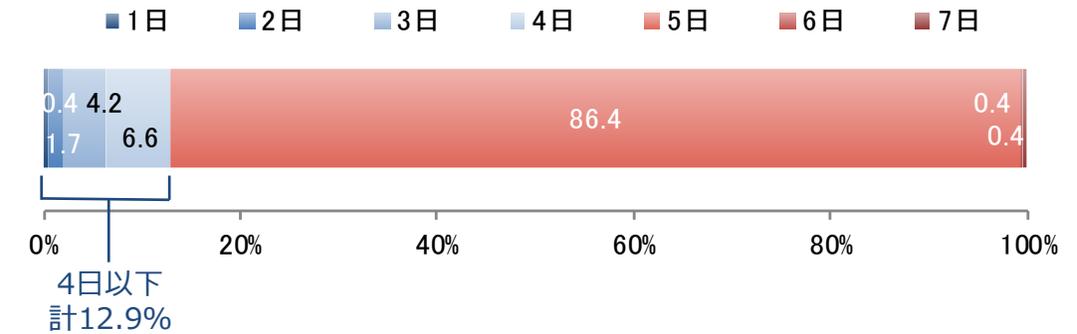
「1日7.5～8時間」・「週5日」で働く派遣社員がほとんどで、週20時間未満は6%。

1日の所定労働時間は「8時間」が最も多く23.5%で、「7.5時間」から「8時間」までで過半数を占めています。一方で、「7時間未満」（18.9%）が昨年から倍以上に増えています。1週間の契約勤務日数は「5日」の人が86.4%で、1週間の所定労働時間は「30時間～40時間以下」の人が84.3%、平均は35.0時間でした。また、1週間あたりの平均残業時間では「残業なし」の人が63.4%と、6割の人は残業のない働き方をしていることがわかります。

【図表3】1日の所定労働時間[NA] N=5,245



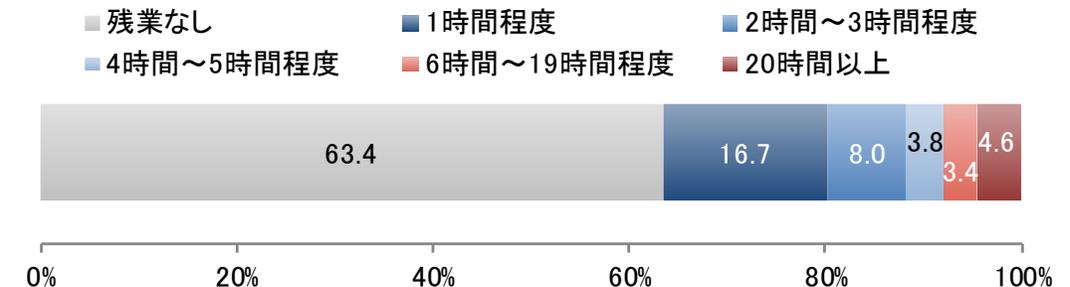
【図表4_1】1週間の契約勤務日数[NA] N=5,245



【図表4_2】1週間の所定労働時間[NA] N=5,245



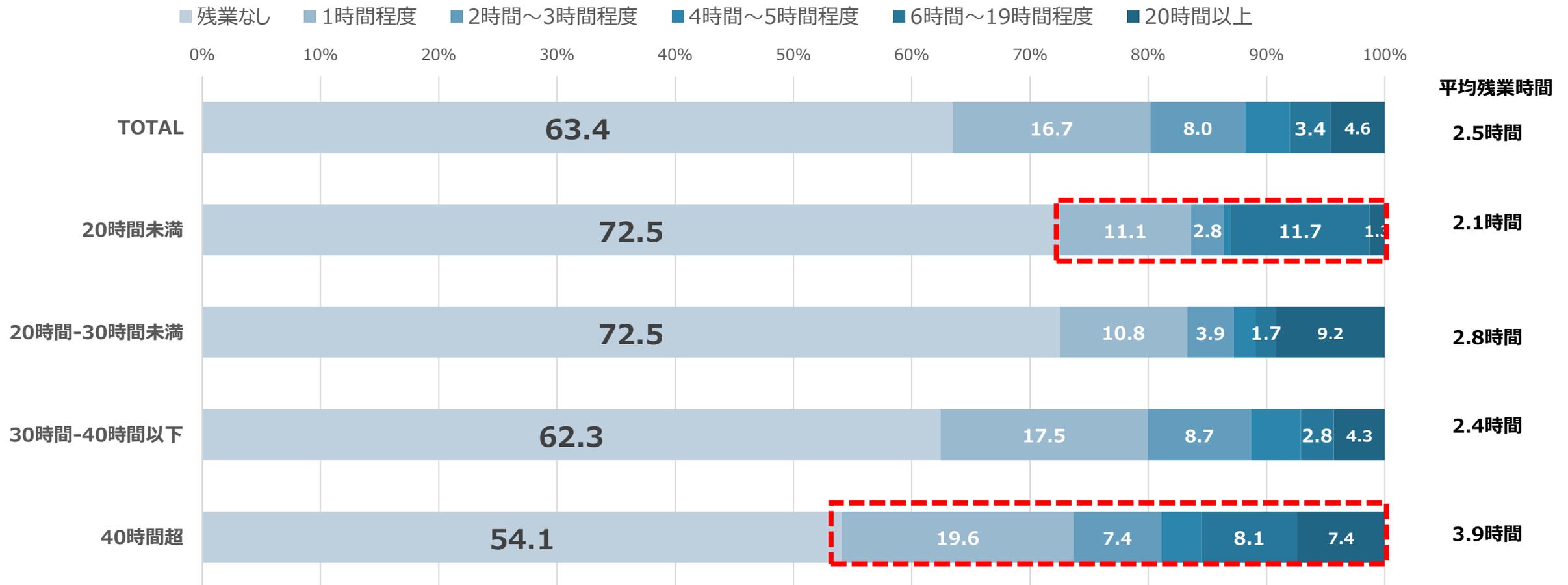
【図表5】1週間あたりの平均残業時間[NA] N=5,245



参考 所定労働時間と残業時間について

1週間の所定労働時間が長いほど残業をしている割合が多く、週20時間未満の場合でも約3割が残業をしている。

1週間の所定労働時間が長いほど残業をしている割合が多くなり、週の労働時間が40時間超の人は平均で4時間近く残業をしています。週の労働時間が20時間未満の人でも約3割は残業をしており、週4時間以上の残業をしている人は13.6%でした。



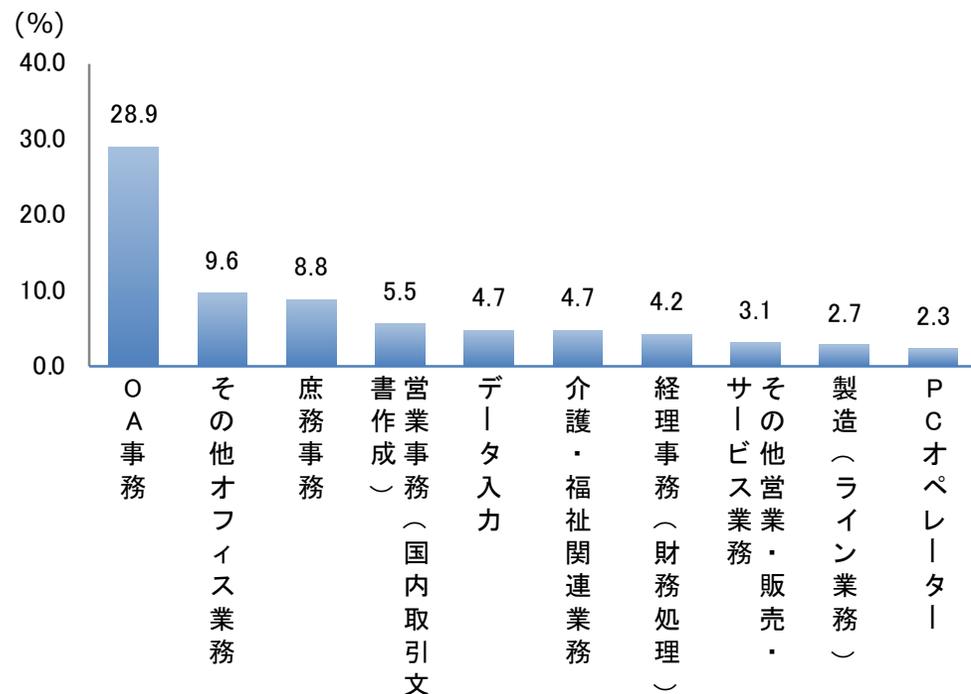
1-3. 現在の業務・勤務地

●現在の業務

事務系が中心。最も多いのは「OA事務」。

現在の主な業務のトップは「OA事務」(28.9%)です。以下「その他オフィス業務」「庶務事務」「営業事務(国内取引文書作成)」と続き、事務系の業務が上位を占めています。

【図表6】現在、働いている人が多い業務(上位10業務) [SA] N=5,245



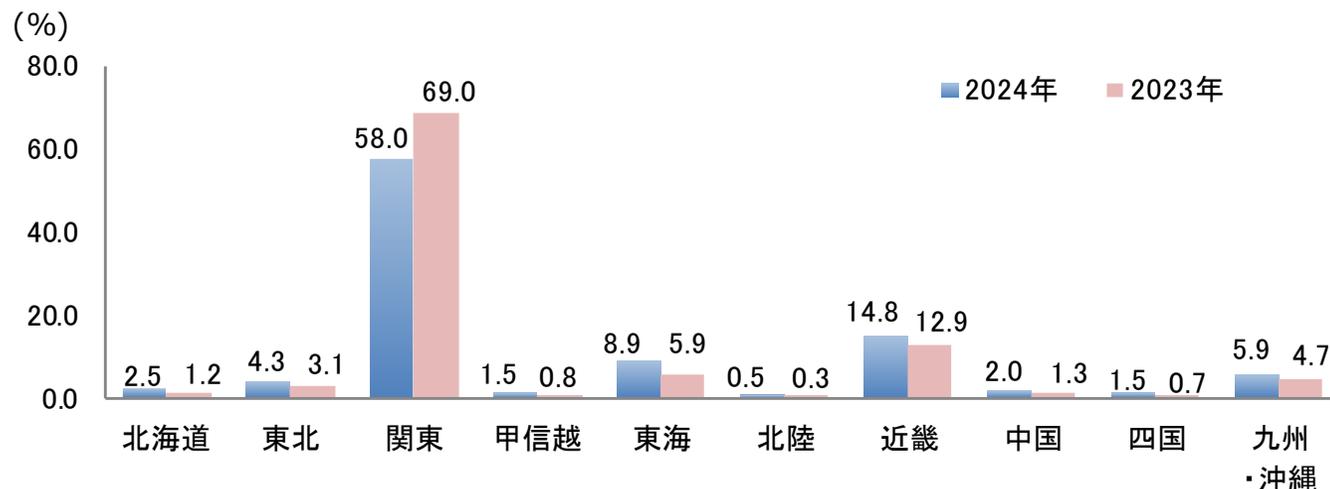
※TOTALで降順ソート

●現在の派遣先エリア

最も多いのは「関東」、次いで近畿、東海。

派遣先エリアで最も多いのは「関東」(58.0%)。昨年69.0%から11.0ポイント減少しています。各エリアの構成は昨年と比べて、東海で3.0ポイント増加しています。

【図表7】派遣先エリアの構成[SA] 2024年：N=5,245 2023年：N=1,932



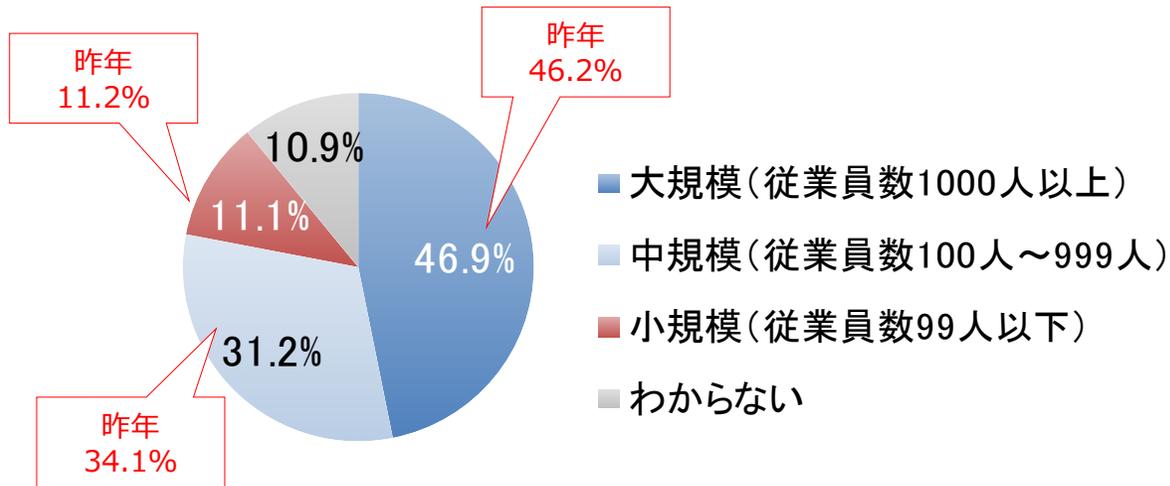
1-4. 現在の派遣先の規模・業種

●現在の派遣先の会社規模

派遣先の会社規模は「大規模」が4割強。

派遣先の会社規模で最も多いのは「大規模」(46.9%)。次いで「中規模」(31.2%)、「小規模」(11.1%)となっています。

【図表8】派遣先の会社規模[SA] N=5,245

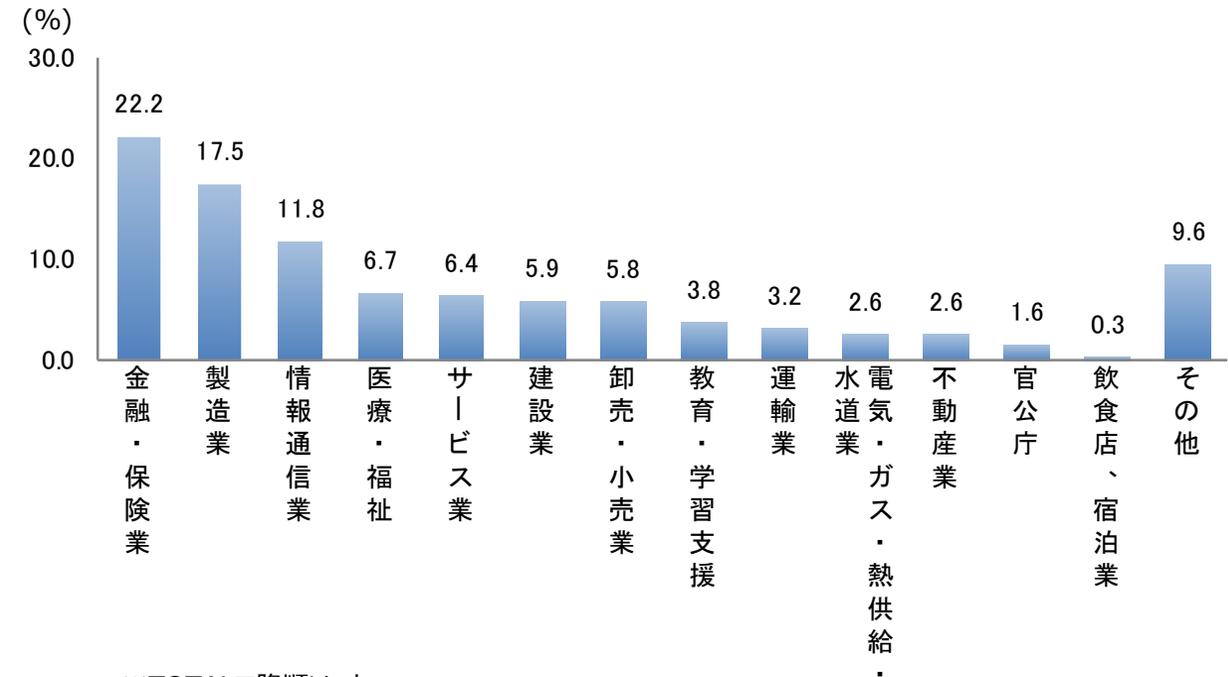


●現在の派遣先の事業

派遣先の事業で最も多いのは「金融・保険業」。

派遣先の事業のトップは「金融・保険業」(22.2%)。次いで「製造業」「情報通信業」「医療・福祉」などが上位となっています。

【図表9】派遣先の事業[SA] N=5,245



※TOTALで降順ソート

1-5. 現在の派遣先での通算期間

現在の派遣先で通算「1年未満」が40.5%、「3年以上」働いている人は21.2%。

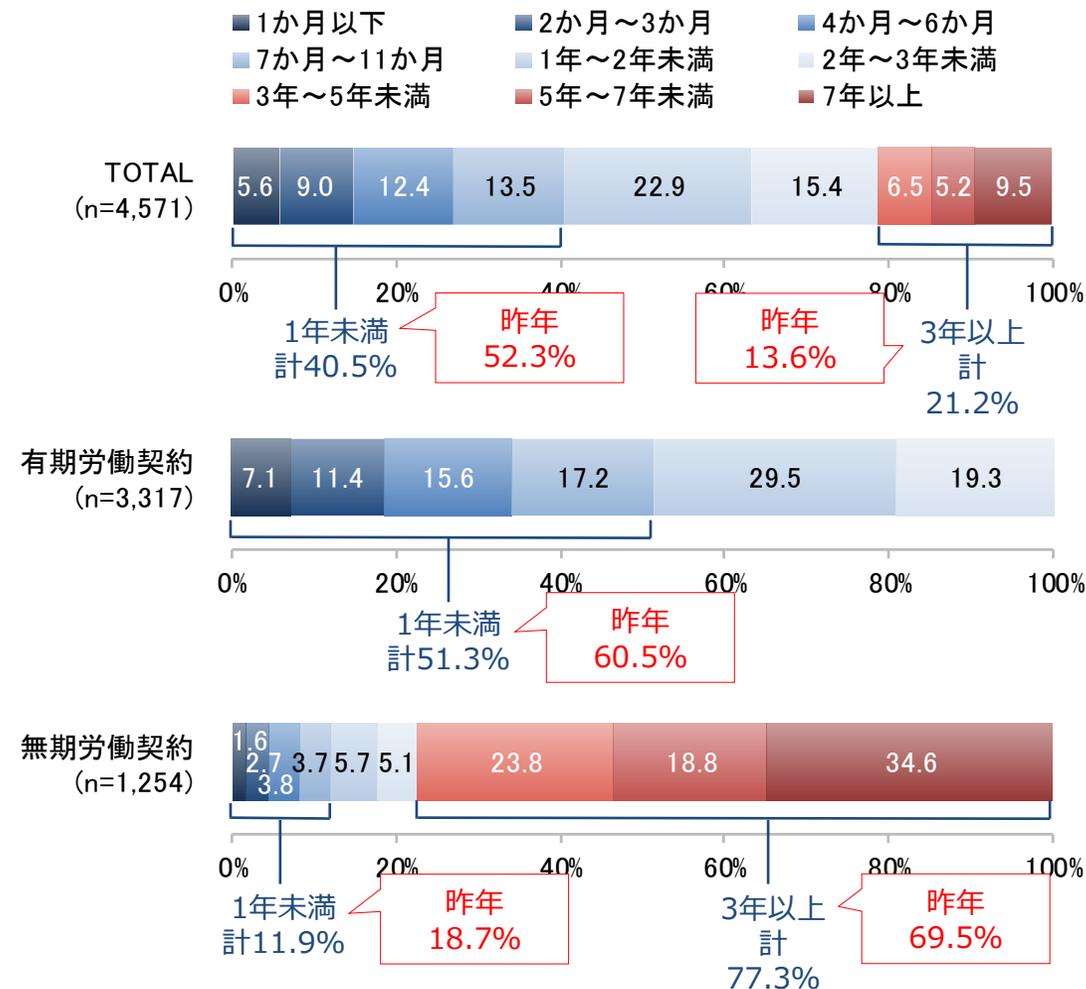
有期労働契約のうち、通算「1年未満」の就業は5割、無期労働契約では「3年以上」働いている人が7割強。

現在の派遣先における通算就業期間は「1年～2年未満」が最も多く、22.9%となっています。「1か月以下」から「1年未満」を合わせた「通算1年未満」は40.5%で、昨年52.3%から11.8ポイント減少しています。一方、「通算3年以上」は昨年より7.6ポイント増加して、21.2%となっています。

労働契約別にみると、有期労働契約と答えた人では「通算1年未満」が51.3%で半数を占めていますが、昨年の60.5%から9.2ポイント減少しています。

無期労働契約では「通算3年以上」が昨年より7.8ポイント増加して、77.3%となっています。

【図表10】現在の派遣先での通算期間[SA] N=4,571
(有期労働契約のうち現在の派遣先での通算期間3年未満、または無期労働契約の人)



1-6. 現在の派遣会社での雇用期間

現在の派遣会社に通算「1年未満で雇用されている」人は2割超。有期労働契約では3割。

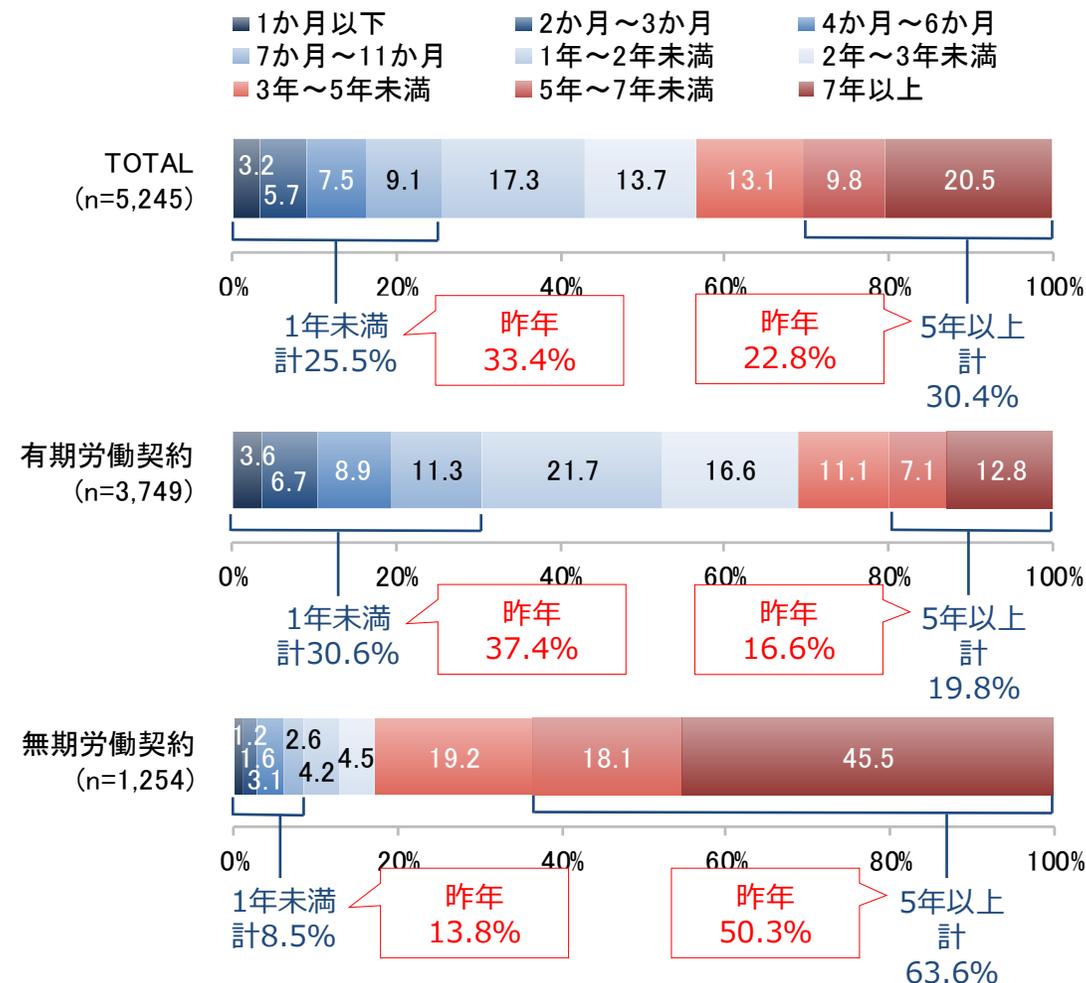
派遣会社に雇用された期間は、「7年以上」が20.5%で最も多くなっています。「通算5年以上」は30.4%で、昨年の22.8%から7.6ポイント増加しています。

「1か月以下」から「7か月～11か月」をあわせた「通算1年未満」は25.5%で、昨年の33.4%から7.9ポイント減少しています。

有期労働契約の人の「通算1年未満」は30.6%で、昨年の37.4%から6.8ポイント減少しています。

無期労働契約の人のうち「通算5年以上」は63.6%で、昨年の50.3%から13.3ポイント増加しています。

【図表11】現在の派遣会社での通算雇用期間[SA] N=5,245

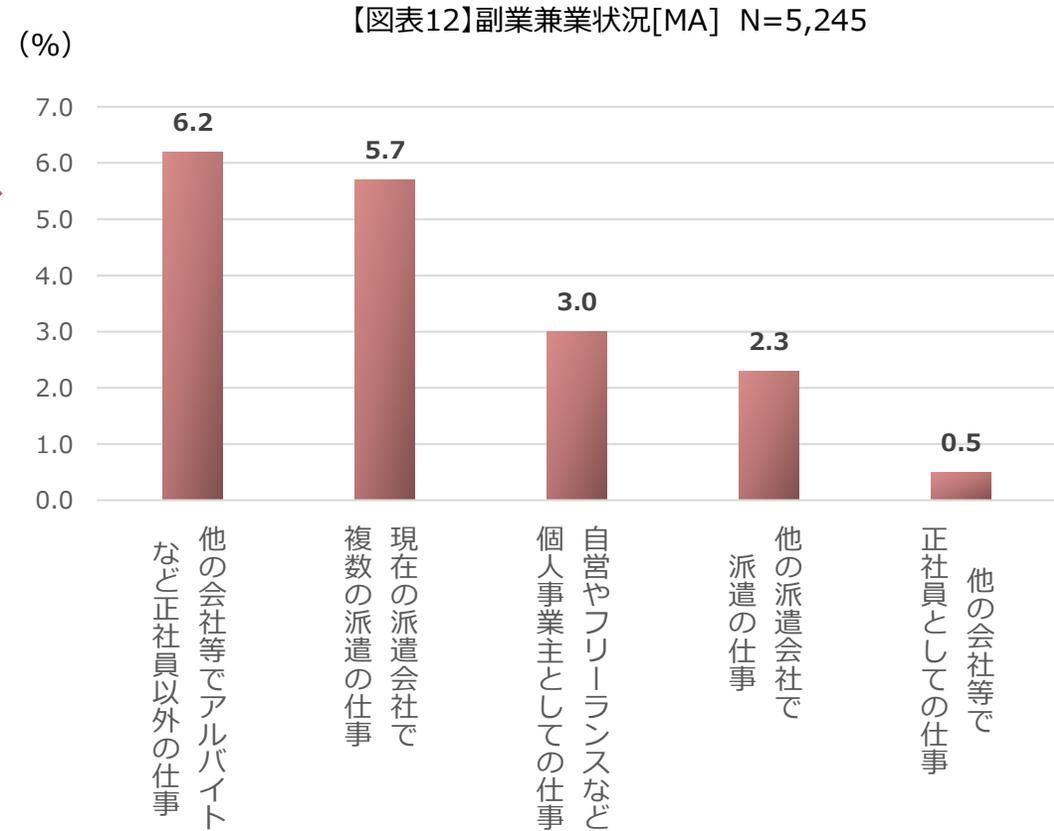
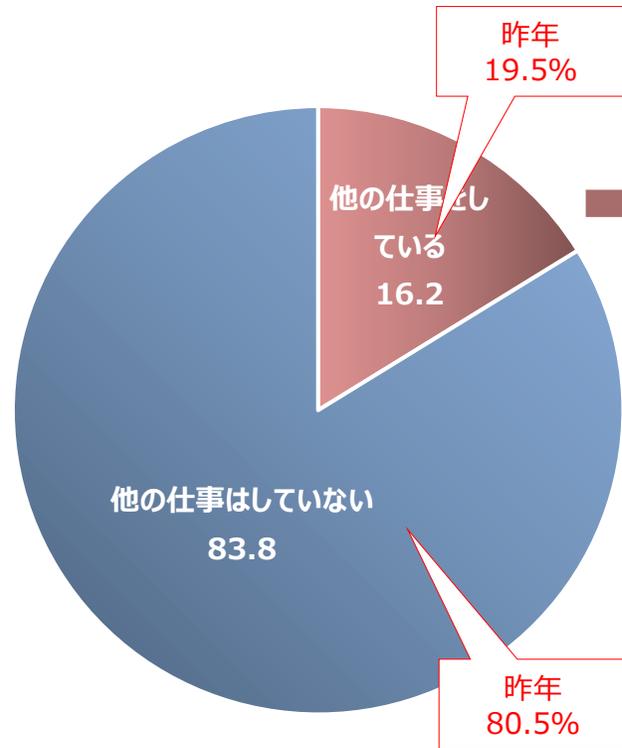


※ TOTAL (5,245s) には派遣会社との1回ごとの労働契約期間が「わからない」と回答した人 (242s) を含む

1-7. 副業兼業状況

他の仕事をしている（副業・兼業）のは16.2%

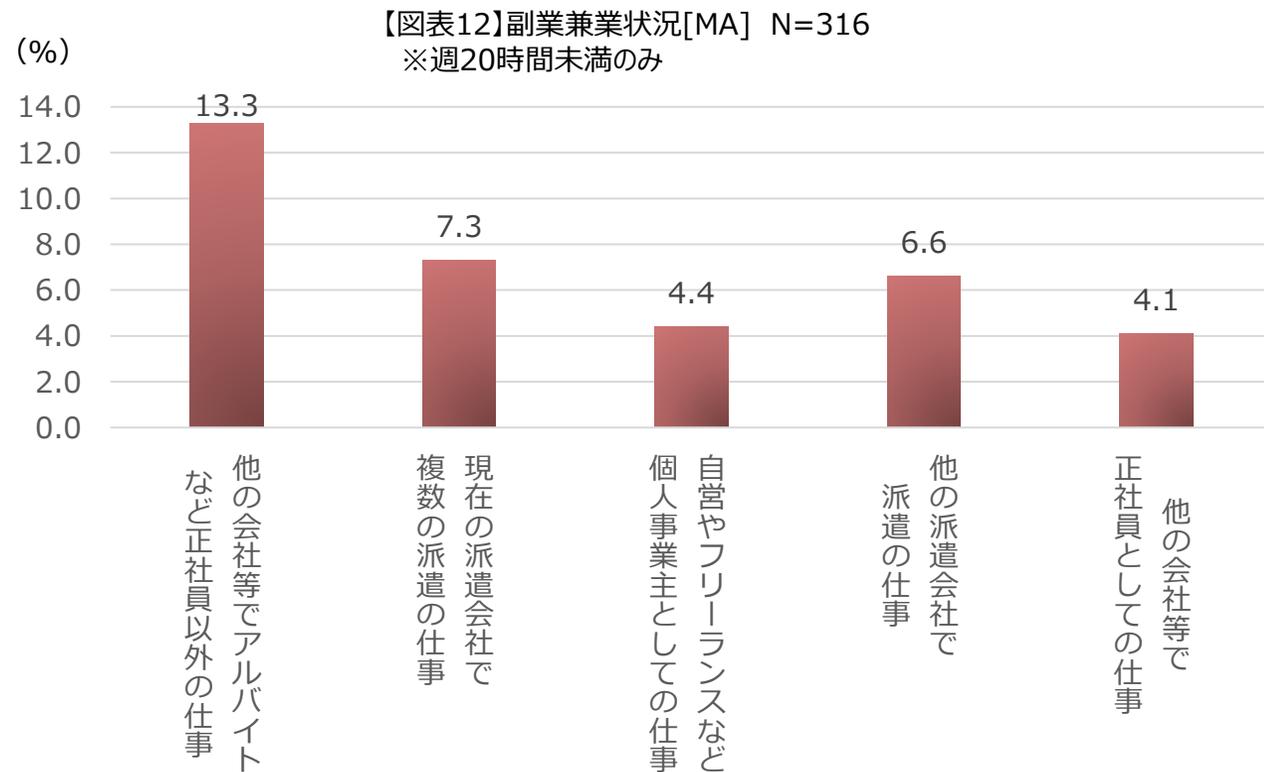
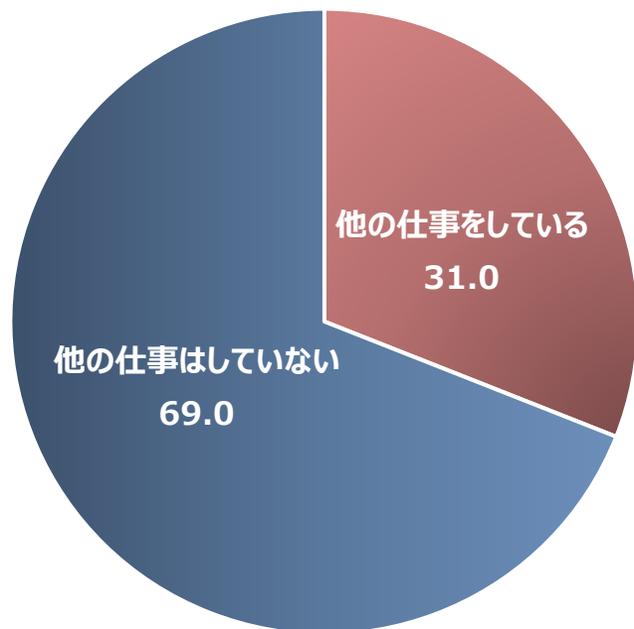
副業兼業状況は、「他の仕事はしていない」が83.8%で、副業兼業をしている人は16.2%で昨年度から3.3ポイント減少しました。



参考 副業兼業状況（週20時間未満）

週20時間未満の人では、副業兼業をしている割合が3割超

1週間の契約労働時間が20時間未満の人は、「他の仕事はしていない」が69.0%、副業兼業をしている人は31.0%で全体に比べて割合が高くなっています。



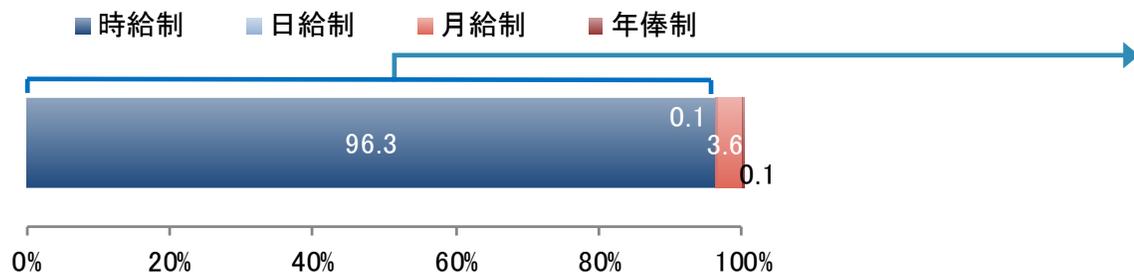
2. 賃金について

2-1. 賃金形態・平均時給（1）東京都・愛知県・大阪府

賃金形態は96.3%が「時給制」。最も多い時給額は「1,500円～1,750円未満」で4割強。平均値は1,670円。

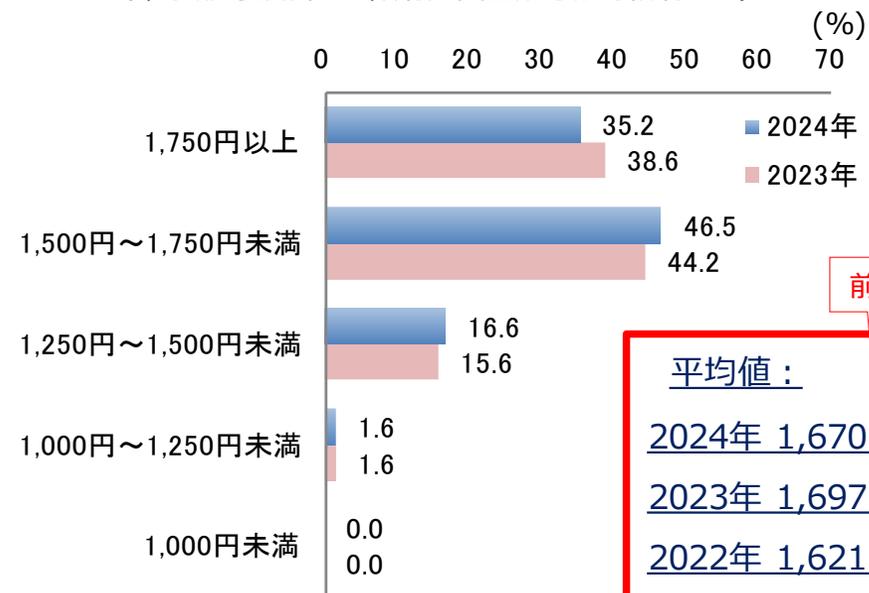
賃金形態が「時給制」と答えた人は96.3%。時給額で最も多いのは「1,500円～1,750円未満」（46.5%）で昨年から2.3ポイント増加しています。次いで多いのは「1,750円以上」（35.2%）ですが、昨年からは3.4ポイント減少となっています。全体の平均額は1,670円で前年と比べて-27円となりました。

【図表13】現在の賃金形態[SA] N=2,913
(東京都・愛知県・大阪府)



【図表14】現在の時給金額[NA] 2024年：N=2,805 2023年：
N=1,221

(東京都・愛知県・大阪府／賃金形態が時給制の人)

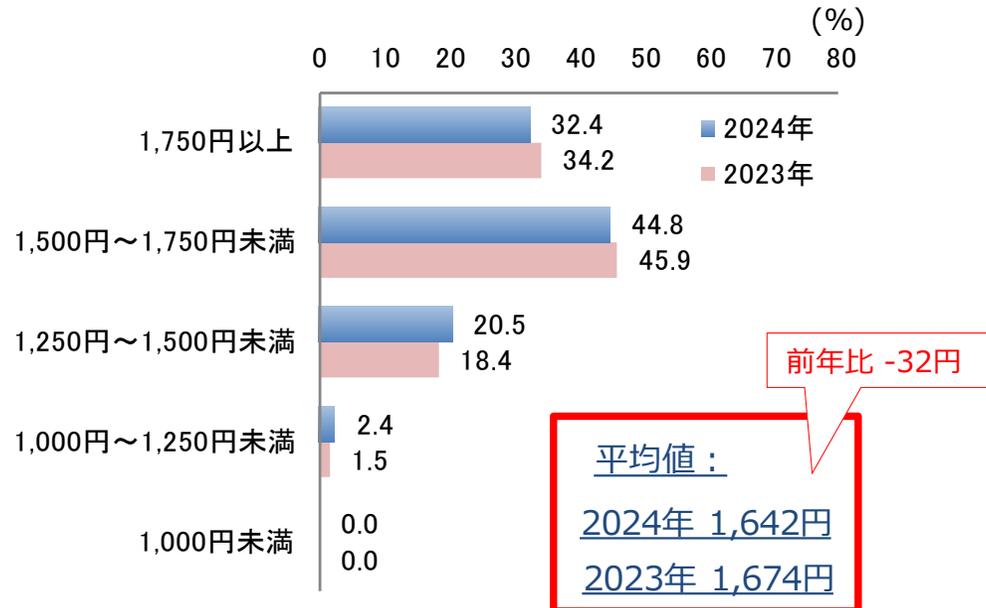


2-1. 賃金形態・平均時給（1）東京都・愛知県・大阪府 経験年数別

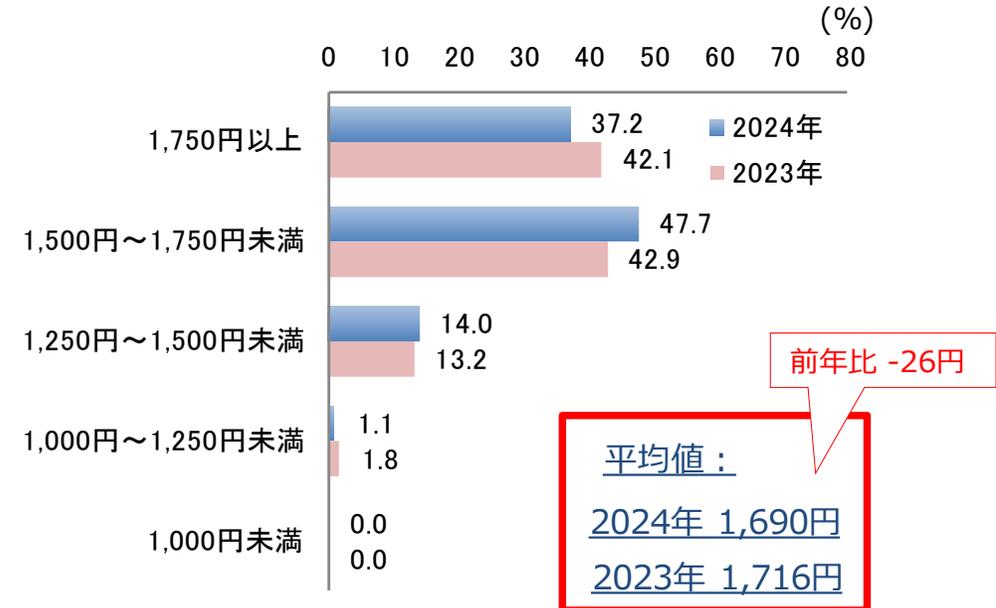
主業務の経験3年未満は1,642円、3年以上は1,690円。

主業務の経験期間が3年未満・3年以上とも「1,500円～1,750円未満」(それぞれ44.8%・47.7%) で最も多くなっています。次いで多いのは1,750円以上ですが、いずれも昨年から減少しており、特に、3年以上では4.9ポイント減少しています。平均額は3年未満・3年以上ともにダウン（それぞれ前年比-32円・-26円）しています。

【図表15_1】派遣就業での主業務経験期間3年未満の時給金額
2024年：N=1,146 2023年：N=549（東京都・愛知県・大阪府）



【図表15_2】派遣就業での主業務経験期間3年以上の時給金額
2024年：N=1,659 2023年：N=672（東京都・愛知県・大阪府）



2-1. 賃金形態・平均時給（1）東京都・愛知県・大阪府 業務別・派遣先の規模別

【図表16_1】業務別 派遣就業での主業務経験期間別の平均時給
(東京都・愛知県・大阪府)

		n	平均時給	(参考)昨年
派遣就業での主業務経験期間3年未満	オフィス系	878	1,659円	1,653円
	営業・販売・サービス系	59	1,637円	1,709円
	IT技術・通信系	32	1,990円	2,230円
	クリエイティブ系	20	1,709円	1,705円
	製造・軽作業系	32	1,382円	1,303円
	その他	125	1,489円	1,708円
派遣就業での主業務経験期間3年以上	オフィス系	1,370	1,685円	1,683円
	営業・販売・サービス系	71	1,700円	1,586円
	IT技術・通信系	68	2,024円	2,297円
	クリエイティブ系	20	1,896円	1,827円
	製造・軽作業系	37	1,361円	1,326円
	その他	93	1,589円	1,739円

【図表16_2】派遣先の会社規模別 派遣就業での主業務経験期間別の業務別平均時給
(東京都・愛知県・大阪府)

		n	平均時給	(参考)昨年
派遣就業での主業務経験期間3年未満	大規模 (従業員数1000人以上)	514	1,684円	1,709円
	中規模 (従業員数100人 ～999人以下)	371	1,630円	1,660円
	小規模 (従業員数99人以下)	143	1,621円	1,662円
派遣就業での主業務経験期間3年以上	大規模 (従業員数1000人以上)	903	1,711円	1,750円
	中規模 (従業員数100人 ～999人以下)	483	1,679円	1,687円
	小規模 (従業員数99人以下)	164	1,659円	1,696円

※回答した人が30 s 未満については参考値

2-1. 賃金形態・平均時給（2）東京都・愛知県・大阪府以外の地域

賃金形態は96.7%が「時給制」。最も多い時給額は「1,250円～1,500円未満」で4割超。平均値は1,396円。

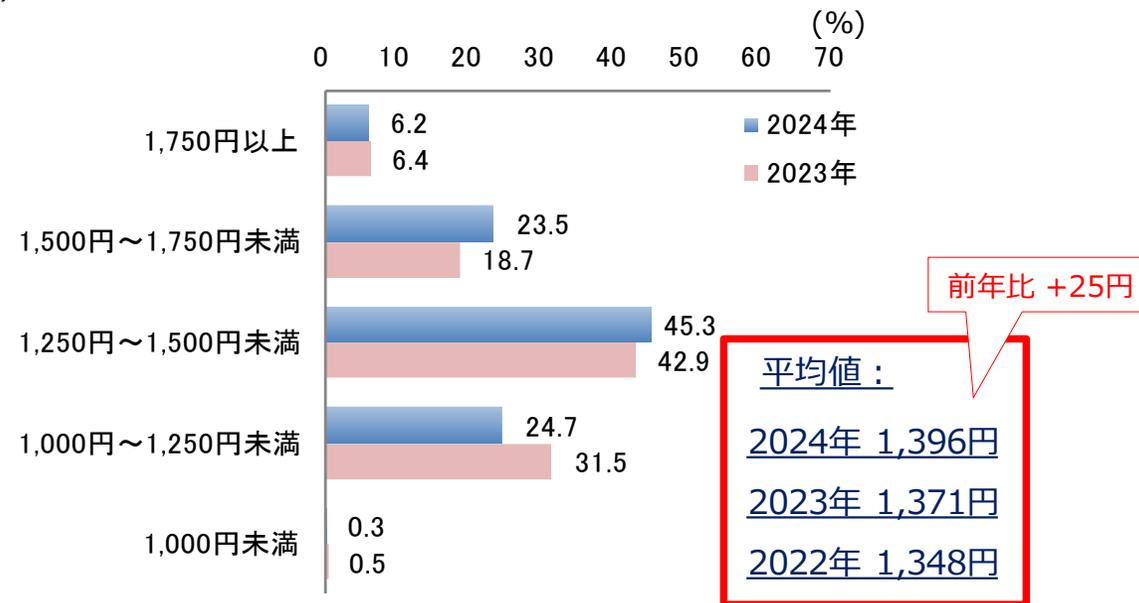
賃金形態が「時給制」と答えた人は96.7%。時給額で最も多いのは「1,250円～1,500円未満」（45.3%）です。次いで「1,000～1,250円未満」（24.7%）となっています。

平均額は前年と比べてアップ（+25円）しています。

【図表17】現在の賃金形態[SA] N=2,332
(東京都・愛知県・大阪府以外の地域)



【図表18】現在の時給金額[NA] 2024年：N=2,255 2023年：N=638
(東京都・愛知県・大阪府以外の地域／賃金形態が時給制の人)

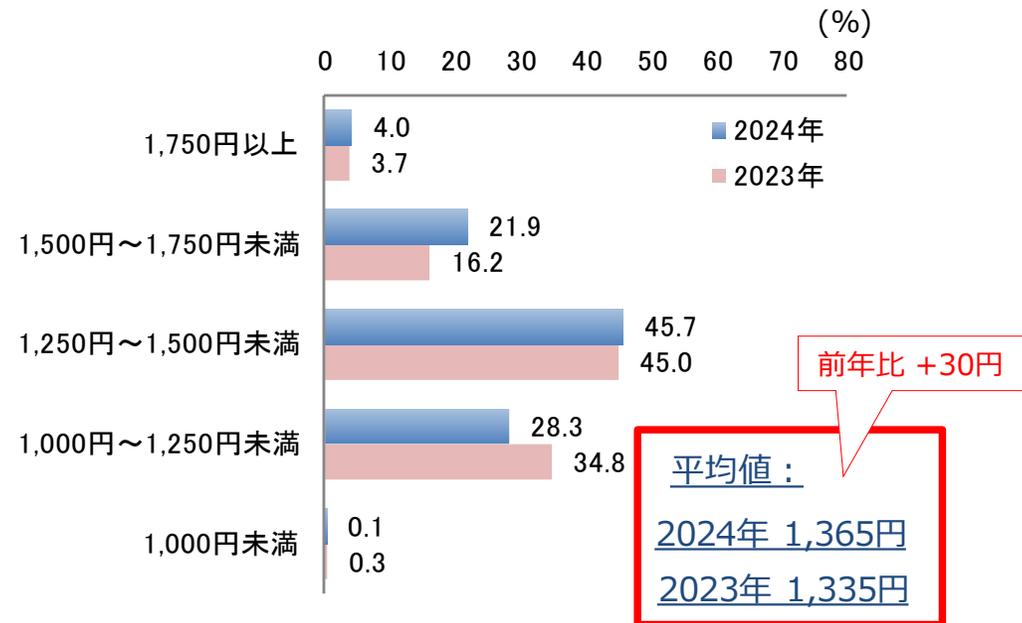


2-1. 賃金形態・平均時給（2）東京都・愛知県・大阪府以外の地域 経験年数別

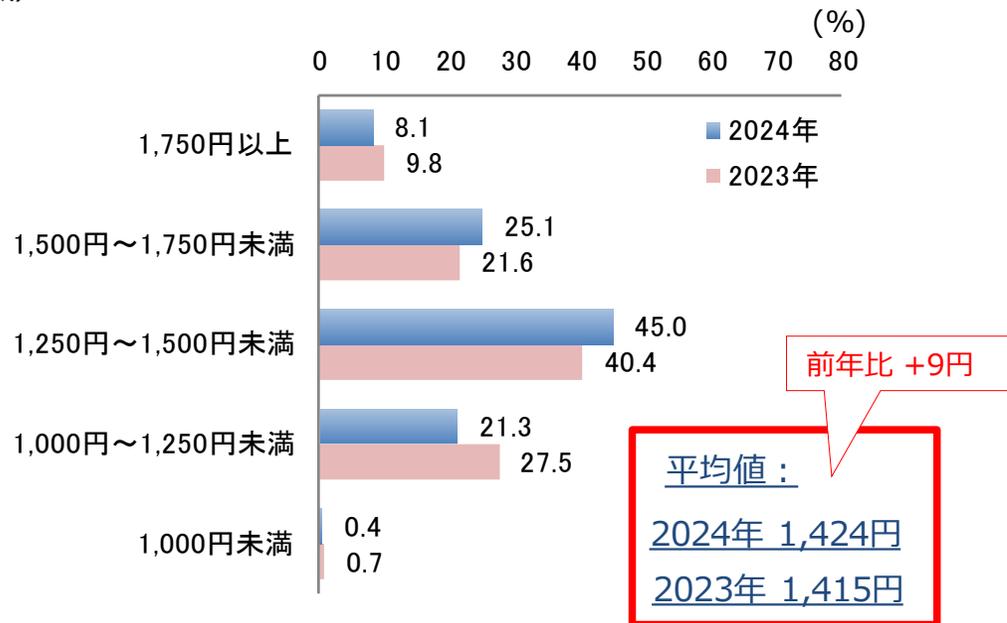
主業務の経験3年未満は1,365円、3年以上は1,424円。

時給額は、派遣就業における主業務経験期間が3年未満・3年以上とも「1,250円～1,500円未満」(それぞれ45.7%・45.0%) で最も多くなっています。平均額は3年未満・3年以上ともアップ（それぞれ前年比+30円・+9円）しています。

【図表19_1】派遣就業での主業務経験期間3年未満の時給金額
2024年：N=1,088 2023年：N=351（東京都・愛知県・大阪府以外の地域）



【図表19_2】派遣就業での主業務経験期間3年以上の時給金額
2024年：N=1,167 2023年：N=287（東京都・愛知県・大阪府以外の地域）



2-1. 賃金形態・平均時給（2）東京都・愛知県・大阪府以外の地域 業務別・派遣先の規模別

【図表20_1】業務別 派遣就業での主業務経験期間別の平均時給
(東京都・愛知県・大阪府以外の地域)

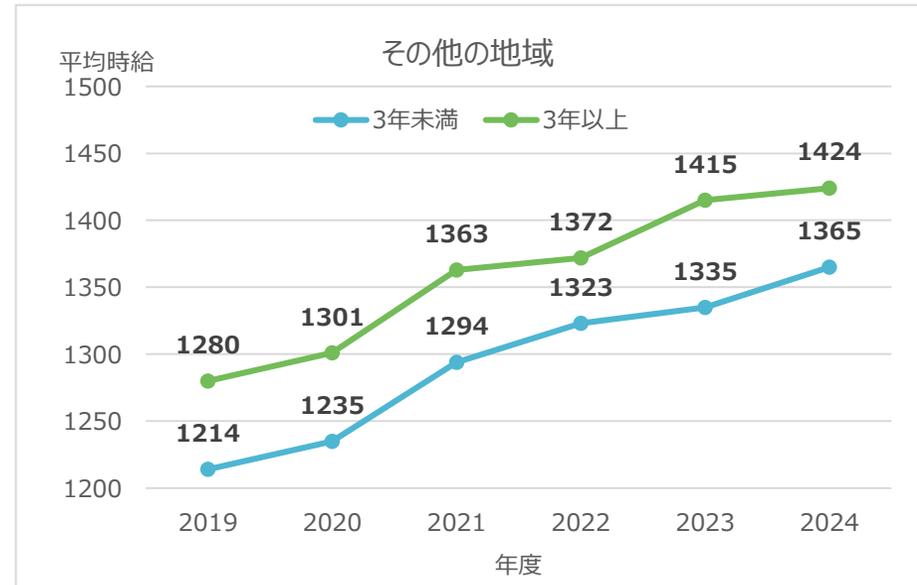
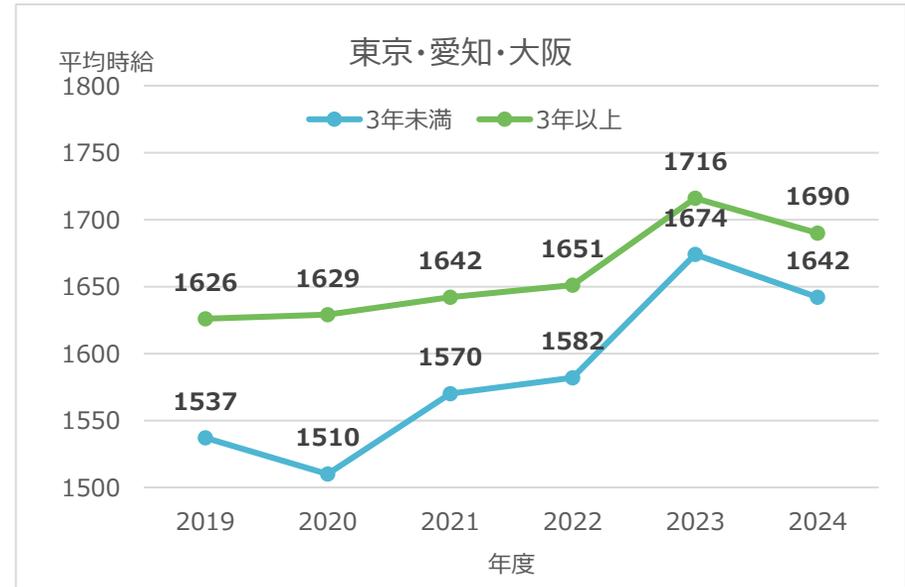
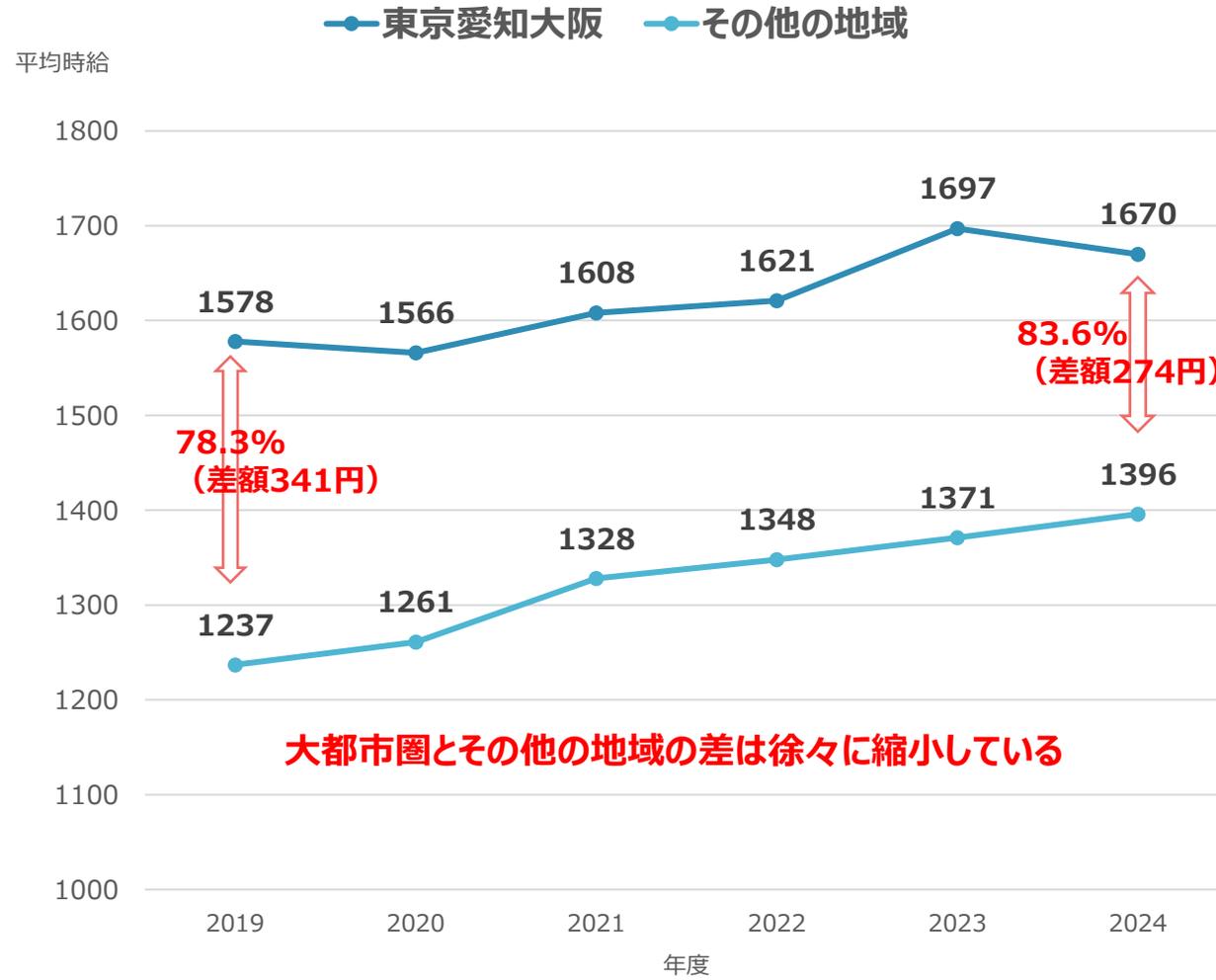
		n	平均時給	(参考)昨年
派遣就業での主業務経験期間3年未満	オフィス系	663	1,373円	1,335円
	営業・販売・サービス系	74	1,371円	1,354円
	IT技術・通信系	32	1,517円	1,799円
	クリエイティブ系	11	1,572円	1,850円
	製造・軽作業系	121	1,301円	1,261円
	その他	187	1,341円	1,328円
派遣就業での主業務経験期間3年以上	オフィス系	827	1,423円	1,411円
	営業・販売・サービス系	63	1,407円	1,340円
	IT技術・通信系	48	1,823円	1,843円
	クリエイティブ系	2	1,480円	1,180円
	製造・軽作業系	122	1,265円	1,250円
	その他	105	1,449円	1,516円

【図表20_2】派遣先の会社規模別 派遣就業での主業務経験期間別の業務別平均時給
(東京都・愛知県・大阪府以外の地域)

		n	平均時給	(参考)昨年
派遣就業での主業務経験期間3年未満	大規模 (従業員数1000人以上)	389	1,409円	1,380円
	中規模 (従業員数100人 ~999人以下)	346	1,358円	1,329円
	小規模 (従業員数99人以下)	163	1,364円	1,306円
派遣就業での主業務経験期間3年以上	大規模 (従業員数1000人以上)	561	1,485円	1,473円
	中規模 (従業員数100人 ~999人以下)	378	1,381円	1,402円
	小規模 (従業員数99人以下)	96	1,362円	1,328円

※回答した人が30 s 未満については参考値

参考 平均時給の推移

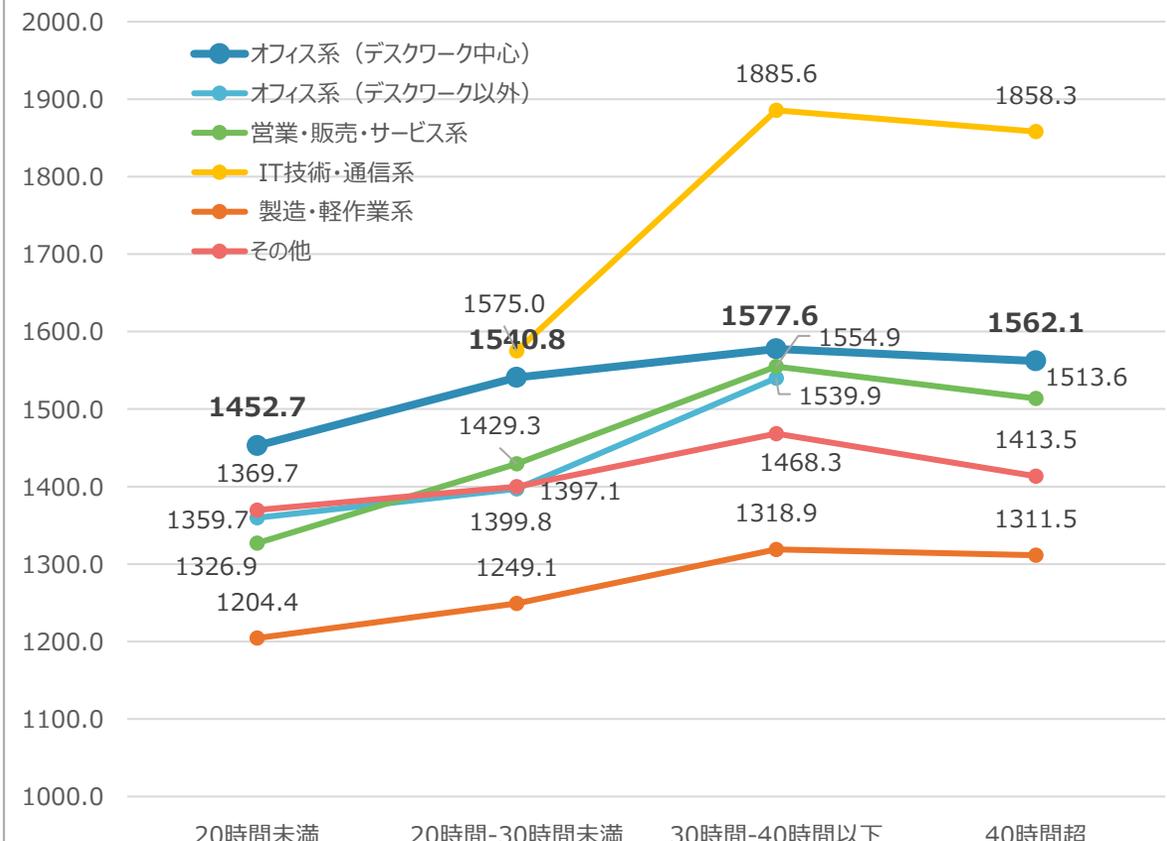
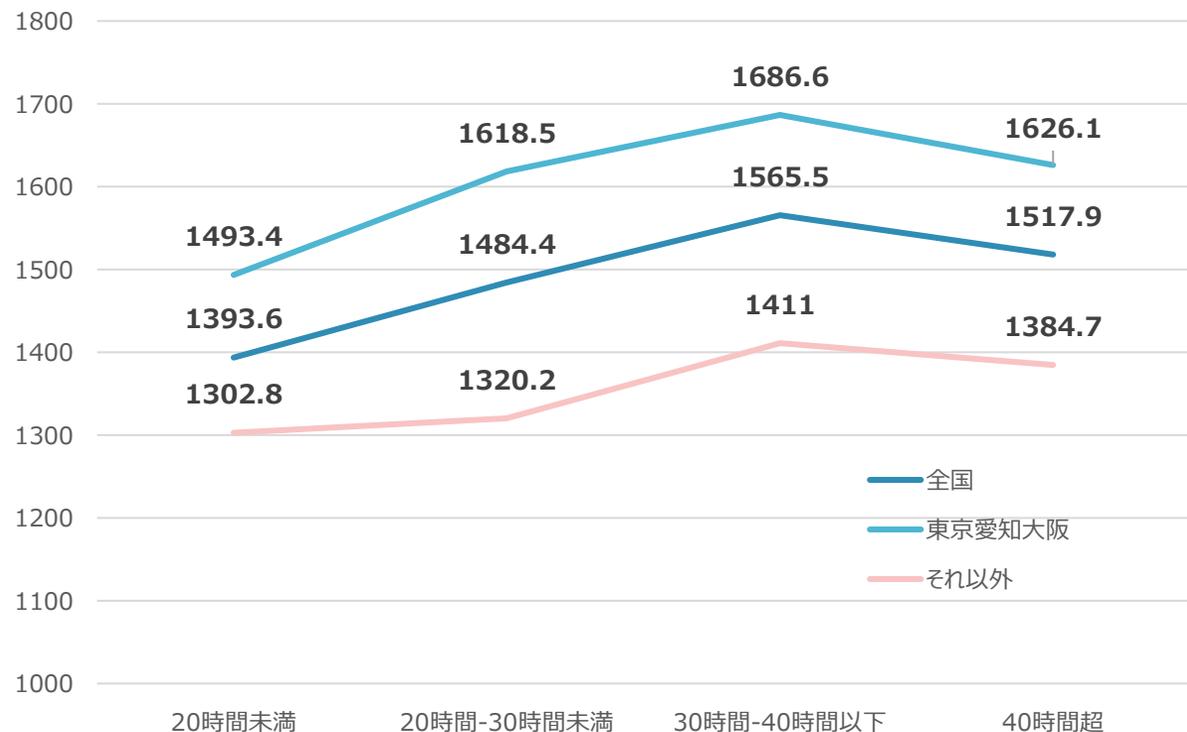


参考 1週間の所定労働時間区別の平均時給

● 1週間の所定労働時間が短いほど平均時給が低い傾向にある

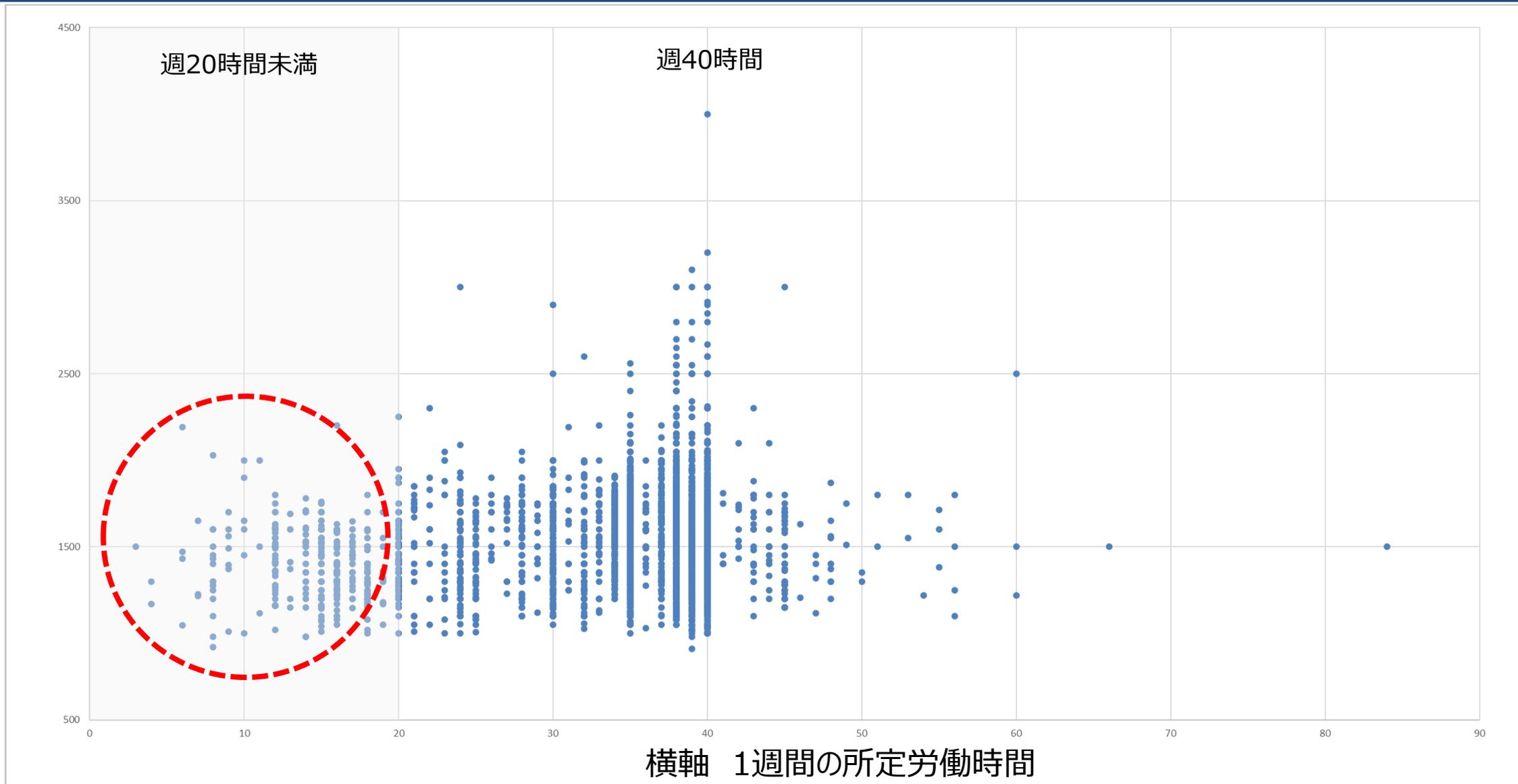
週20時間未満が他に比べて平均時給が低い。職種別で見ても、勤務時間が短いほど平均時給が低い傾向であることがわかります。

1週間の所定労働時間別の平均時給



参考 1週間の所定労働時間と時給の分布

縦軸
時給額

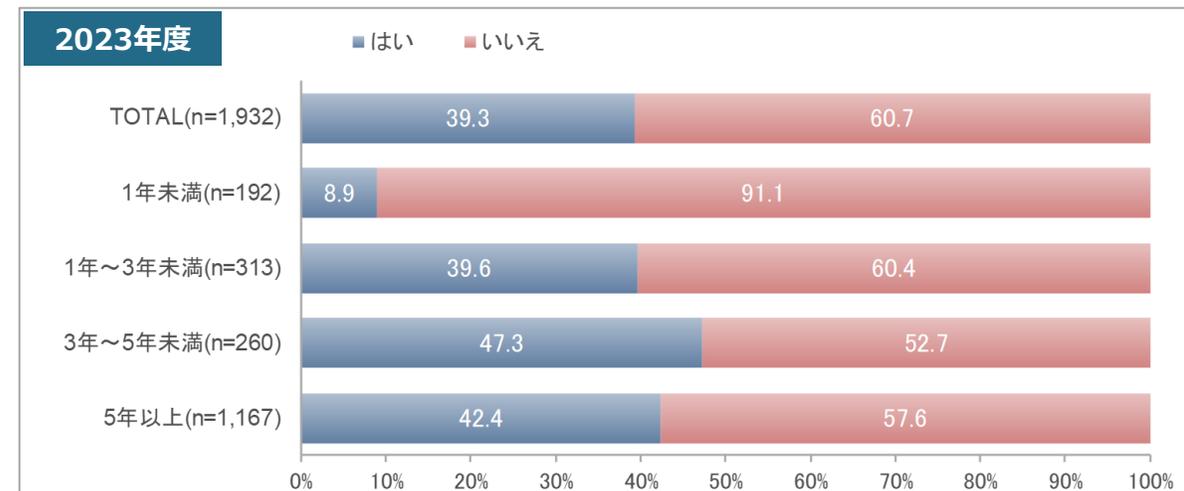
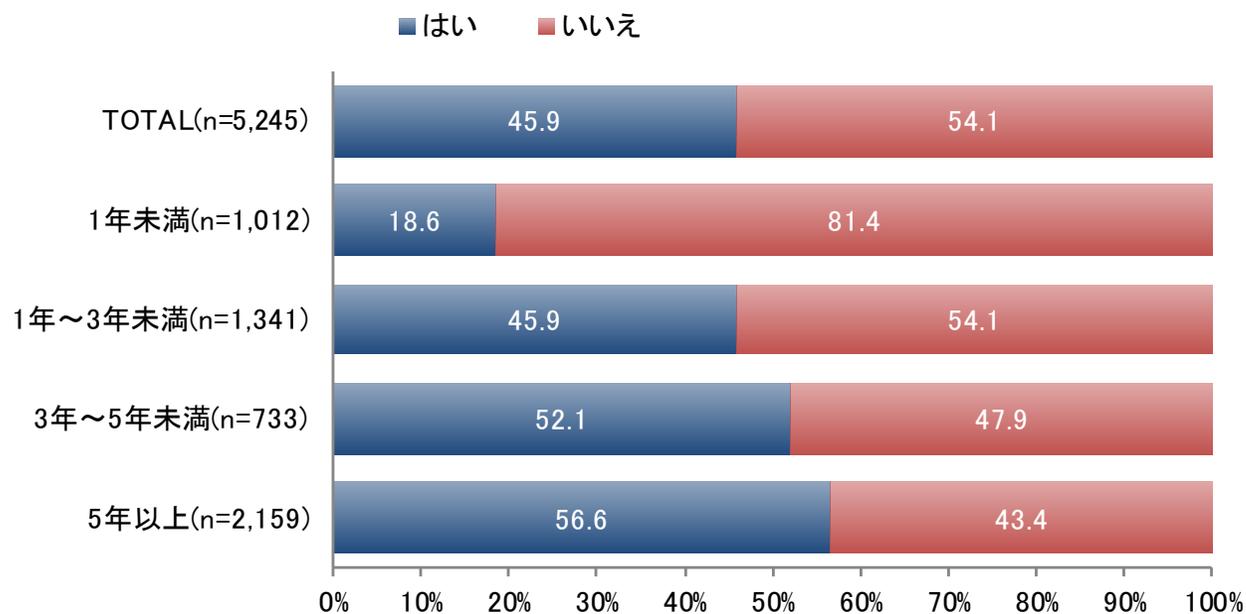


2-2. 過去に給与が上がったか？ ①過去1年間

「給与が上がった」割合は45.9%、派遣就業期間が長いほど上がった割合が高い。

過去1年間の派遣就業中に給与が上がったかをたずねると、「はい」が45.9%で、昨年度の39.3%から6.6ポイント増加しました。
派遣就業の通算期間別では、1年未満は18.6%（昨年比+9.7pt）、1年～3年未満は45.9%（同+6.3pt）、3年～5年未満は52.1%（同+4.8pt）、5年以上は56.6%（+14.2pt）で、過去1年間に給与が上がった割合は全体で増えています。

【図表21】派遣就業の通算期間別 過去1年間の就業中の給与増の有無[SA] N=5,245



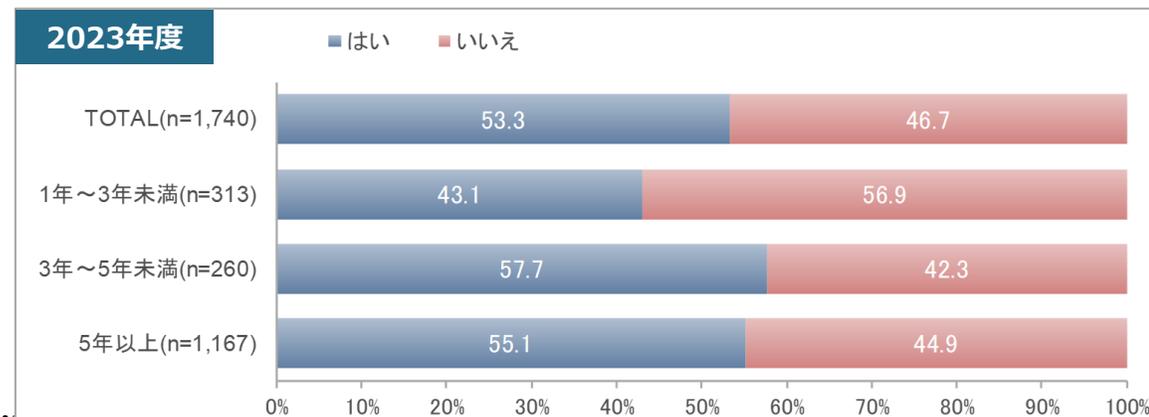
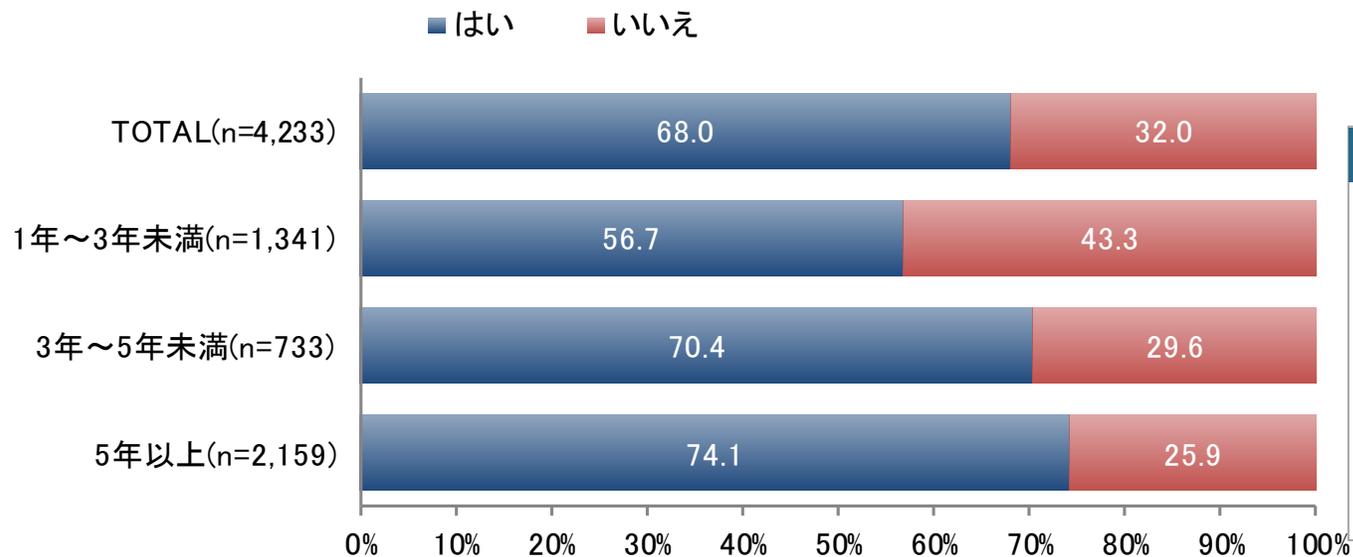
2-2. 過去に給与が上がったか？ ②過去3年間

「給与が上がった」のは68.0%で、昨年度から14.7ポイント増加。派遣就業期間が3年以上では7割超が給与が上がったと回答。

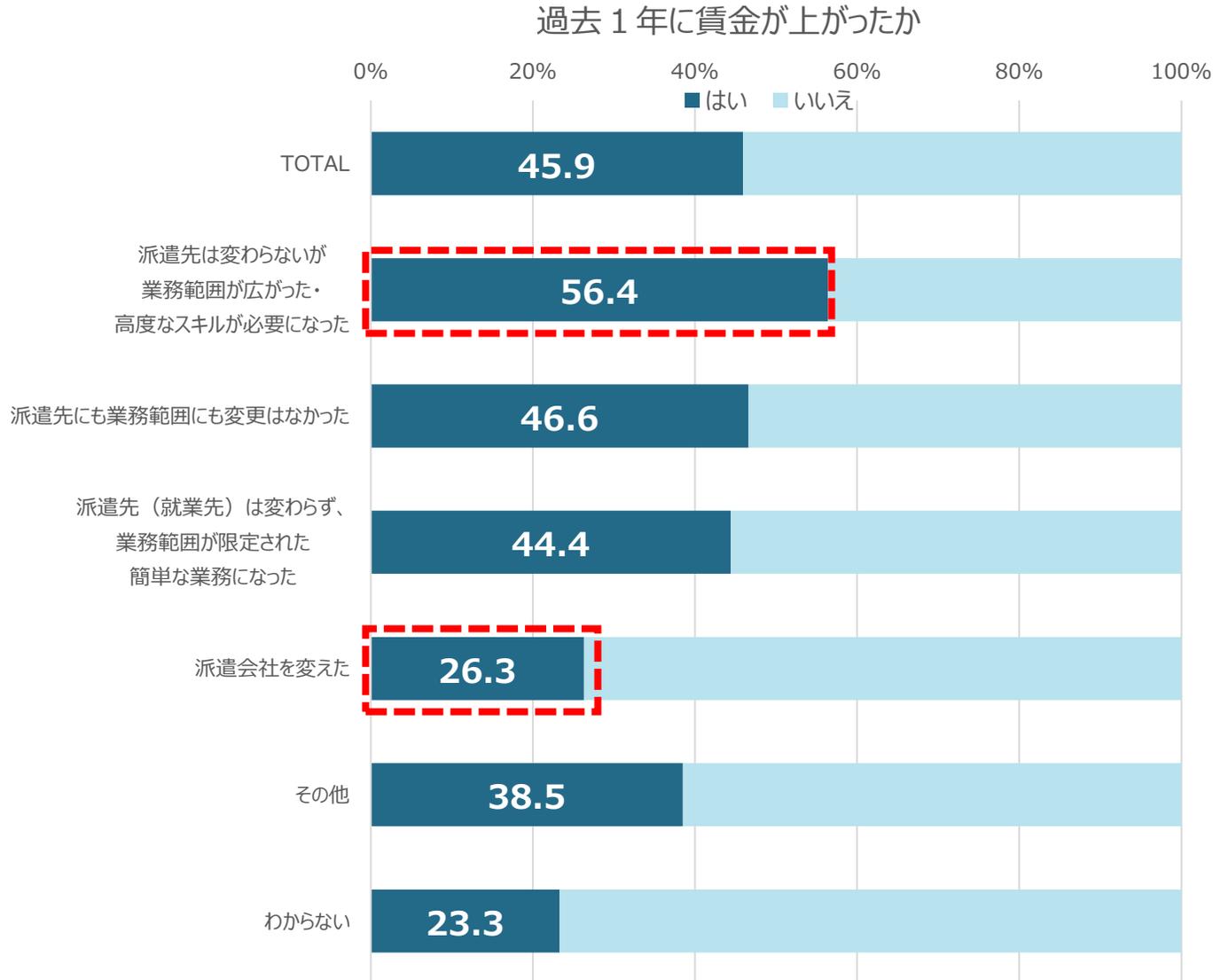
過去3年間の派遣就業中に給与が上がったかをたずねると、「はい」が68.0%で昨年度の53.3%から14.7ポイント増加しました。

派遣就業の通算期間別でみると、1年～3年未満では56.7%（+13.6pt）、3年～5年未満では70.4%（+12.7pt）、5年以上では74.1%（+19.0pt）で、大きく増えています。

【図表22】派遣就業の通算期間別 過去3年間の就業中の給与増の有無[SA] N=4,233
(1年未満を除く)



参考 就業状態の変化と賃金アップ有無



「派遣会社・派遣先が同じ」かつ「業務範囲が広がったり高度なスキルが必要になった」場合は過半数が賃金が上昇しています。

一方で、派遣会社を変えた場合は賃金が上がった割合が3割未満になっています。

なお、「派遣会社が同じで派遣先を変えた」は、「その他」に多く含まれています。

3. これまでのキャリアと今後のキャリア形成について

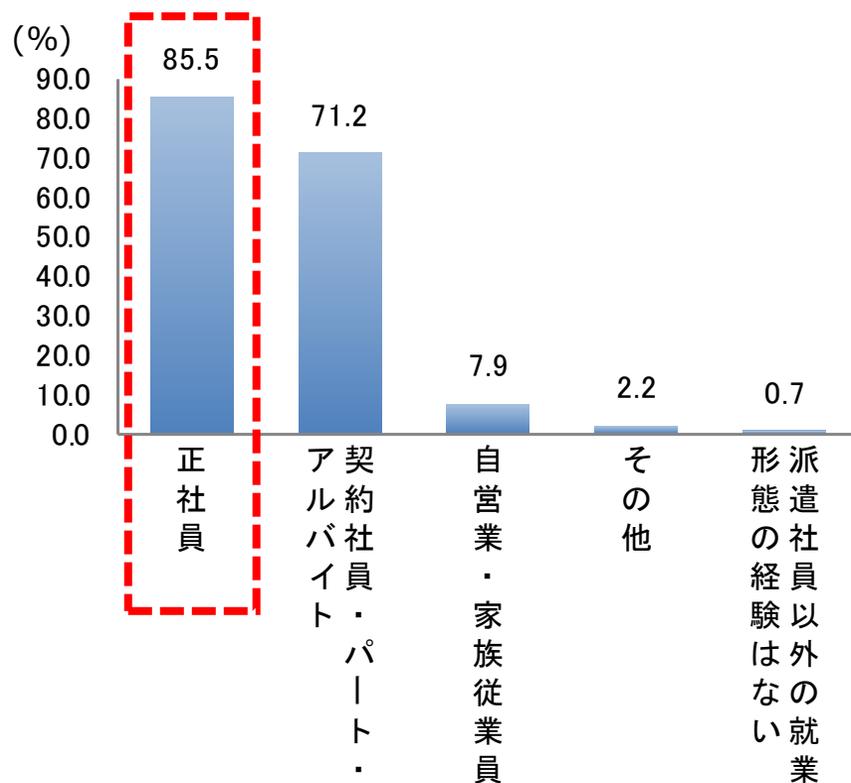
3-1. これまでの働き方は？ ①正社員での就業経験

8割以上が正社員経験者で、「正社員経験5年以上」が6割超。

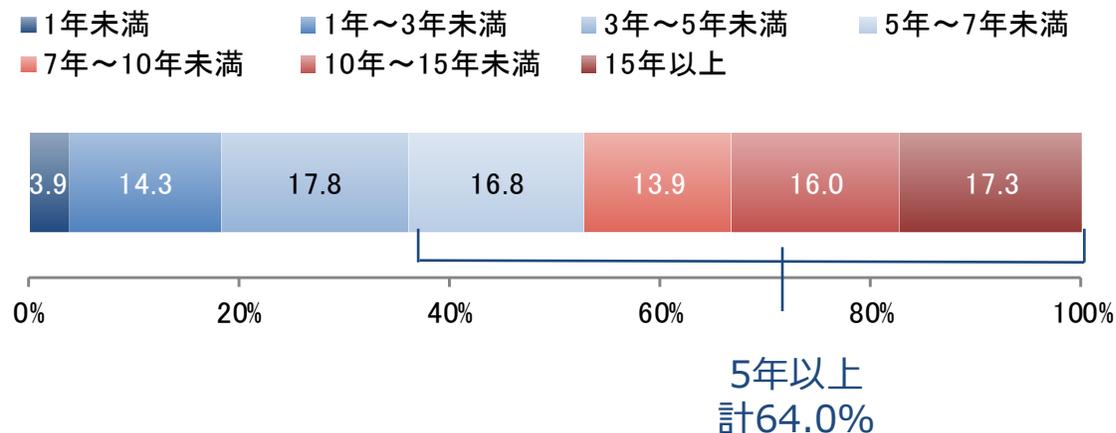
現在派遣で働いている人のうち、正社員経験者は85.5%。契約社員・パート・アルバイト経験がある人は71.2%です。派遣社員しか経験をしていない人は0.7%となっています。

正社員経験者のうち、5年以上正社員として勤めた人は64.0%です。

【図表23】派遣以外で経験した就業形態[MA] N=5,245



【図表24】正社員で働いた通算期間[NA] N=4,483 (正社員経験がある人)

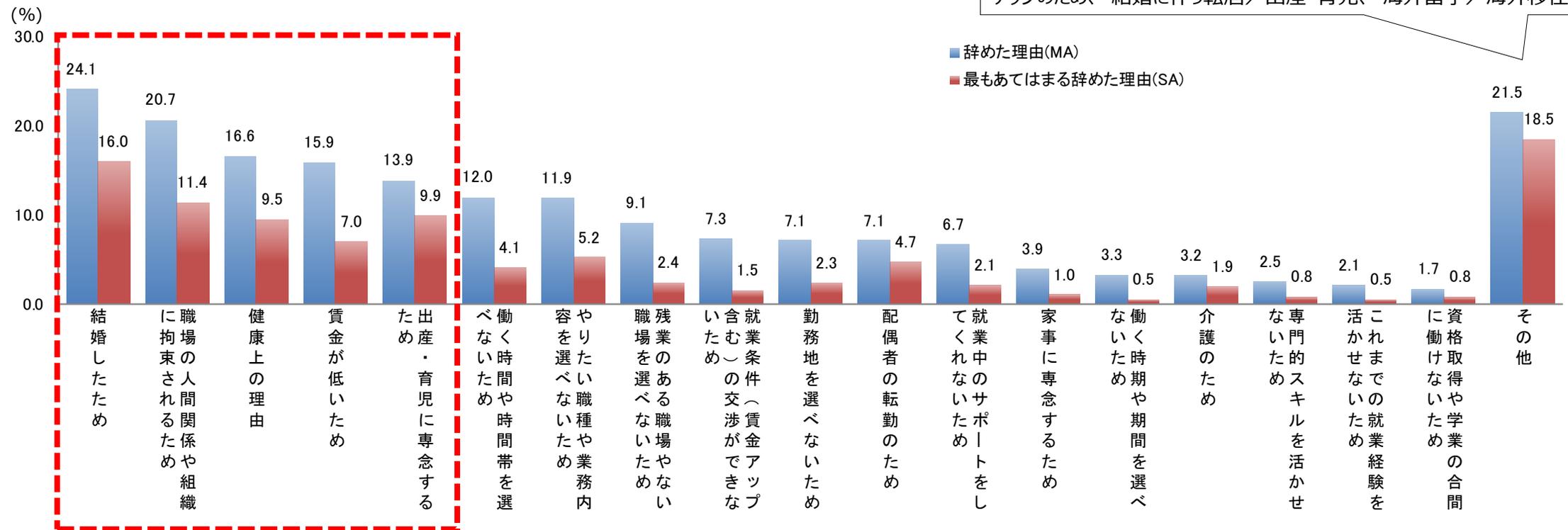


3-1. これまでの働き方は？ ② 正社員を辞めた理由

正社員を辞めた理由は「結婚したため」「職場の人間関係や組織に拘束されるため」が2割。

正社員を辞めた理由は「結婚したため」が最も多く24.1%、次いで「職場の人間関係や組織に拘束されるため」（20.7%）、「健康上の理由」（16.6%）、「賃金が低いため」（15.9%）、「出産・育児に専念するため」（13.9%）が理由の上位にあがっています。

【図表25】正社員を辞めた理由[MA] N=4,483 （正社員経験がある人）



その他の回答例

・倒産・廃業・閉鎖・経営悪化等による解雇、・パワハラ・モラハラ／人間関係の悪さ、・残業が多い／残業代が出ない、・他にやりたい事があった／スキルアップのため、・結婚に伴う転居／出産・育児、・海外留学／海外移住 など

※辞めた理由で降順ソート

3-2. 派遣で働く理由

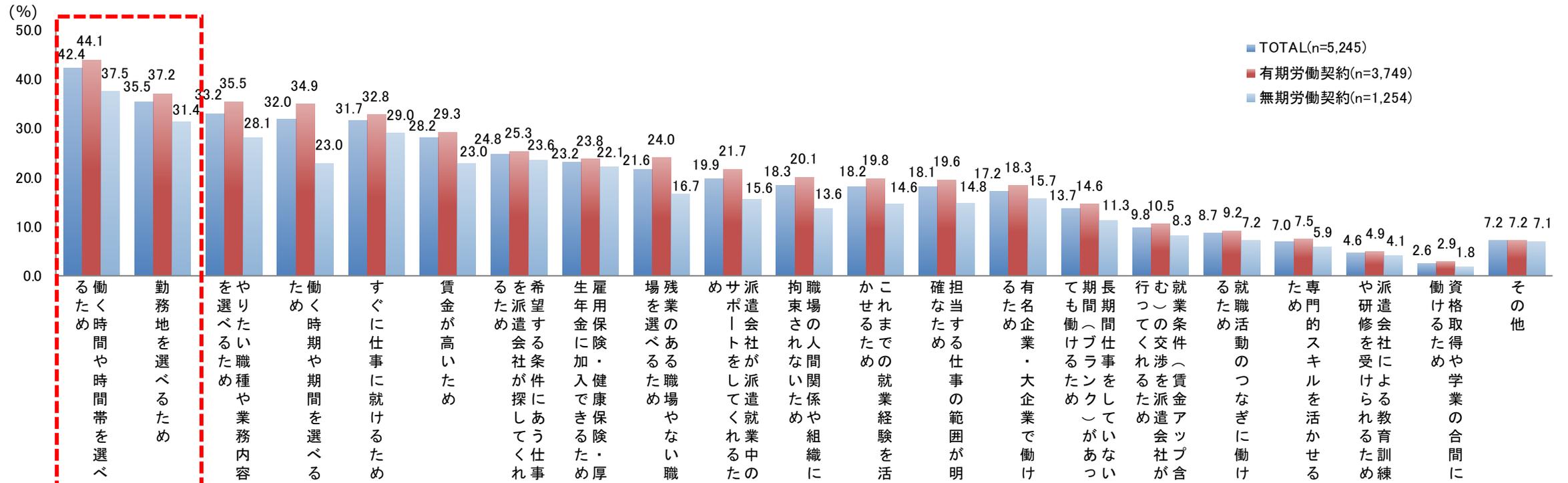
『時間』『勤務地』『職種や業務内容』を選べるのが理由の上位。無期雇用派遣では「すぐに仕事に就けるため」も多い。

派遣で働く理由をたずねると、「働く時間や時間帯を選べるため」が最も多く42.4%、次いで「勤務地を選べるため」（35.5%）、「やりたい職種や業務内容を選べるため」（33.2%）となっています。また、「働く時間や期間を選べるため」や「賃金が高いため」なども上位にあがっており、正社員を辞めた理由にも関係していることがわかります。

また、無期労働契約者では、「すぐに仕事に就けるため」（29.0%）が上位となっています。

【図表26】派遣で働いている理由[MA] N=5,245

派遣で働く理由は正社員を辞めた理由にも関係している



※TOTALで降順ソート

※ TOTAL (5,245s) には派遣会社との1回ごとの労働契約期間が「わからない」と回答した人 (242s) を含む

3-2. 派遣で働く理由（年代別）

30代～60歳以上では「働く時間や時間帯を選べるため」、30歳未満では「すぐに仕事に就けるため」が理由のトップ。

派遣で働く理由を年代別に見ると、40～50代では全体と同様の理由が上位です。30歳未満では、「すぐに仕事に就けるため」が最も多く33.2%、次いで「やりたい職種や業務内容を選べるため」（31.5%）となっています。30代でも「すぐに仕事に就けるため」は35.5%で、理由の上位となっています。

60歳以上では、他の年代と比べて「これまでの就業経験を活かせるため」が多く、32.3%です。

【派遣で働く理由（上位5つ）】

30歳未満(n=479)		(%)
1	すぐに仕事に就けるため	33.2
2	やりたい職種や業務内容を選べるため	31.5
3	働く時間や時間帯を選べるため	30.7
4	賃金が高いため	30.3
5	働く時期や期間を選べるため	29.9

30代(n=1,132)		(%)
1	働く時間や時間帯を選べるため	44.4
2	すぐに仕事に就けるため	35.5
3	勤務地を選べるため	35.2
4	やりたい職種や業務内容を選べるため	35.1
5	働く時期や期間を選べるため	33.7

40代(n=1,540)		(%)
1	働く時間や時間帯を選べるため	43.3
2	勤務地を選べるため	37.3
3	やりたい職種や業務内容を選べるため	34.7
4	働く時期や期間を選べるため	34.0
5	すぐに仕事に就けるため	32.7

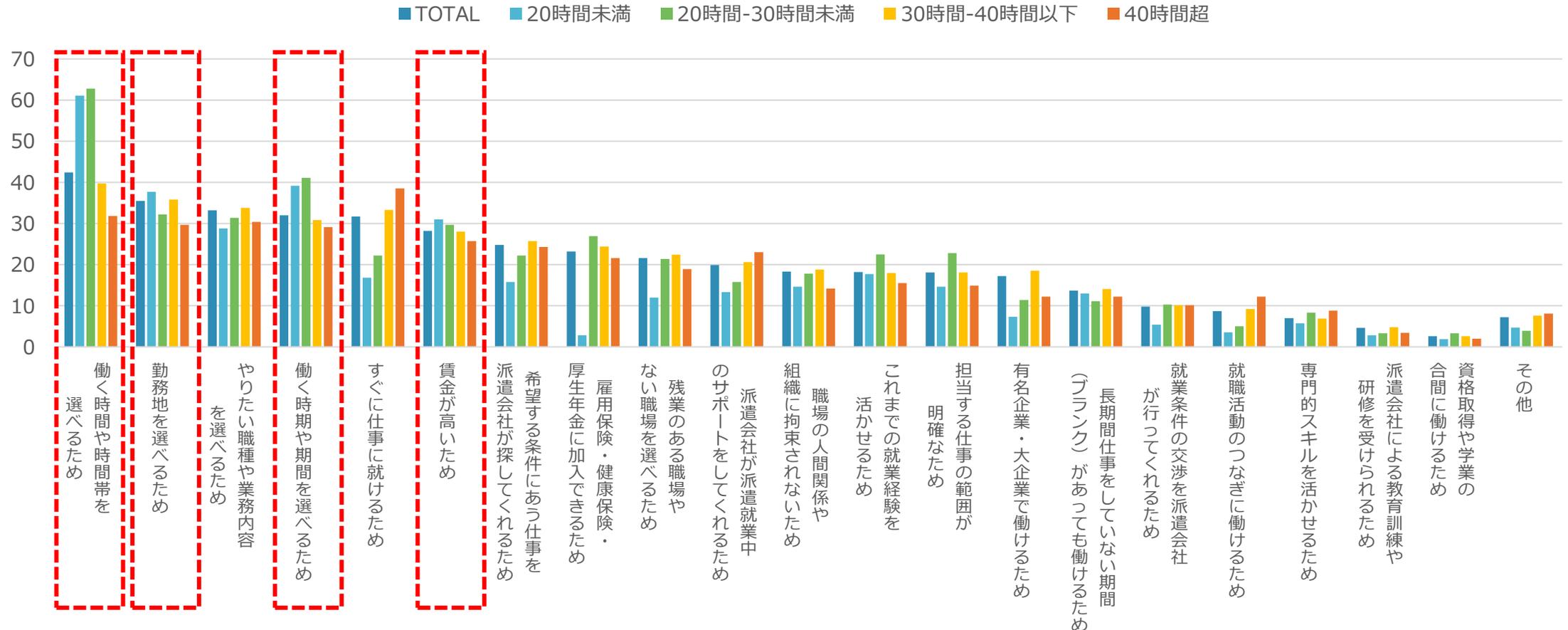
50代(n=1,661)		(%)
1	働く時間や時間帯を選べるため	45.3
2	勤務地を選べるため	38.4
3	やりたい職種や業務内容を選べるため	33.4
4	働く時期や期間を選べるため	31.7
5	すぐに仕事に就けるため	29.2

60歳以上(n=433)		(%)
1	働く時間や時間帯を選べるため	35.1
2	これまでの就業経験を活かせるため	32.3
3	勤務地を選べるため	27.5
4	雇用保険・健康保険・厚生年金に加入できるため	26.6
5	すぐに仕事に就けるため	26.3

3-2. 派遣で働く理由（1週間の所定労働時間別）

30時間未満では「働く時間や時間帯を選べるため」が多く、20時間未満では「勤務地を選べるため」や「賃金が高いため」が他に比べて多い。

全体の傾向と同じく、「時間」「時期」「勤務地」や「やりたい仕事」が選べる」は派遣で働く理由の上位ですが、特に、週の所定労働時間が30時間未満では働く時間や時期を選べるのが派遣で働くメインの理由になっています。また、20時間未満では、「賃金が高いため」も他に比べて多くなっており、制約条件があるなかでも高い収入を得られることが派遣で働く理由になっています。

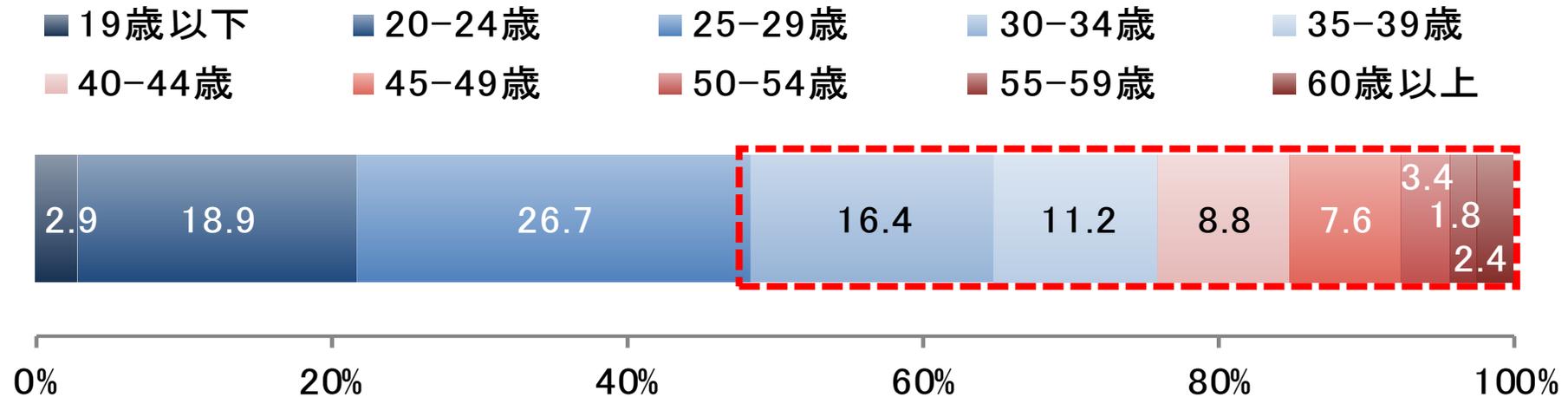


3-3. はじめて派遣で働いた年齢

はじめて派遣で働いた年齢は平均で32.7歳、最も多いのは「25-29歳」。

はじめて派遣として働いた平均年齢は32.7歳で、最も多いのは「25-29歳」（26.7%）で、30歳以上で派遣で働き始める人が過半数でした。

【図表27】はじめて派遣として働いた年齢[NA] N=5,245



30歳以上が51.5%

3-4. 現在と同じ仕事の通算経験期間

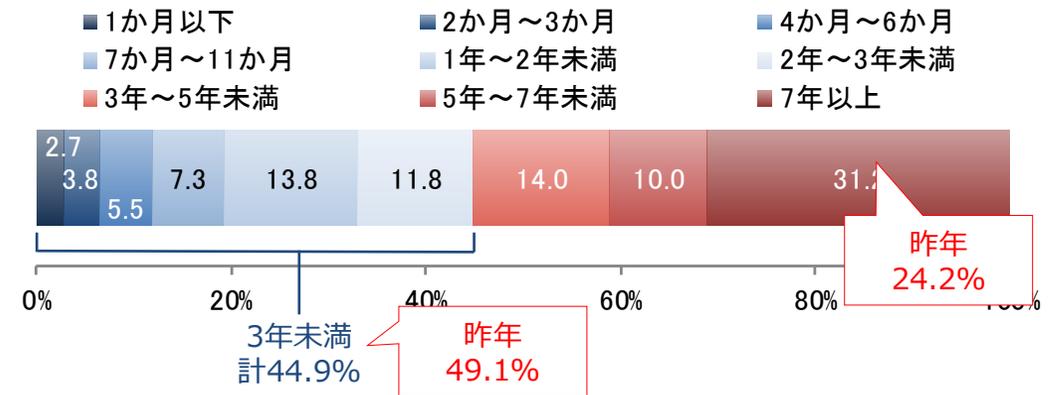
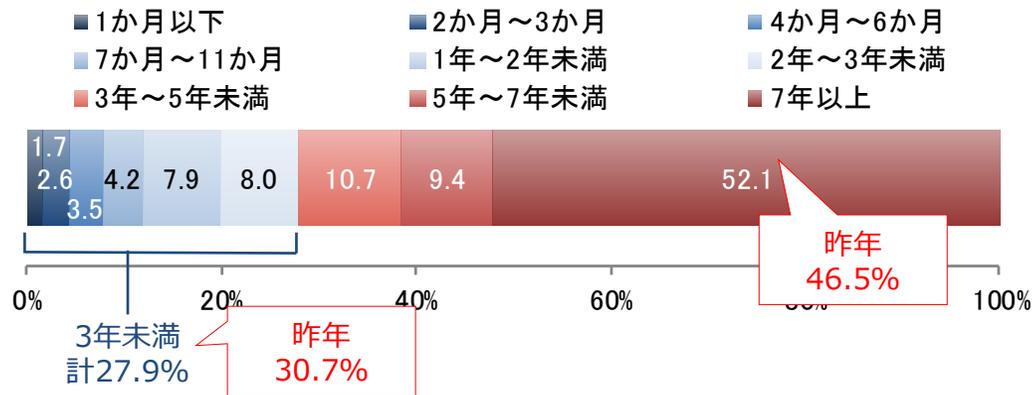
派遣以外の経験も含めて半数が「7年以上」。「通算3年未満」は2割強。

派遣以外の雇用形態も含めた現在と同じ仕事の経験期間は、「7年以上」（52.1%）が最も多く、半数を占めています。昨年と比べて5.6ポイント増加しています。また、「1か月以下」から「2年～3年未満」をあわせた計27.9%の人が、現在と同じ仕事の経験が3年未満となっています。

派遣で経験した期間も「7年以上」（31.2%）が最も多く、昨年と比べて7.0ポイント増加しています。「通算3年未満」は昨年より4.2ポイント減少し、44.9%となっています。

【図表28】現在と同じ仕事の通算経験期間（派遣以外の雇用形態含む）[SA] N=5,245

【図表29】現在と同じ仕事を派遣で経験した期間[SA] N=5,245

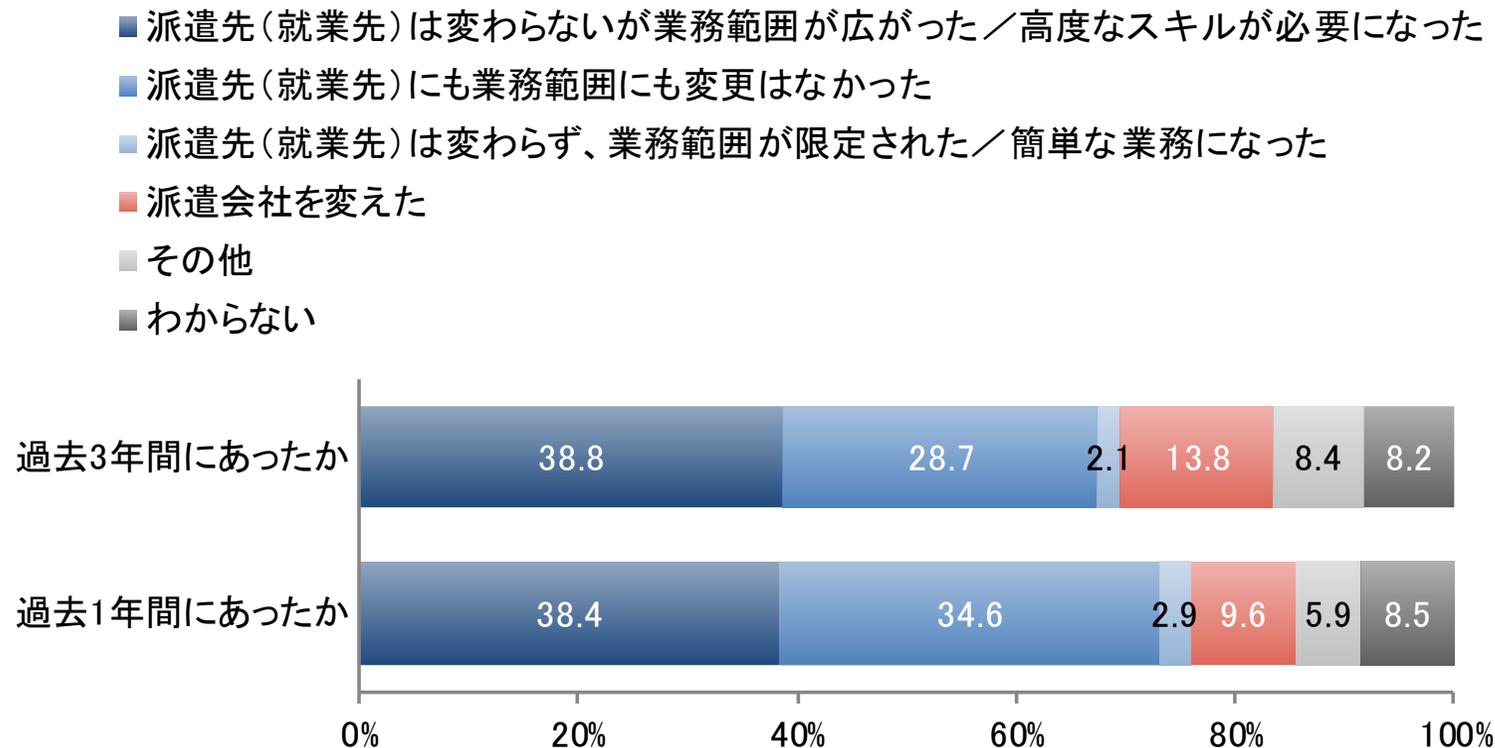


3-5. 過去3年間／1年間における業務範囲の変化

約4割が「派遣先（就業先）は変わらないが業務範囲が広がった／高度なスキルが必要になった」と回答

業務範囲の変化については、過去3年間・過去1年間ともに、「派遣先（就業先）は変わらないが業務範囲が広がった／高度なスキルが必要になった」（38.8%・38.4%）が最も多く、次いで「派遣先（就業先）にも業務範囲にも変更はなかった」（28.7%・34.6%）となっています。

【図表30】過去と比べた業務範囲の変化[SA] N=5,245



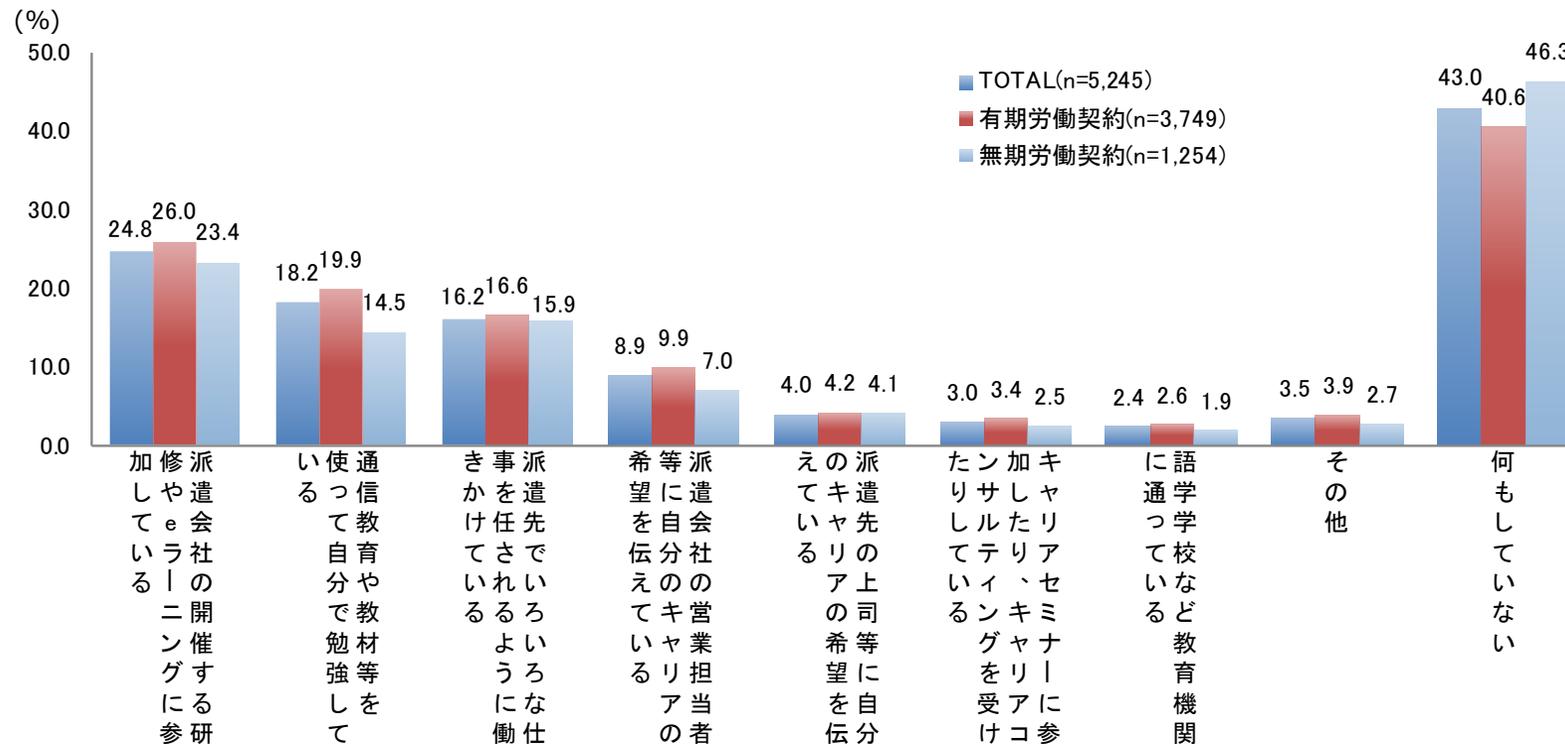
3-6. スキルアップについて

スキルアップのために取り組んでいることは、「派遣会社の開催する研修やeラーニングに参加している」が2割超。

スキルアップのために取り組んでいることは、「派遣会社の開催する研修やeラーニングに参加している」が24.8%で最も多く、次いで「通信教育や教材等を使って自分で勉強している」（18.2%）、「派遣先でいろいろな仕事を任せられるように働きかけている」（16.2%）となっていますが、「何もしていない」が最も多く、4割以上を占めています。

また、有期労働契約者、無期労働契約者で大きな差はみられませんが、「通信教育や教材等を使って自分で勉強している」では、有期労働契約者19.9%、無期労働契約者14.5%と、有期労働契約者の方が多くなっています。

【図表31】スキルアップのために取り組んでいること[MA] N=5,245



※TOTALで降順ソート

※ TOTAL (5,245s) には派遣会社との1回ごとの労働契約期間が「わからない」と回答した人 (242s) を含む

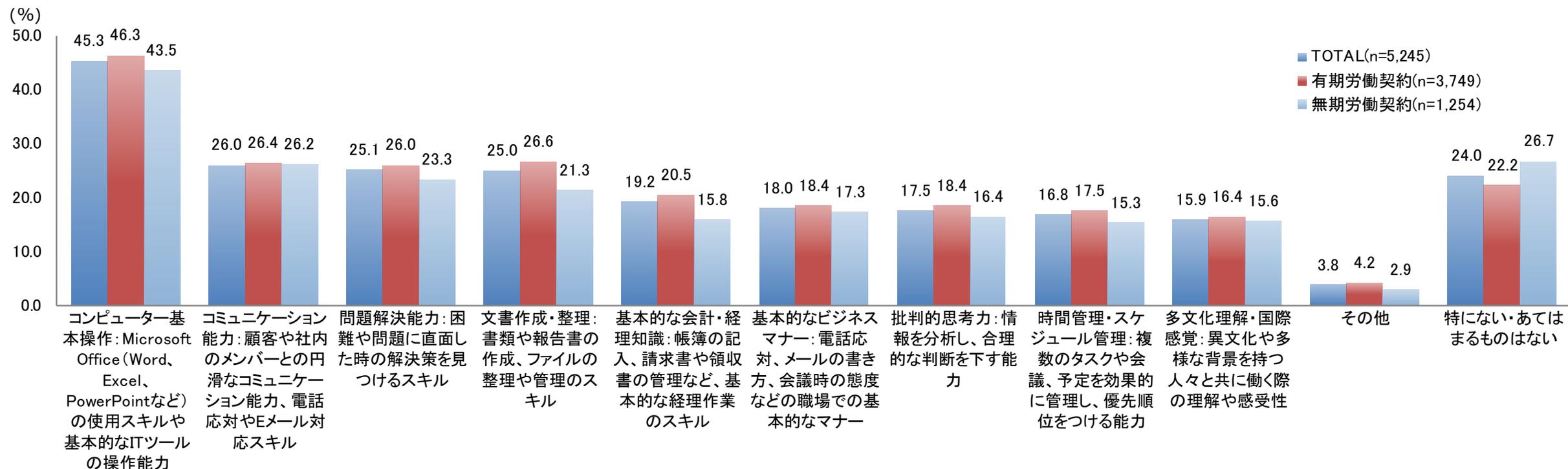
3-6. スキルアップについて ①身につけたい基礎的なスキル

身につけたいと思う基礎的なスキルは、「コンピューター基本操作」が4割超。

身につけたいと思う基本的なスキルは、「コンピューター基本操作：Microsoft Office（Word、Excel、PowerPointなど）の使用スキルや基本的なITツールの操作能力」が45.3%で最も多く、次いで「コミュニケーション能力：顧客や社内のメンバーとの円滑なコミュニケーション能力、電話対応やEメール対応スキル」（26.0%）となっています。

また、有期労働契約者は無期労働契約者と比べて、「文書作成・整理：書類や報告書の作成、ファイルの整理や管理のスキル」で5.3ポイント、「基本的な会計・経理知識：帳簿の記入、請求書や領収書の管理など、基本的な経理作業のスキル」で4.7ポイント多くなっています。

【図表31】身につけたい基本的なスキル[MA] N=5,245



※TOTALで降順ソート ※ TOTAL (5,245s) には派遣会社との1回ごとの労働契約期間が「わからない」と回答した人 (242s) を含む

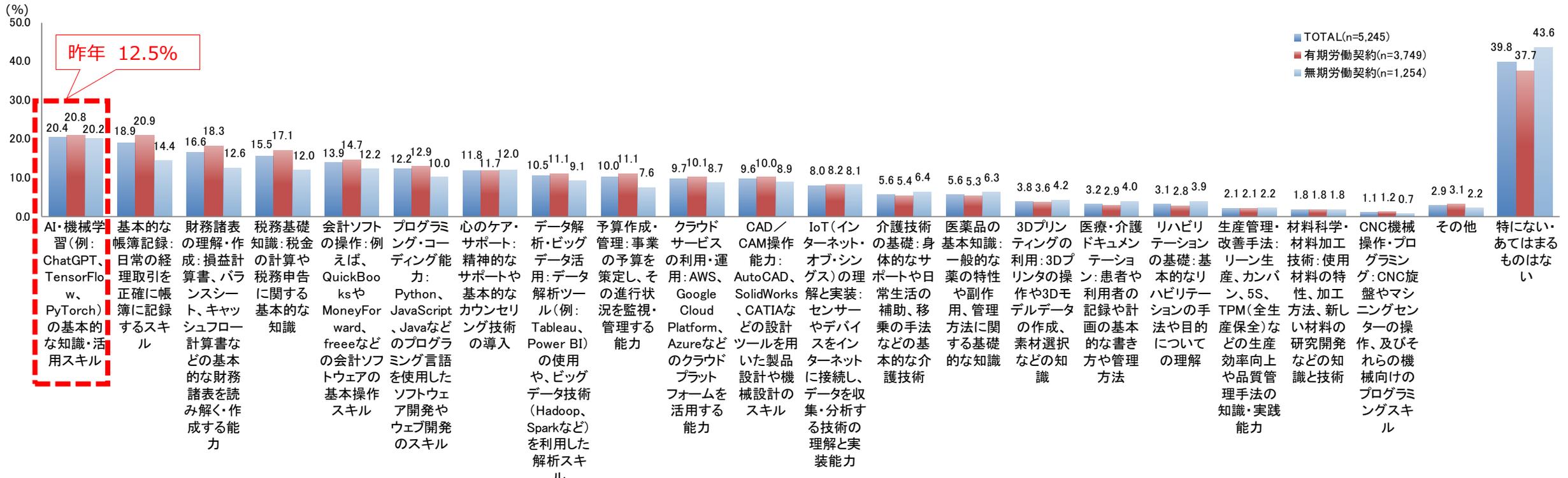
3-6. スキルアップについて ②身につけたい専門的・技術的スキル

身につけたいと思う専門的・技術的なスキルは、「AI・機械学習」が2割でトップ。

身につけたいと思う専門的・技術的なスキルは、「AI・機械学習（例：ChatGPT、TensorFlow、PyTorch）の基本的な知識・活用スキル」が20.4%で最も多く、次いで「基本的な帳簿記録：日常の経理取引を正確に帳簿に記録するスキル」（18.9%）、「財務諸表の理解・作成：損益計算書、バランスシート、キャッシュフロー計算書などの基本的な財務諸表を読み解く・作成する能力」（16.6%）となっています。

また、有期労働契約者は無期労働契約者と比べて、経理・財務に関する項目で「基本的な帳簿記録：日常の経理取引を正確に帳簿に記録するスキル」で6.5ポイント、「財務諸表の理解・作成：損益計算書、バランスシート、キャッシュフロー計算書などの基本的な財務諸表を読み解く・作成する能力」で5.7ポイント多くなっています。

【図表32】身につけたい専門的・技術的なスキル[MA] N=5,245



※TOTALで降順ソート

※ TOTAL (5,245s) には派遣会社との1回ごとの労働契約期間が「わからない」と回答した人 (242s) を含む

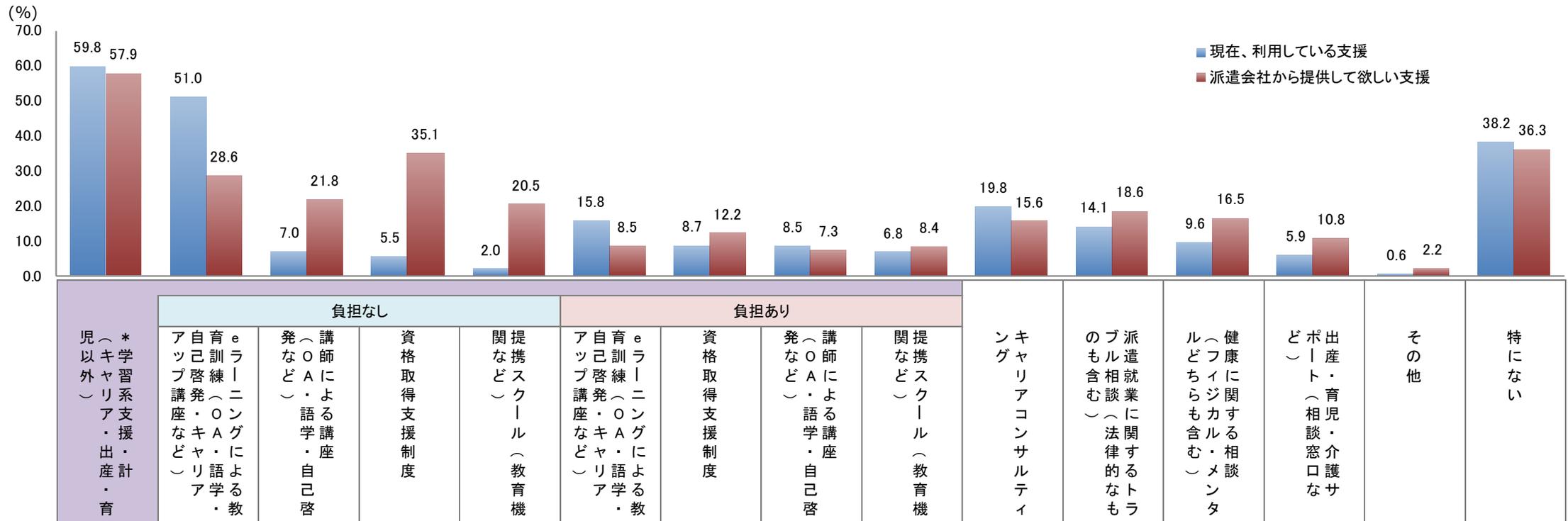
3-7. 派遣会社からの支援について ①利用状況と提供希望

「有給・無料のeラーニングによる教育訓練」を半数が利用、「有給・無料資格取得支援制度」を3割が希望。

利用している支援は、「有給・無料eラーニングによる教育訓練（OA・語学・自己啓発・キャリアアップ講座など）」が51.0%ですが、その他の支援は1～2割程度の利用となっています。また、「特にない」が38.2%で3割強を占めています。

派遣会社から提供して欲しい支援は、「有給・無料資格取得支援制度」が35.1%で最も多く、次いで「有給・無料eラーニングによる教育訓練（OA・語学・自己啓発・キャリアアップ講座など）」が28.6%、「有給・無料講師による講座（OA・語学・自己啓発など）」が21.8%となっています。

【図表32】現在利用している支援・派遣会社から提供してほしい支援[MA] N=5,245



※各項目内、「現在、利用している支援」で降順ソート

3-7. 派遣会社からの支援について ② キャリアコンサルティング

現在の派遣会社でのキャリアコンサルティングは、「受けることができる」が、実際には「受けたことがない」が大半。

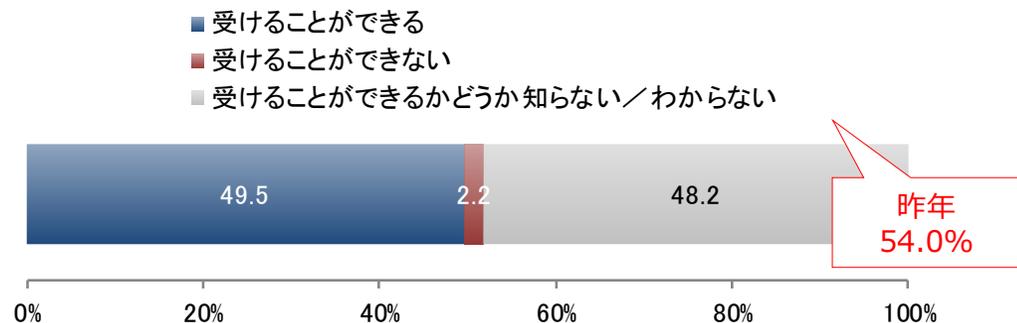
現在の派遣会社でキャリアコンサルティングは「受けることができる」が49.5%で約半数を占めています。「受けることができるかどうか知らない／わからない」は48.2%で、昨年からは減少しています。

一方で、キャリアコンサルティングを受けた経験があるかは、「受けたことがない」が77.7%で、8割近くが利用していないことがわかります。

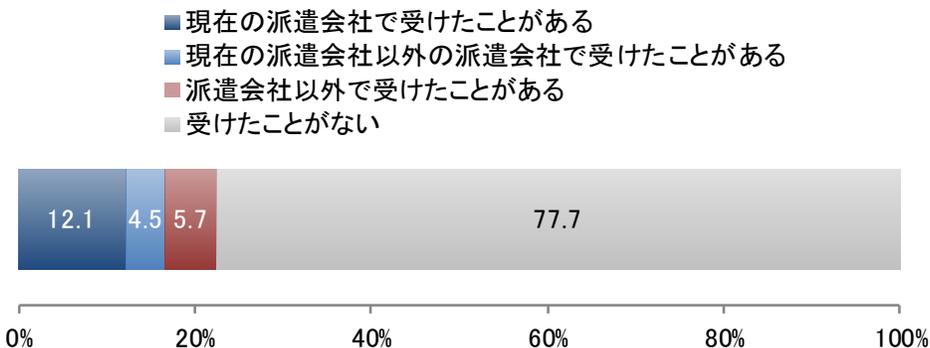
無料キャリアコンサルティング利用意向は、6割が「利用したい」、「利用したくない」は1割強。

無料キャリアコンサルティングの利用意向は、「利用したい」、「どちらかという利用したい」と答えた人の計は60.1%、「どちらかという利用したくない」、「利用したくない」と答えた人の計は15.7%となっています。

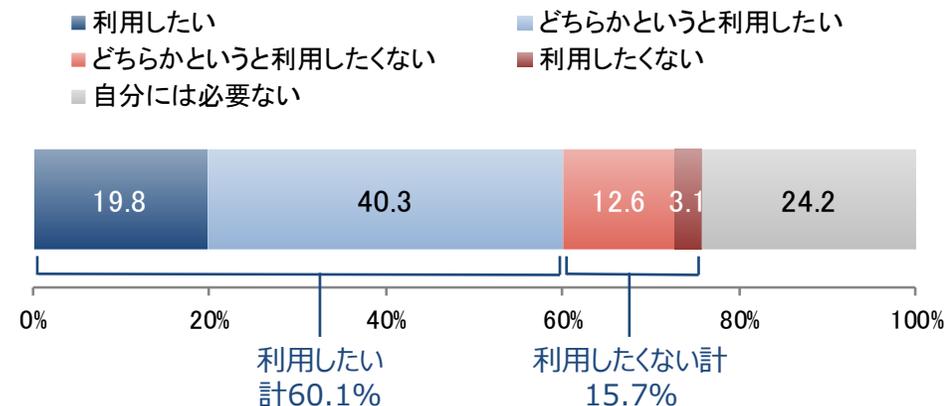
【図表33】現在の派遣会社でキャリアコンサルティングを受けることができるか[SA] N=5,245



【図表34】キャリアコンサルティングを受けた経験[SA] N=2,598 (キャリアコンサルティングを受けることができる人)



【図表35】無料キャリアコンサルティング利用意向[SA] N=5,245

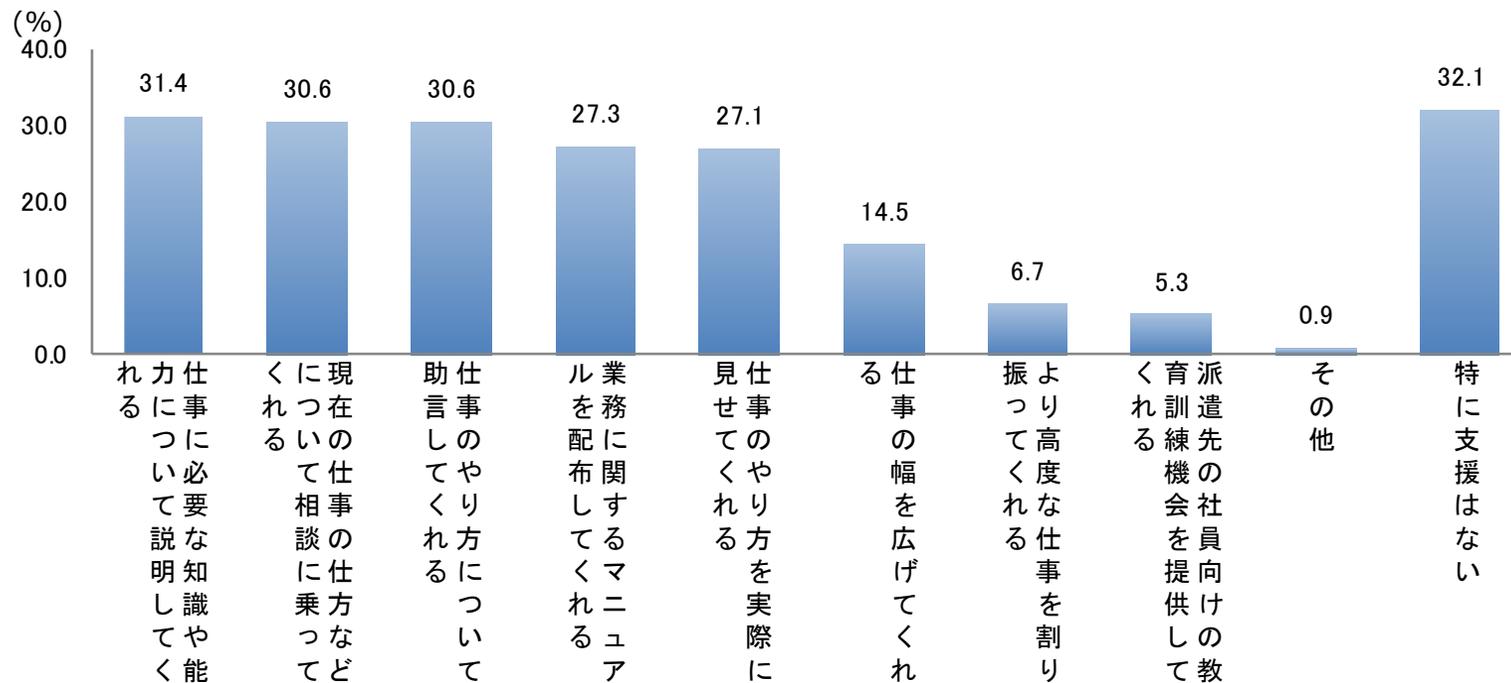


3-8. 派遣先からの支援について

派遣先の能力開発支援は、「必要な知識や能力の説明」「仕事の仕方などの相談」「仕事のやり方の助言」が3割。

派遣先の能力開発支援は、「仕事に必要な知識や能力について説明してくれる」が31.4%で最も多く、次いで「現在の仕事の仕方などについて相談に乗ってくれる」「仕事のやり方について助言してくれる」が30.6%で続きます。

【図表36】派遣先の能力開発支援[MA] N=5,245



※TOTALで降順ソート

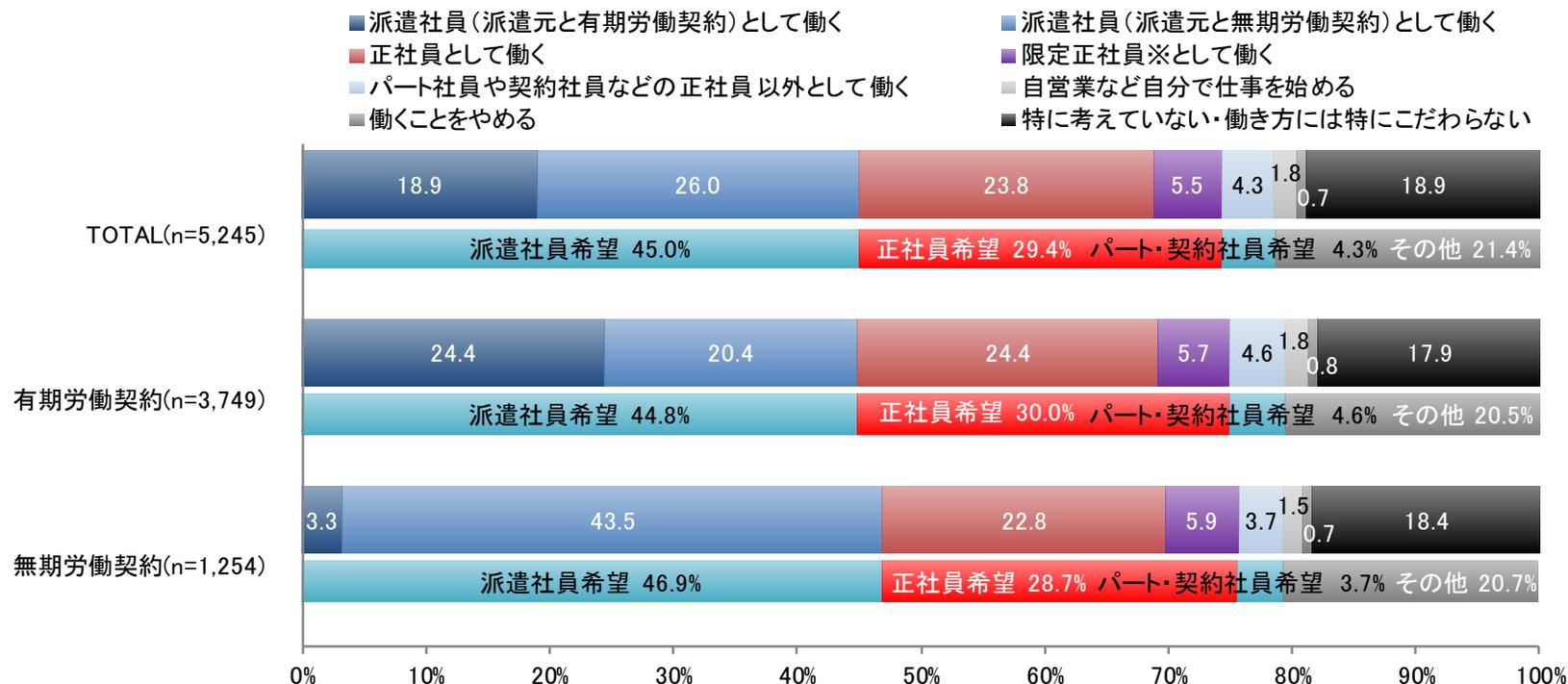
3-9. 今後の働き方の希望は？ ①今後1年以内の働き方

1年以内を考えたときの希望する働き方は「派遣社員」が45.0%、「正社員」は29.4%。

1年以内を考えたときの希望する働き方は、有期労働契約と無期労働契約を合わせた「派遣社員希望」が45.0%、限定正社員も含めて「正社員希望」が29.4%です。一方、「特に考えていない・働き方には特にこだわらない」が18.9%となっています。

※限定正社員とは、正社員を希望しているが、異動・通勤時間の増加・休日出勤・残業などの雇用条件のうち、何かしら受け入れられない条件がある人と定義

【図表37】1年以内に希望する働き方[SA] N=5,245



※ TOTAL (5,245s) には派遣会社との1回ごとの労働契約期間が「わからない」と回答した人 (242s) を含む

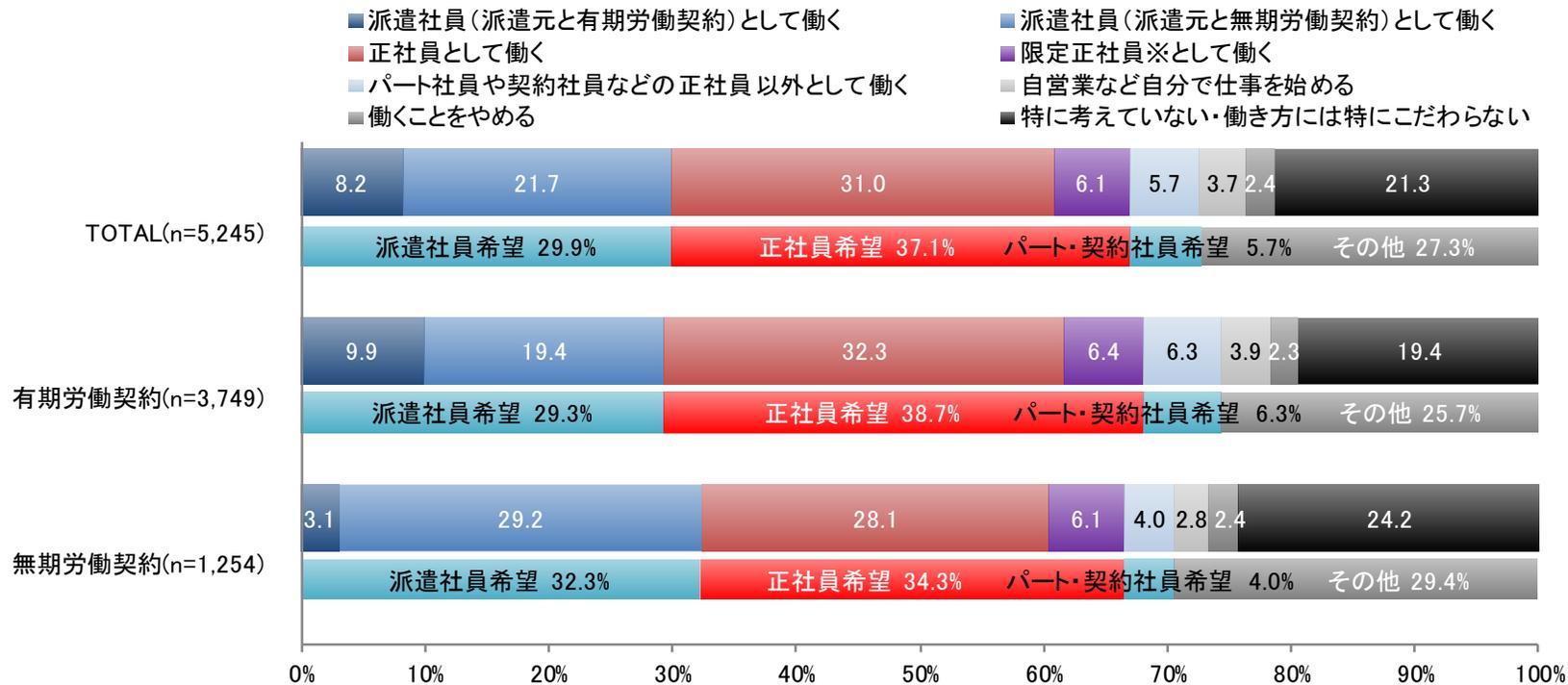
3-9. 今後の働き方の希望は？ ②今後4年目以降の働き方

4年目以降に希望する働き方は「正社員」が37.1%、「派遣社員」は29.9%。

4年目以降に希望する働き方は、「正社員として働く」が31.0%で最も多く、「限定正社員※として働く」（6.1%）と合わせると37.1%の人が正社員を希望しています。有期労働契約・無期労働契約を合わせた「派遣社員希望」の人は29.9%で、全体の3割となっています。

※限定正社員とは、正社員を希望しているが、異動・通勤時間の増加・休日出勤・残業などの雇用条件のうち、何かしら受け入れられない条件がある人と定義

【図表38】4年目以降に希望する働き方[SA] N=5,245



※ TOTAL (5,245s) には派遣会社との1回ごとの労働契約期間が「わからない」と回答した人 (242s) を含む

3-9. 今後の働き方の希望は？ ③正社員または限定正社員で働きたい理由

1年以内に正社員または限定正社員での働き方を希望する理由は、「賞与」「定年まで働けるため」が上位。

1年以内に正社員または限定正社員での働き方を希望する理由は、「賞与制度があるため」が64.7%で最も多く、次いで「期間の定めがない雇用のため定年まで働けるため」(52.5%)、「昇給・昇格の機会があるため」(38.2%)と続きます。

昨年と比べて、正社員を希望する人では「退職金制度があるため」が5.2ポイント減少しています。

【図表39】派遣社員以外の働き方を希望する理由：今後1年以内[MA] N=1,540
(今後1年以内に、正社員または限定正社員での働き方を希望する人)

希望する働き方	TOTAL (n=1,540)	賞与制度があるため	期間の定めがない雇用のため定年まで働けるため	昇給・昇格の機会があるため	退職金制度があるため	賃金が高いため	福利厚生が受けやすいため	これまでの就業経験を活かせるため	キャリアアップができるため	担当する仕事の範囲が明確なため	入職できるため	雇用保険・健康保険・厚生年金に加入できるため	社会的信用が高くなる(ローン審査などに有利)ため	自宅から近い職場を選べるため	休暇が取りやすいため	専門的スキルを活かせるため	転職の際、職歴として評価されるため	働く時間や時間帯を選べるため	やりたい職種や業務内容を選べるため	有名企業・大企業で働けるため	責任が重い業務は避けたいため	残業のある職場やない職場を選べるため	副業や兼業がしやすいため	労働組合への加入ができるため	働く時期や期間を選べるため	職場の人間関係や組織に拘束されな	職場の人間関係や組織に拘束されな	長期間仕事をしていない期間(ブランク)があっても働けるため	就職活動のつなぎに働けるため	資格取得や学業の合間に働けるため	すぐに仕事に就けるため	その他	あてはまるものはない
1年以内	64.7	52.5	38.2	23.6	18.5	14.1	9.1	8.1	6.0	4.8	4.1	3.2	3.1	2.9	2.1	2.1	1.7	1.6	1.0	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	2.1	0.6		
正社員 (n=1,249)	68.1	53.4	41.2	25.1	19.9	15.0	7.8	8.3	2.9	4.2	4.3	1.4	2.9	2.4	2.3	0.4	1.1	1.4	0.1	0.4	0.5	0.4	0.1	0.1	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.0	1.7	0.6	
限定正社員 (n=291)	49.8	48.8	25.4	17.5	12.7	10.3	14.8	6.9	19.6	7.6	3.1	11.3	3.8	4.8	1.4	9.3	4.1	2.4	5.2	1.7	1.4	0.7	2.1	2.1	2.1	0.3	0.0	0.3	0.7	3.8	0.7		

※TOTALで降順ソート

TOTALより+5pt以上
TOTALより-5pt以下
TOTALより+10pt以上
TOTALより-10pt以下

3-9. 今後の働き方の希望は？ ③正社員または限定正社員で働きたい理由

4年目以降に正社員または限定正社員での働き方を希望する理由も「賞与」「定年まで働けるため」が上位。

4年目以降に正社員または限定正社員での働き方を希望する理由は、「賞与制度があるため」が60.3%で最も多く、次いで「期間の定めがない雇用のため定年まで働けるため」(53.6%)、「昇給・昇格の機会があるため」(36.3%)と続きます。

昨年と比べて、正社員を希望する人では「期間の定めがない雇用のため定年まで働けるため」が3.7ポイント、「退職金制度があるため」が4.2ポイント減少しています。

【図表40】派遣社員以外の働き方を希望する理由：4年目以降[MA] N=1,945
(4年目以降、正社員または限定正社員での働き方を希望する人)

希望する働き方	理由																															
	TOTAL (n=1,945)	60.3	53.6	36.3	27.7	17.7	15.1	9.1	8.9	5.6	4.7	4.4	3.0	2.8	2.7	2.1	1.8	1.7	1.6	0.8	0.8	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.1	2.1	0.7	
	正社員 (n=1,626)	62.9	53.4	38.8	29.5	19.2	15.6	7.3	9.5	6.1	2.0	3.6	1.0	2.6	2.5	0.7	2.0	1.3	1.4	0.4	0.1	0.3	0.5	0.1	0.3	0.3	0.3	0.2	0.0	1.7	0.7	
限定正社員 (n=319)	46.7	54.5	23.8	18.5	10.3	12.5	18.5	6.3	3.1	18.5	8.5	13.2	3.8	3.4	9.1	0.9	3.8	2.8	3.1	4.4	2.2	0.3	2.5	0.6	0.6	0.0	0.0	0.6	3.8	0.6		
	(%)	賞与制度があるため	期間の定めがない雇用のため定年まで働けるため	昇給・昇格の機会があるため	退職金制度があるため	賃金が高いため	福利厚生が受けやすいため	これまでの就業経験を活かせるため	キャリアアップができるため	社会的信用が高くなる(ローン審査などに有利)ため	担当する仕事の範囲が明確なため	入居できるため	雇用保険・健康保険・厚生年金に加入できるため	自宅から近い職場を選べるため	専門的スキルを活かせるため	休暇が取りやすいため	働く時間や時間帯を選べるため	転職の際、職歴として評価されるため	やりたい職種や業務内容を選べるため	有名企業・大企業で働けるため	残業のある職場やない職場を選べるため	責任が重い業務は避けたいため	働く時期や期間を選べるため	長期(数年)があっても働けるため	職場の人間関係や組織に拘束されないため	労働組合への加入ができるため	副業や兼業がしやすいため	すぐに仕事に就けるため	就職活動のつなぎに働けるため	資格取得や学業の合間に働けるため	その他	あてはまるものはない

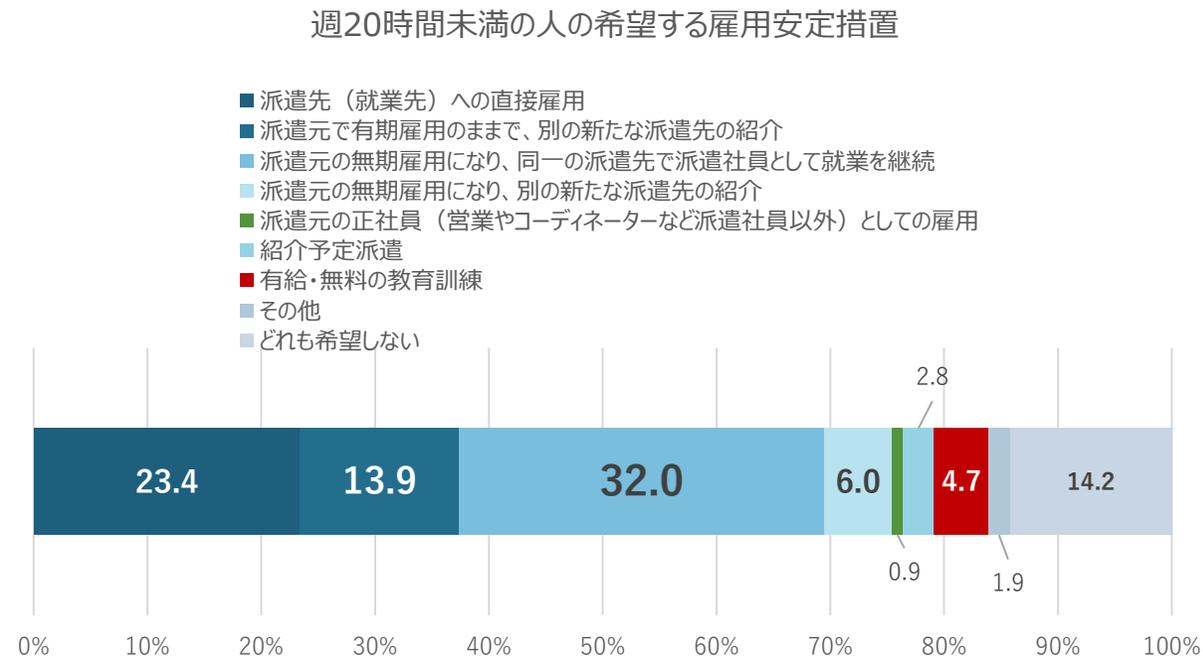
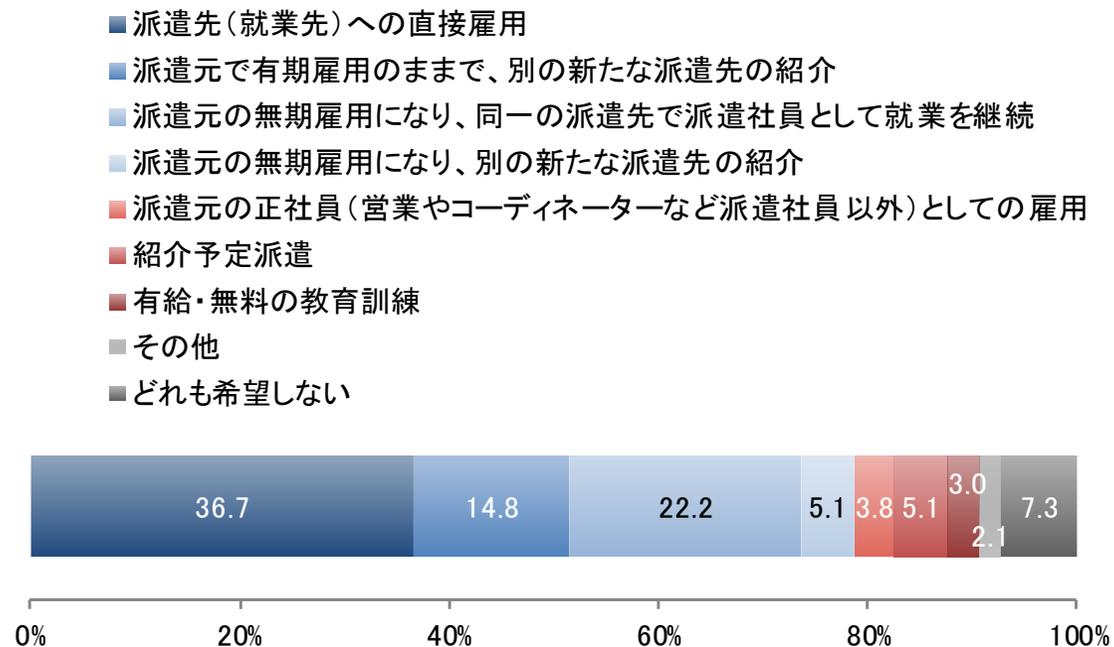
※TOTALで降順ソート
TOTALより+5pt以上 TOTALより-5pt以下
TOTALより+10pt以上 TOTALより-10pt以下

3-10. 希望する雇用安定措置について

希望する「雇用安定措置」は「派遣先への直接雇用」が3割強、週20時間未満の人は無期雇用派遣への転換希望が最も多い

希望する「雇用安定措置」は、「派遣先（就業先）への直接雇用」が36.7%で最も多く、次いで「派遣元の無期雇用になり、同一の派遣先で派遣社員として就業を継続」（22.2%）となっています。週20時間未満の人では、派遣先への直接雇用を希望する人の割合が減り、無期雇用派遣に転換して同一の派遣先での就業を継続する希望が多くなります。

【図表41】希望する「雇用安定措置」[SA] N=3,749 （有期雇用契約の人）



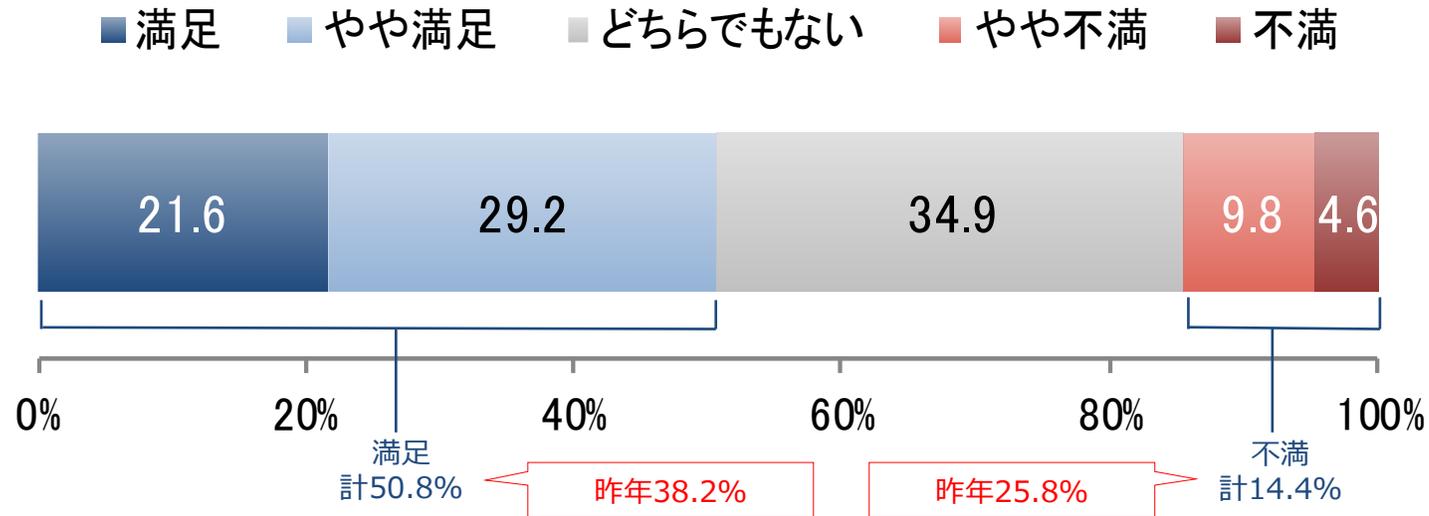
4. 無期雇用への転換について

4-2. 無期雇用転換したことの満足度

半数が「満足」、「不満」は1割。

現在の派遣会社で無期雇用に変更したことについて、「満足」、「やや満足」と答えた人の計は50.8%と半数を占めています。昨年の38.2%から12.6ポイント増加しています。一方、「不満」、「やや不満」と答えた人の計は14.4%で、昨年の25.8%から11.4ポイント減少しています。

【図表44】「無期雇用転換」の満足度[SA] N=857
(無期労働契約のうち、有期労働契約経験ありの人)



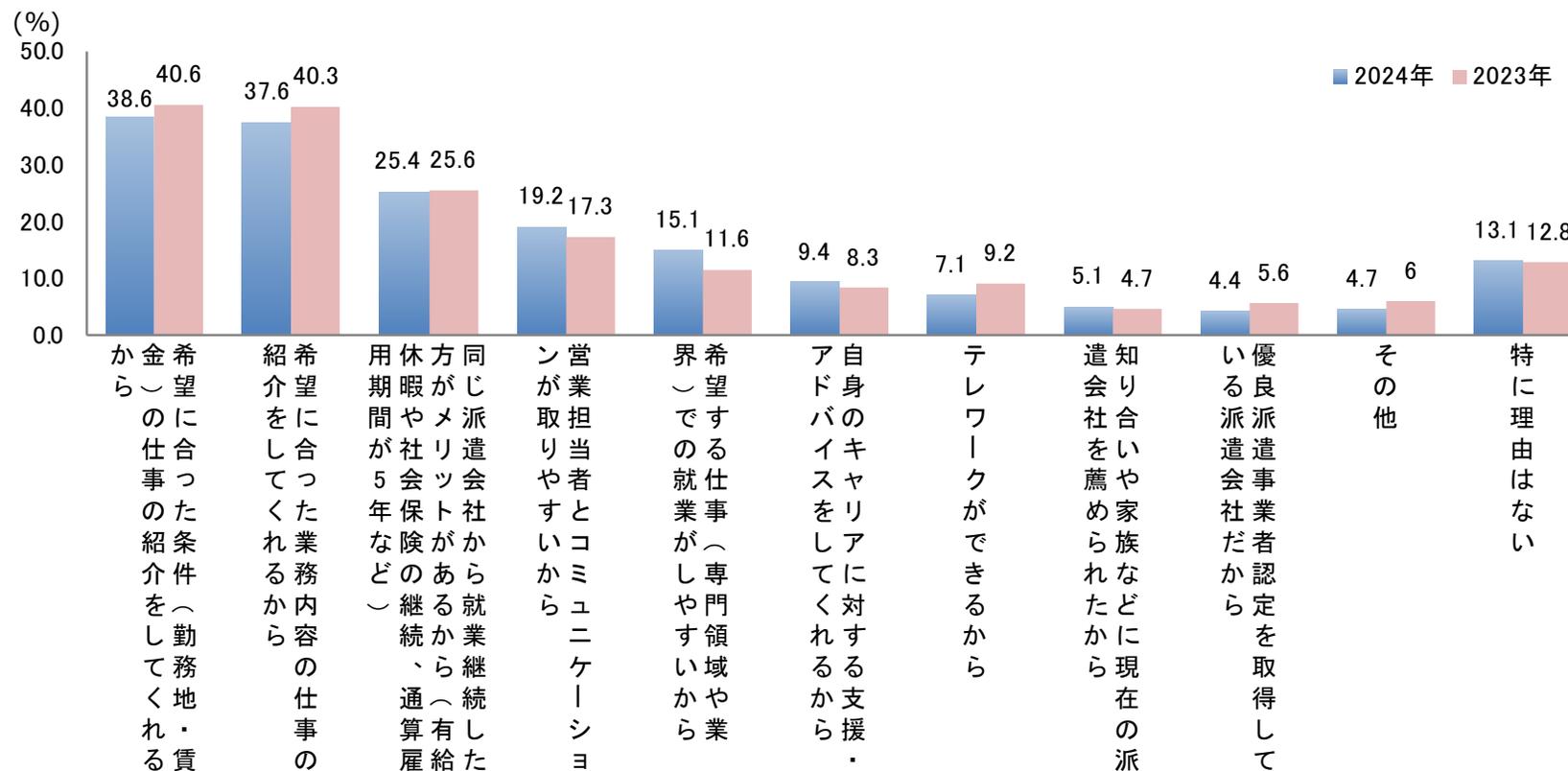
5. 現在の派遣会社について

5-1. 現在の派遣会社から就業している理由

現在の派遣会社から就業している理由は？「希望に合った『条件』や『業務内容』の仕事を紹介してくれる」が上位。

現在の派遣会社から就業している理由は、「希望に合った条件（勤務地・賃金）の仕事を紹介してくれるから」が38.6%で最も多く、次いで「希望に合った業務内容の仕事を紹介してくれるから」が37.6%で上位となっています。

【図表45】現在の派遣会社から就業している理由[MA] 2024年：N=5,245 2023年：N=1,932



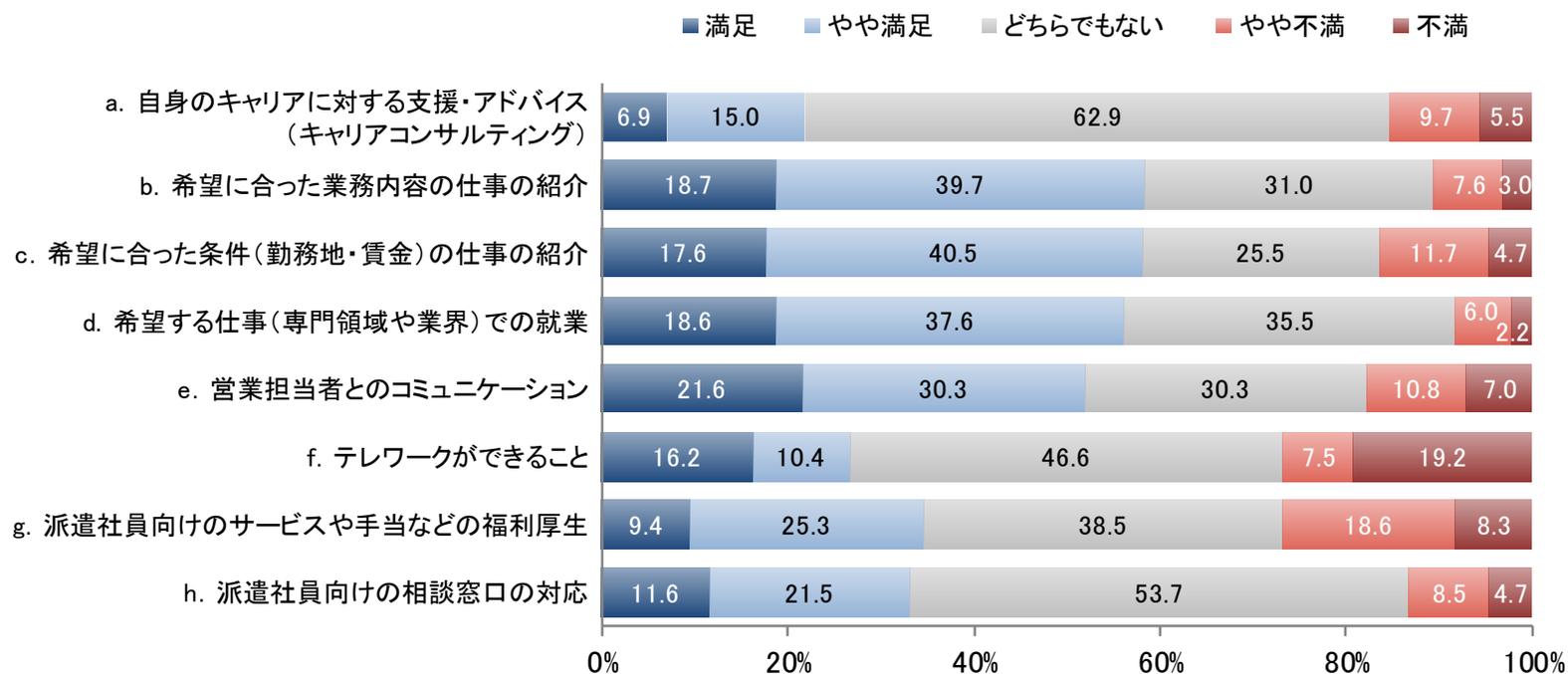
※2024年で降順ソート

5-2. 現在の派遣会社の満足度

現在の派遣会社に対する満足度「希望に合った業務内容の仕事の紹介」「希望に合った条件の仕事の紹介」に対する満足度が高い。

現在の派遣会社に対する満足度をたずねると、「希望に合った業務内容の仕事の紹介」で「満足」+「やや満足」の満足・計が58.4%と最も多く、次いで「希望に合った条件（勤務地・賃金）の仕事の紹介」が58.1%と続きます。一方、「不満」+「やや不満」の不満・計が高いのは、「派遣社員向けのサービスや手当などの福利厚生」（26.9%）、「テレワークができること」（26.7%）となっています。

【図表46】現在の派遣会社満足度[SA] N=5,245



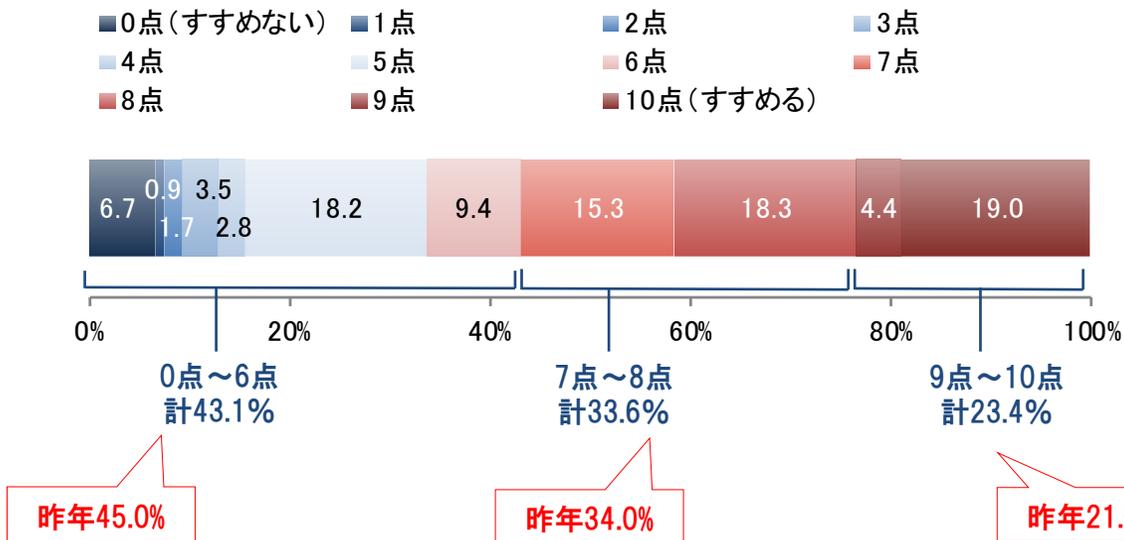
5-3. 現在の派遣会社・派遣で働くことの推奨度

●現在の派遣会社の推奨度

2割が現在の派遣会社をすすめる。

派遣会社の推奨度は、「10点(すすめる)」が19.0%で最も多くなっています。「9点～10点(すすめる)」計は23.4%です。

【図表47】派遣会社の推奨度[SA] N=5,245



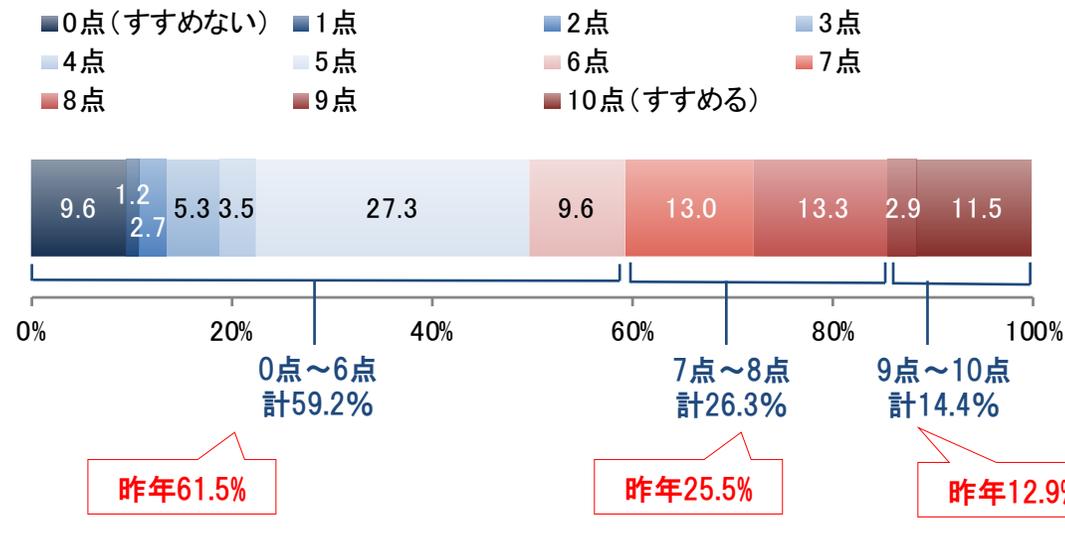
NPS -19.7 (昨年比 +4.3)

●派遣で働くことの推奨度

派遣で働くことをすすめるのは1割。

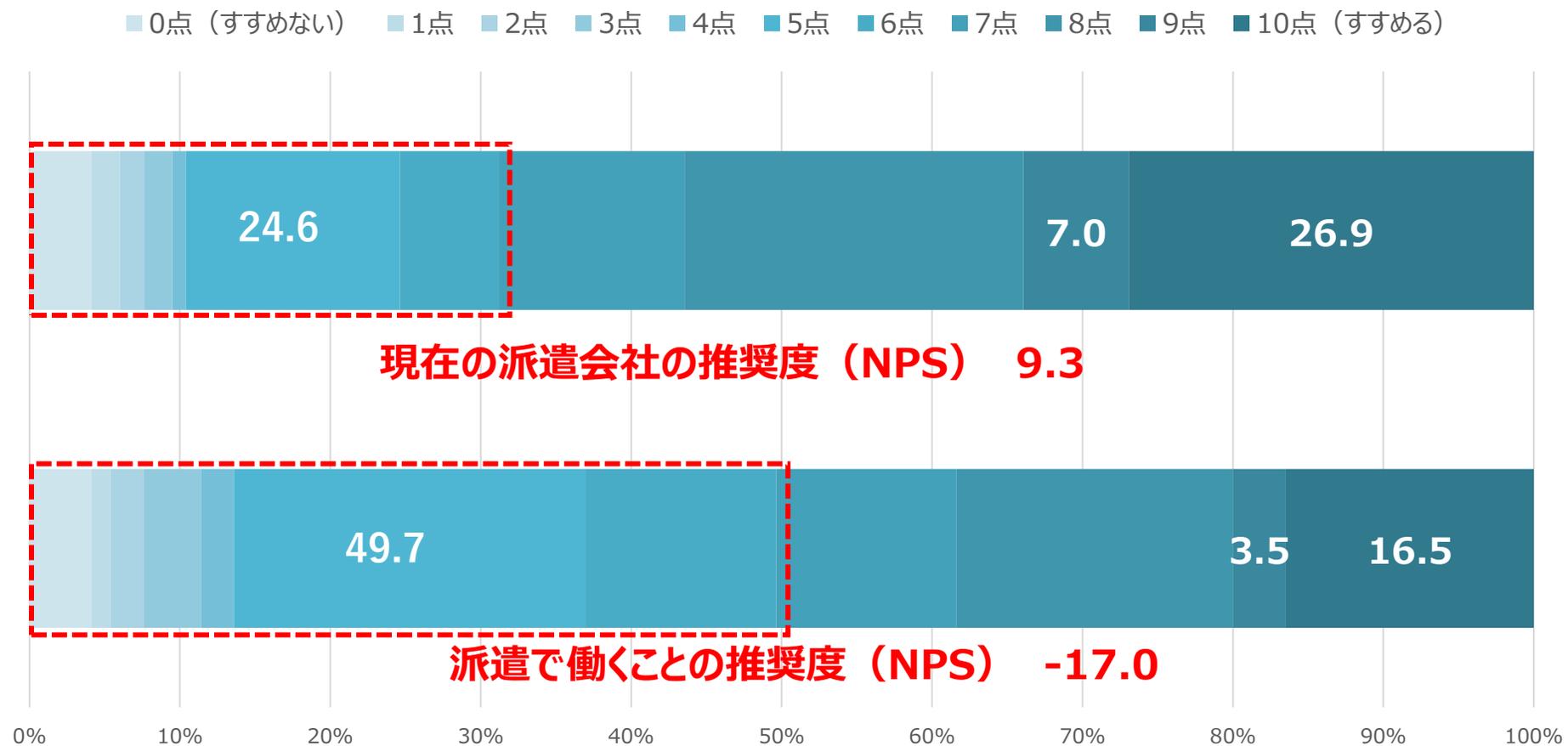
派遣で働くことの推奨度は、「5点」が最も多く、27.3%となっています。「9点～10点(すすめる)」計は14.4%で、1割程度となっています。

【図表48】派遣で働くことの推奨度[SA] N=5,245



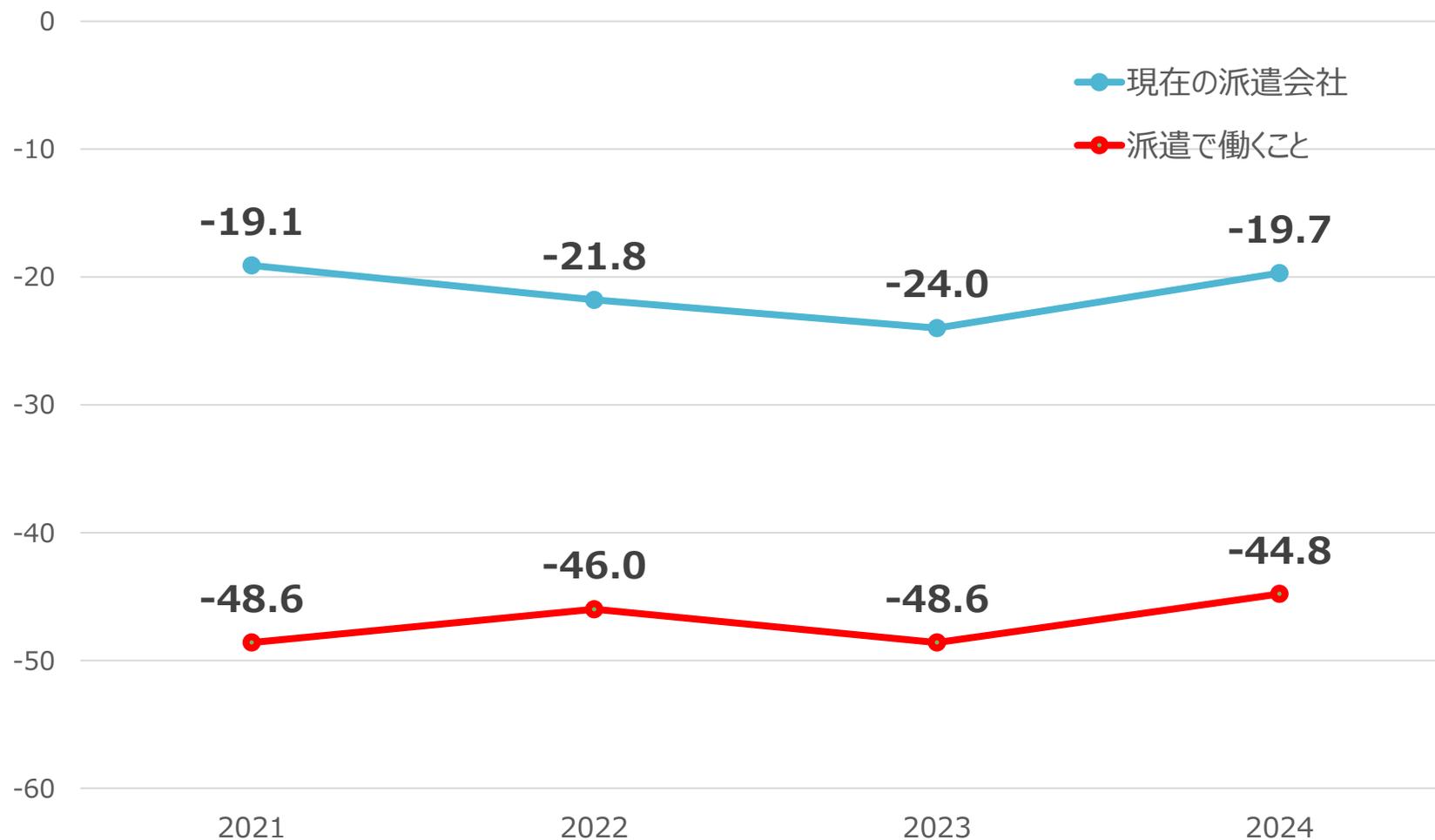
NPS -44.8 (昨年比+3.8)

参考 週20時間未満の人による推奨度



週20時間未満で働く人による現在の派遣会社・派遣で働くことの推奨度は非常に高い

参考 現在の派遣会社・派遣ではたらくことの推奨度の変化



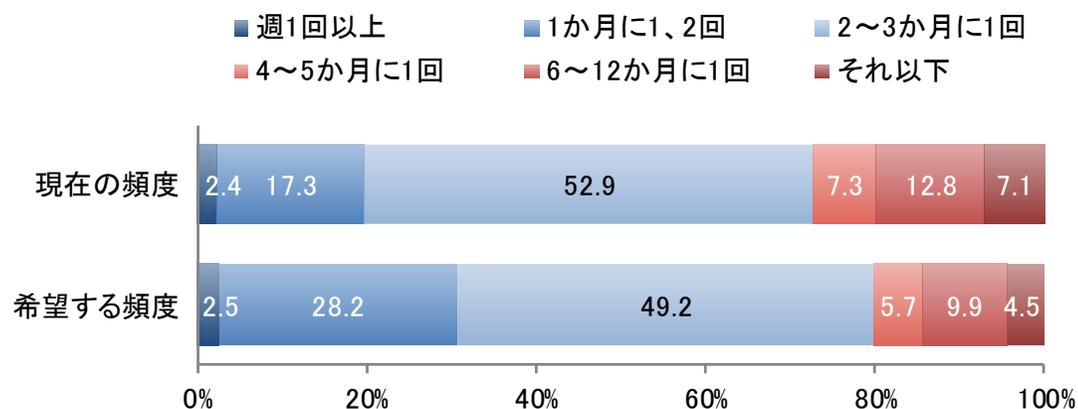
5-4. 営業担当者とのコミュニケーションの頻度や内容は？

コミュニケーション頻度は「2～3か月に1回」が半数超。内容は「就業条件」が半数。

コミュニケーション頻度は、「2～3か月に1回」が52.9%で、半数超となっています。希望する頻度は、「2～3か月に1回」が49.2%で最も多く、次いで「1か月に1、2回」（28.2%）となっています。

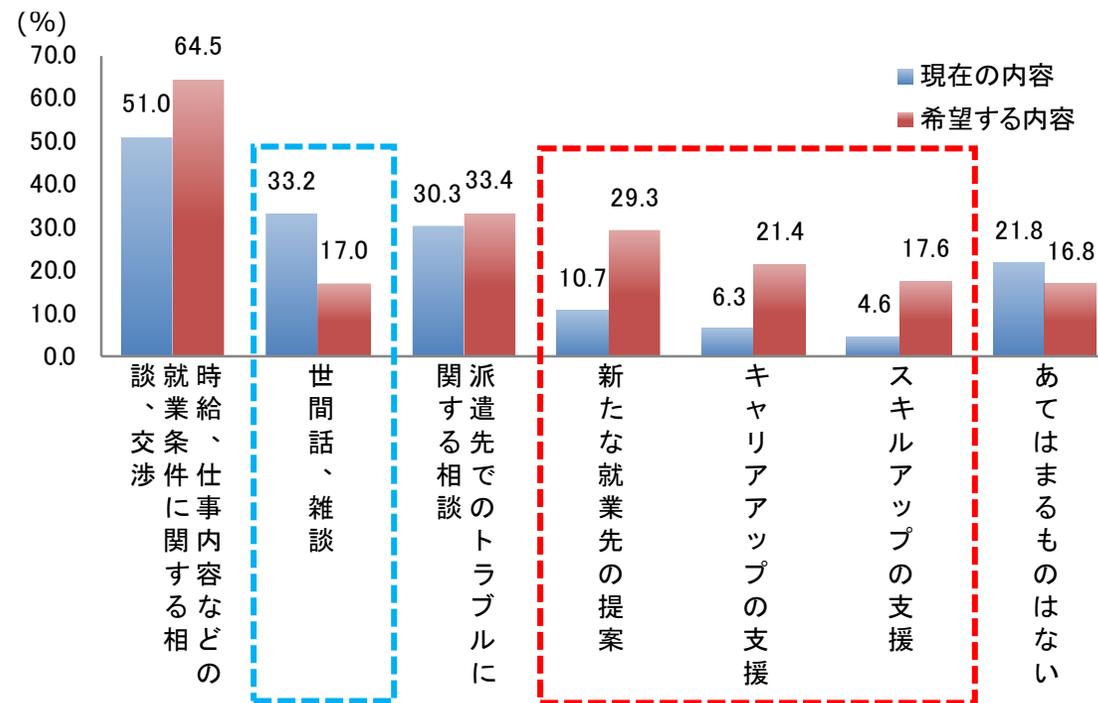
内容は、現在の内容・希望する内容ともに、「時給、仕事内容などの就業条件に関する相談、交渉」が51.0%・64.5%と、最も多くなっています。

【図表49】現在のコミュニケーション頻度[SA] N=5,245



**派遣社員の希望も踏まえたコミュニケーションが
できているかどうか確認を！**

【図表50】現在のコミュニケーション内容[MA] N=5,245



※現在の内容で降順ソート

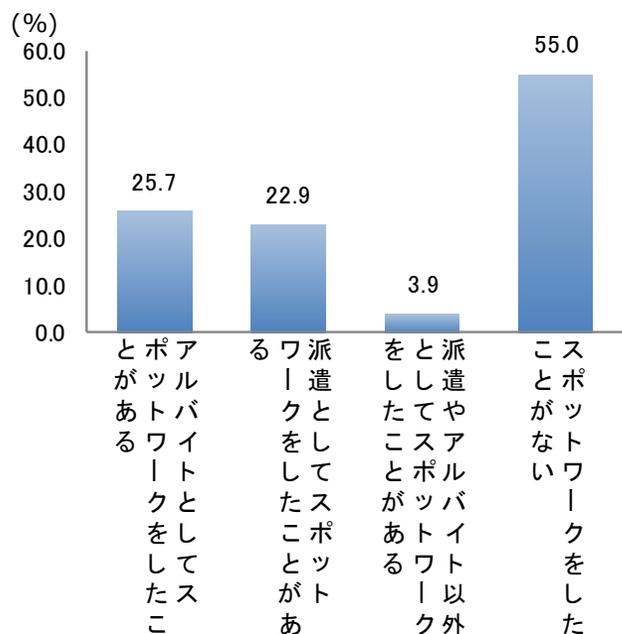
6. スポットワークについて

6-1. スポットワークの経験、就業意向は？

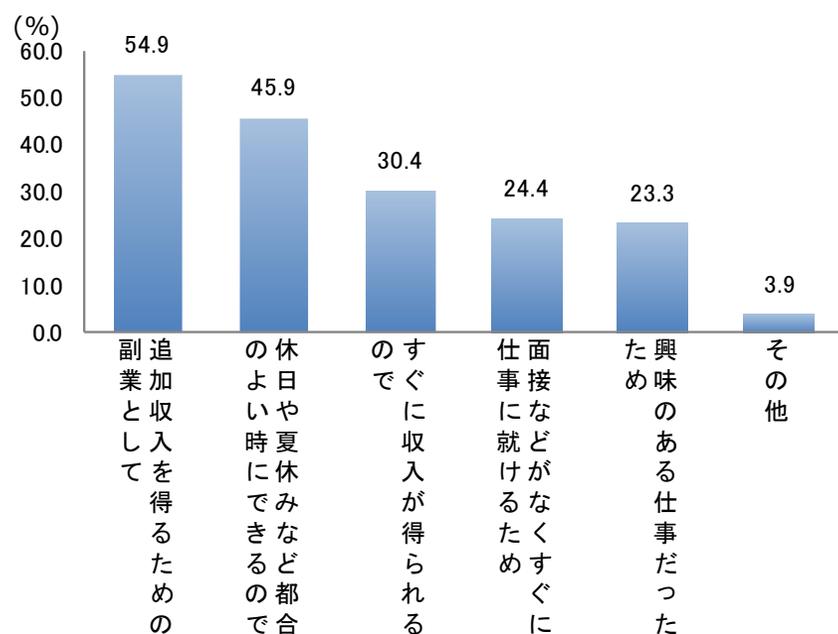
スポットワーク経験は「アルバイトとして」25.7%、「派遣として」22.9%。スポットワークを「したいと思う・計」は37.1%。スポットワークをした理由は「追加収入を得るための副業」が半数以上。

スポットワークを経験したことがある人は、「アルバイトとして」25.7%、「派遣として」22.9%となっています。「スポットワークをしたことがない」人は55.0%で、約半数はスポットワークをした経験があります。その理由について「追加収入を得るための副業として」が54.9%で最も多く、次いで「休日や夏休みなど都合のよい時にできるので」（45.9%）、「すぐに収入が得られるので」（30.4%）となっています。今後、スポットワークをしたいと思うかは、「したいと思う・計」が37.1%で、「したいと思わない・計」33.8%よりもやや多い結果になりました。

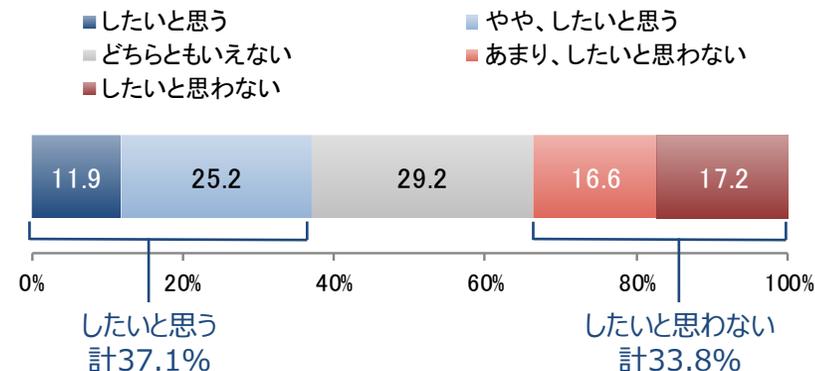
【図表51】スポットワーク経験有無[MA] N=5,245



【図表52】スポットワークをした理由[MA] N=2,360 (スポットワーク経験ありの人)



【図表53】スポットワークをしたいと思うか[SA] N=5,245



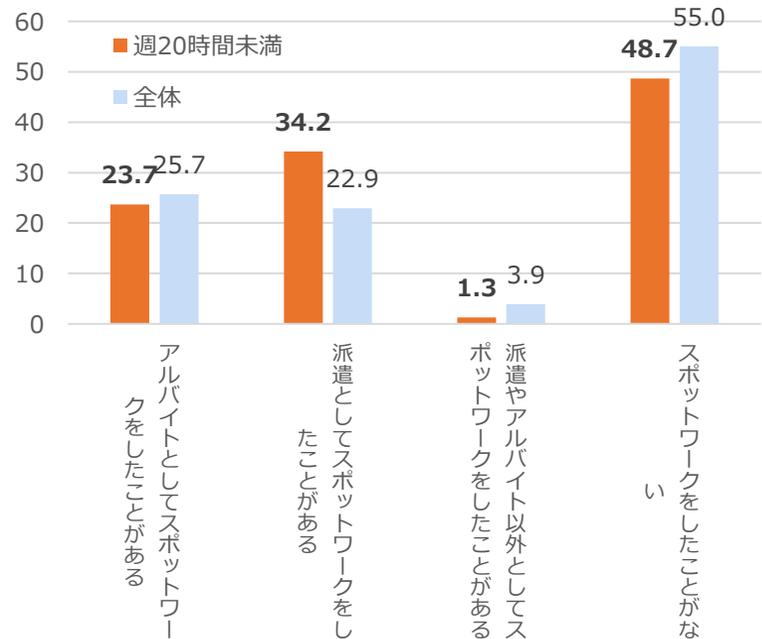
※TOTALで降順ソート

※TOTALで降順ソート

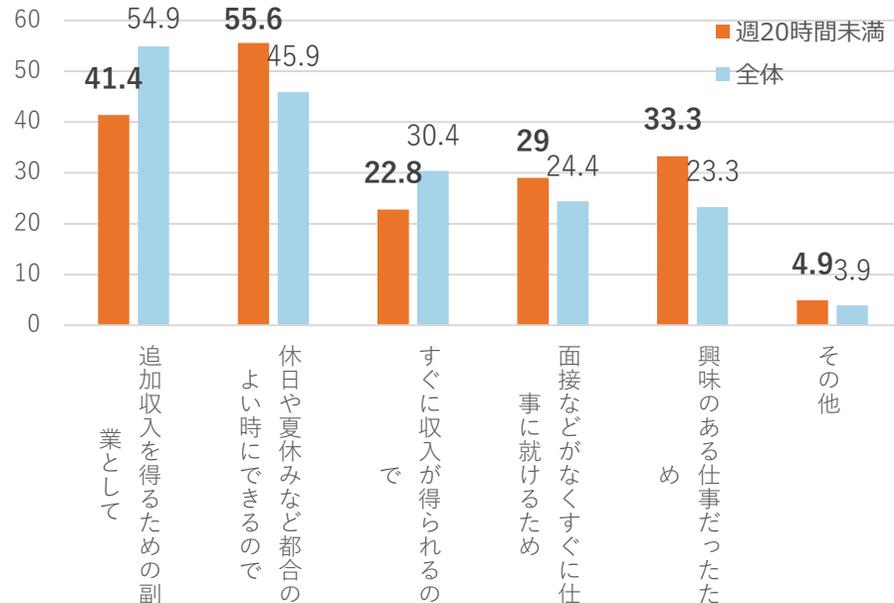
参考 スポットワークの経験、意向について（週20時間未満のみ）

所定労働時間が週20時間未満の人では、過半数がスポットワーク経験があると答えています。そして、その理由で最も多いのは「休日や夏休みなど都合のよい時にできる」、次いで、「追加収入を得るため」でした。また、「興味のある仕事だった」が全体と比べて高めになっています。今後の意向については、「したい」が合計で40.5%で、これも全体よりも高くなっています。

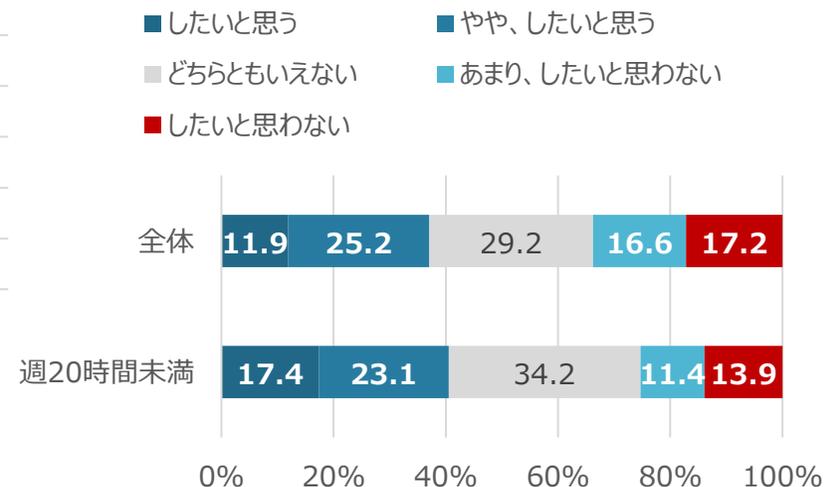
スポットワーク経験有無[MA]



スポットワークをした理由[MA]
(スポットワーク経験ありの人)



スポットワークをしたいと思うか[SA]



7. 現状の満足度、悩み、ストレスなどについて

7-1. 現在の満足度と今後の見通し

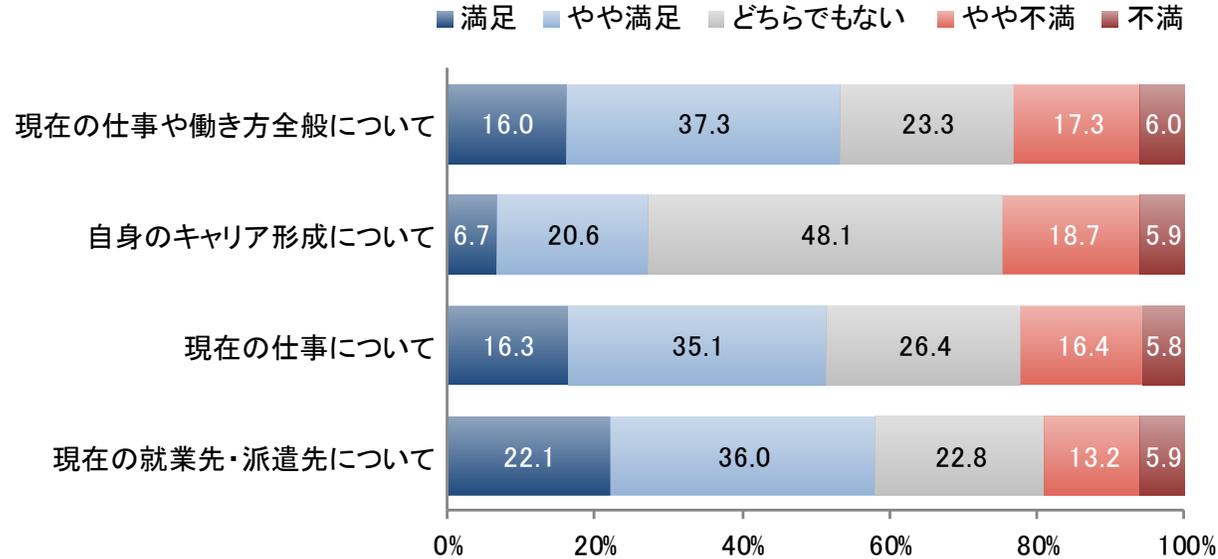
現在の仕事や働き方の満足度は高いが、キャリア形成についての満足度は低い。

現状の満足度は、現在の就業先・派遣先で高く、「満足」、「やや満足」と答えた人の計が58.1%となっています。一方、自身のキャリア形成の満足度は27.3%と、3割弱となっています。

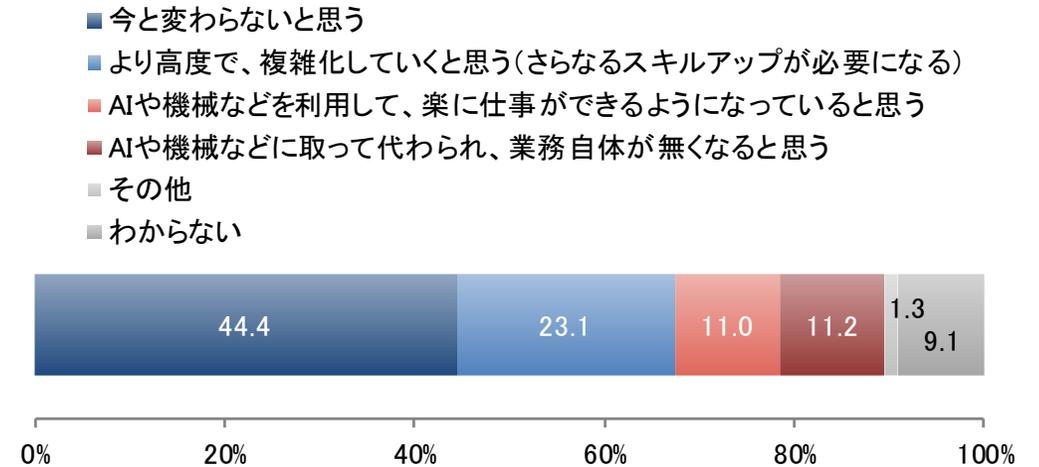
現在の業務内容は今後も「今と変わらないと思う」が4割超。

現在の業務内容はどのように変化していくと思うかは、「今と変わらないと思う」が44.4%で、最も多くなっています。次いで、「より高度で、複雑化していくと思う（さらなるスキルアップが必要になる）」（23.1%）となっています。

【図表54】現状の満足度[SA] N=5,245



【図表55】現在の業務内容はどのように変化していくと思うか[SA] N=5,245

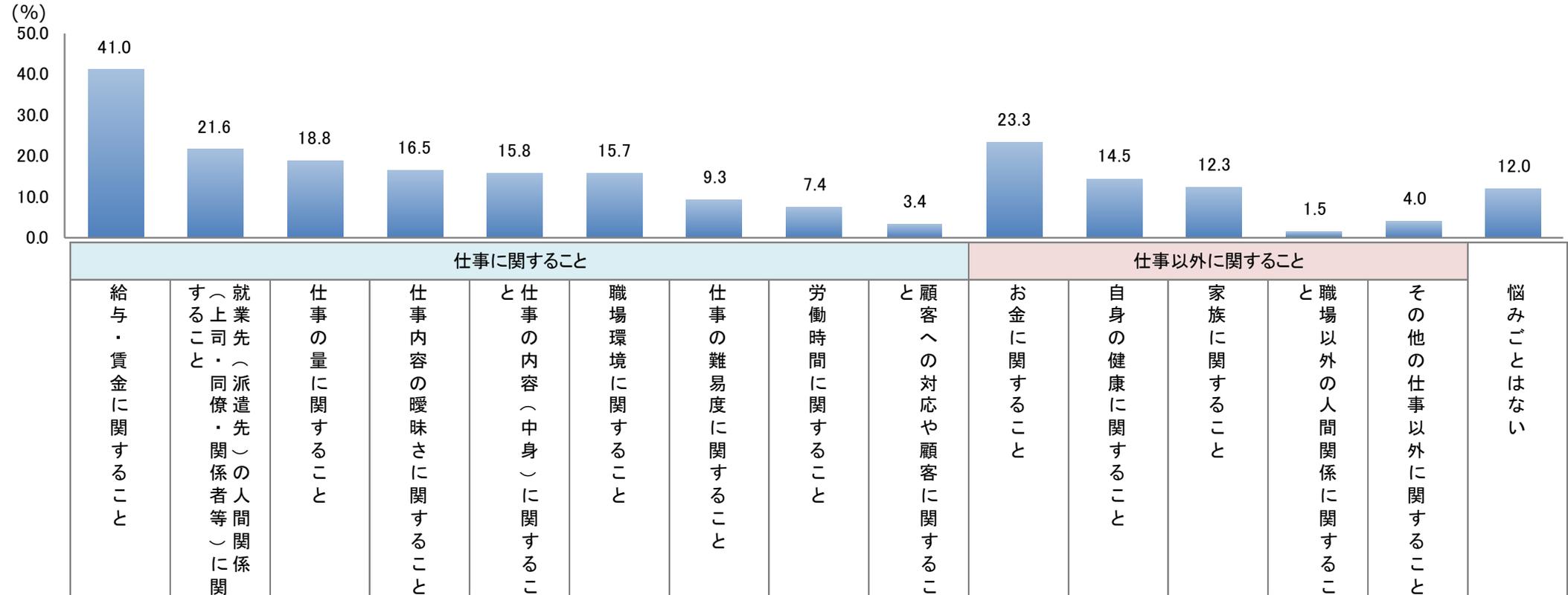


7-2. 現在の悩み

現在悩んでいることは、4割が「給与・賃金に関すること」。

現在悩んでいることは、仕事に関することでは「給与・賃金に関すること」が最も多く41.0%、次いで「就業先（派遣先）の人間関係（上司・同僚・関係者等）に関すること」が21.6%となっています。仕事以外に関することでは「お金に関すること」が23.3%で最も多くなっています。仕事・仕事以外ともに、お金に関する悩みが多いことがわかります。

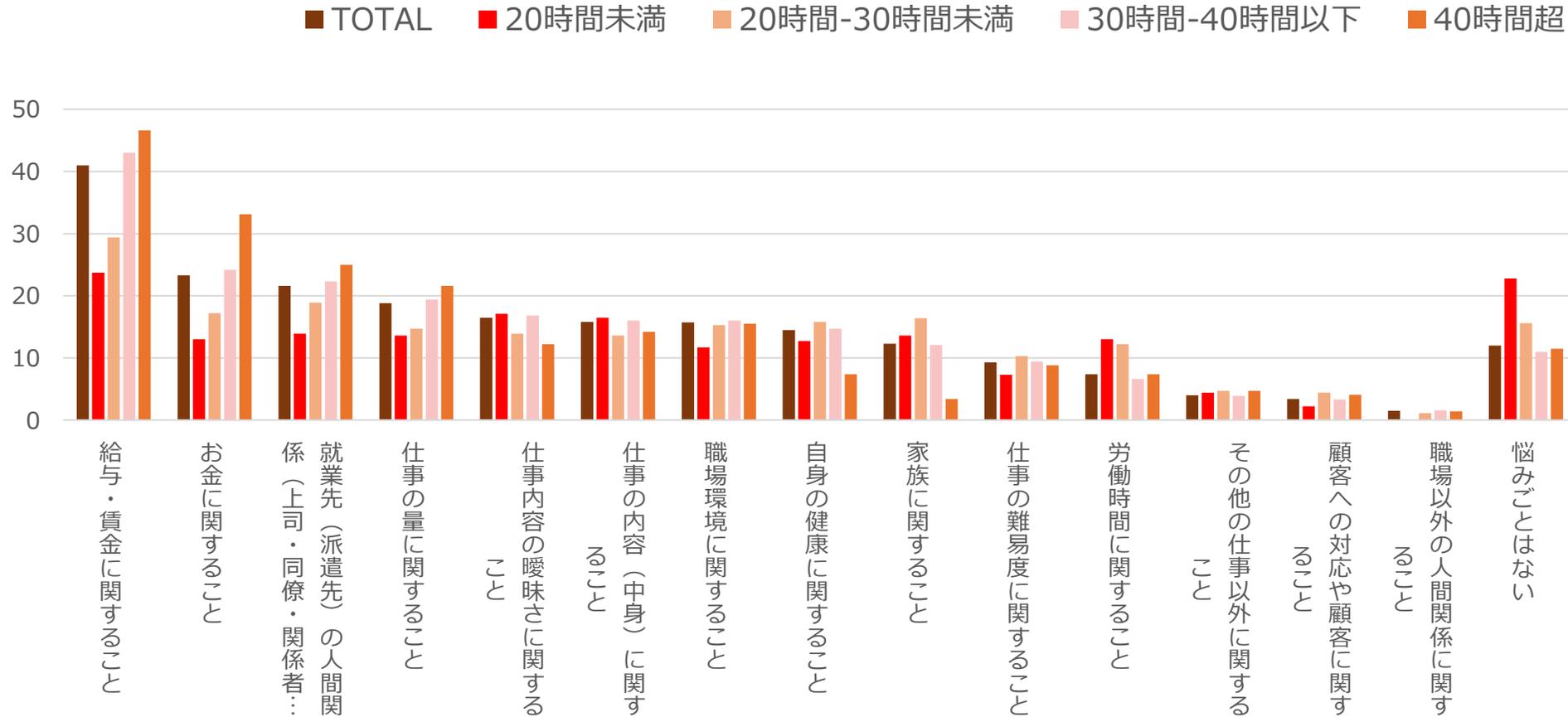
【図表56】現在悩んでいること[MA] N=5,245



※各項目内で降順ソート

7-2. 現在の悩み（所定労働時間別）

週20時間未満の人では「悩み事はない」が最も多い。労働時間が長いほど給与やお金、仕事に関する悩みが増える。



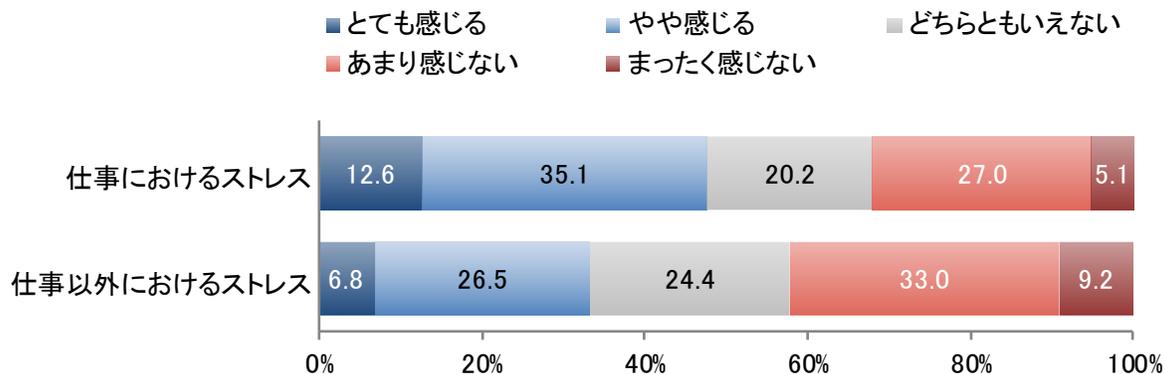
※各項目内で降順ソート

7-3. ストレスについて

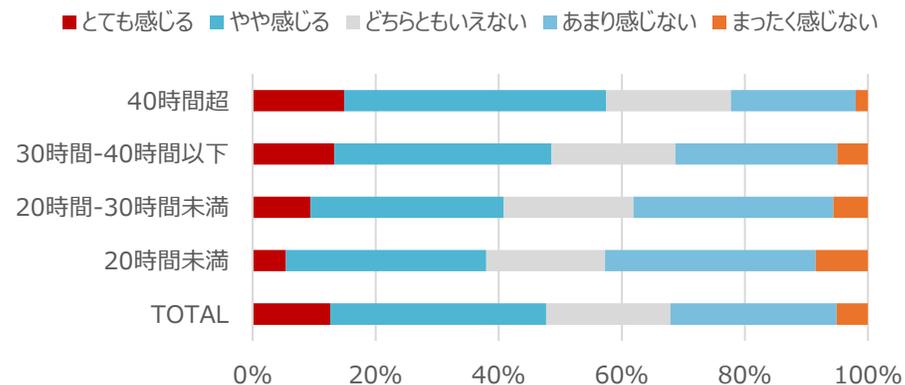
仕事では半数弱、仕事以外では3割がストレスを感じる。

ストレスを感じる程度は、仕事で「とても感じる」、「やや感じる」と答えた人の計が47.7%で、半数弱を占めています。一方、仕事以外では「あまり感じない」「まったく感じない」と答えた人の計が42.2%で、ストレスを感じる人より感じない人の方が多くなっています。また、所定労働時間が長いほど、仕事におけるストレスを強く感じていることがわかります。

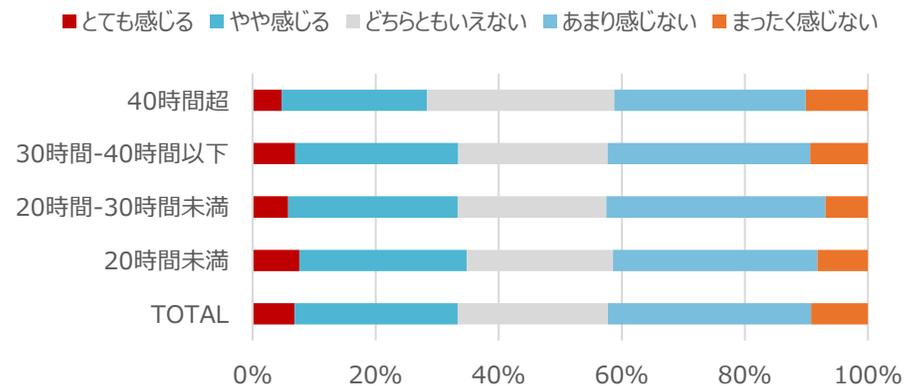
【図表57】ストレスを感じる程度[SA] N=5,245



仕事におけるストレス



仕事以外におけるストレス



8. 回答者のプロフィール

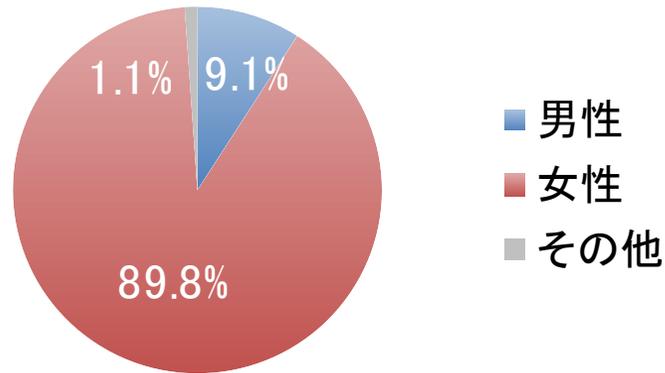
8-1.回答者の性別・年齢

●性別

約9割が「女性」。

現在、派遣で働いている人の89.8%が女性です。

【図表58】性別[SA] N=5,245



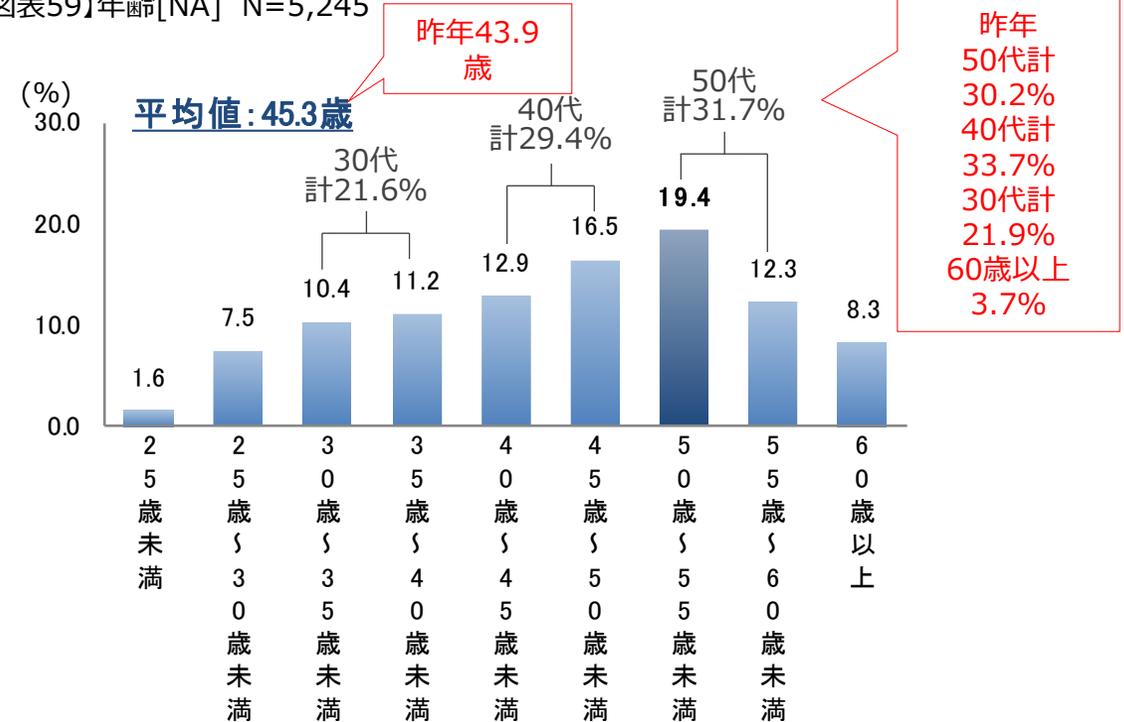
●年齢

「50代」が3割。平均は45.3歳。

年齢層で最も多いのは、「50歳～55歳未満」（19.4%）、全体の平均年齢は45.3歳でした。

年代では50代が最も多く、31.7%です。次いで多いのが40代（29.4%）で、30代（21.6%）を上回っています。また、60歳以上の割合が昨年から4.6pt増えで8.3%と倍増しました。

【図表59】年齢[NA] N=5,245



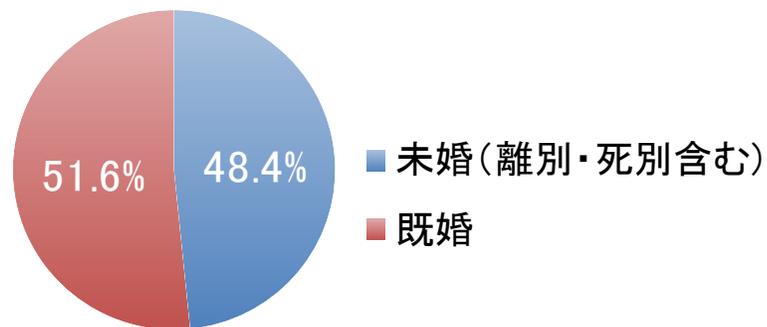
8-2. 家庭・家族の状況①

● 未既婚・子どもの有無

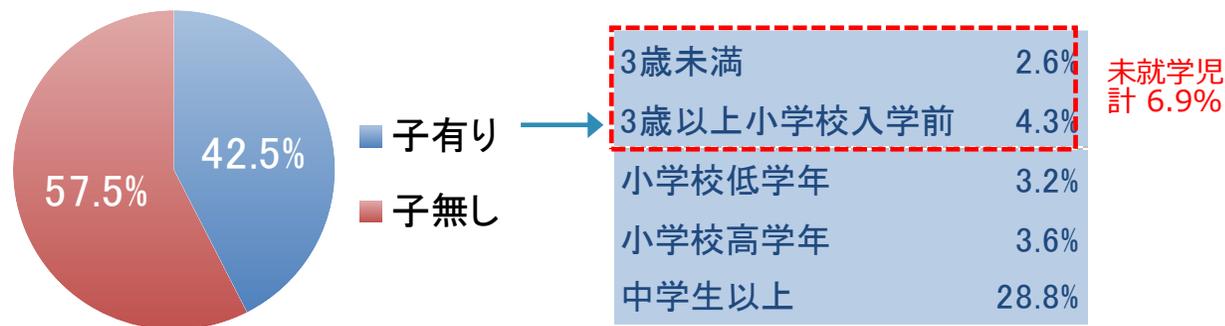
過半数が既婚。子育て中は4割超。

未婚者が48.4%で、既婚者が51.6%。
子育てをしている人は4割超（42.5%）で、未就学児を育てながら働く人は6.9%です。

【図表60】未既婚[SA] N=5,245



【図表61】子どもの有無[SA] N=5,245

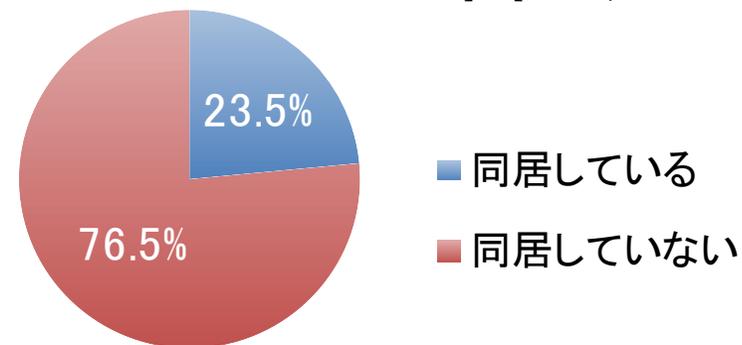


● 親との同居・介護

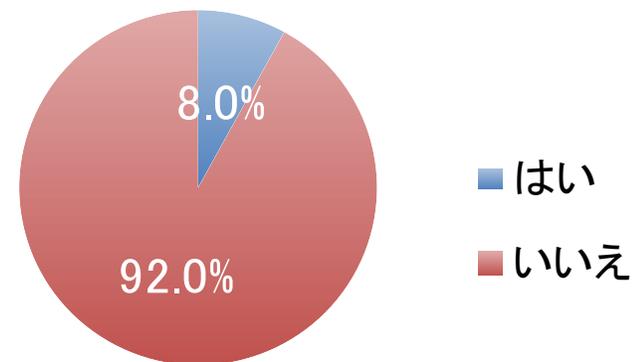
2割が「親と同居」。家族の介護をしている人は8.0%。

親と同居している人は23.5%。家族の介護をしている人は8.0%です。

【図表62】親（義理の父母含む）との同居有無[SA] N=5,245



【図表63】家族の介護の有無[SA] N=5,245

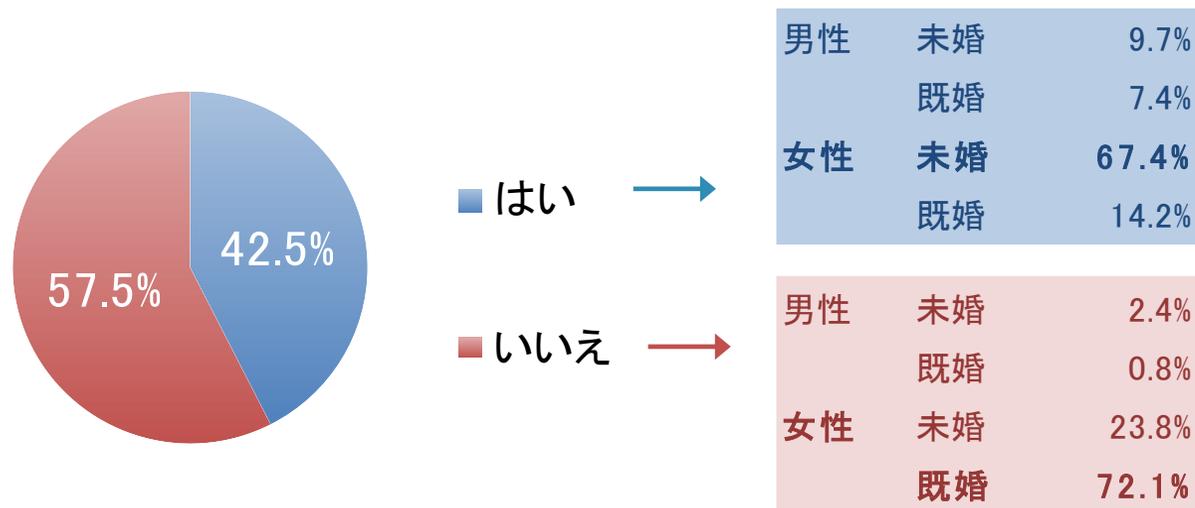


8-2. 家庭・家族の状況②

家計の主たる担い手は4割、そのうち6割強は未婚女性。

派遣で働き、家計の主な担い手となっている人は42.5%。そのうち6割強（全体の28.7%）は未婚の女性です。一方で、家計の主な担い手でない人（57.5%）の7割（全体の41.4%）が既婚女性となっています。

【図表64】家計の主な担い手[SA] N=5,245



日本人材派遣協会について

[名 称] 一般社団法人 日本人材派遣協会

[設 立] 1986年12月1日

[代表者] 川崎 健一郎

[会員数] 803社（2025年1月1日現在）

[所在地] 〒105-0004 東京都港区新橋1-18-16 日本生命新橋ビル2F

[H P] <https://www.jassa.or.jp>

[連絡先] TEL : 03-6744-4130 FAX : 03-6744-4129 e-mail : jigyo@jassa.or.jp

【お問い合わせ先】

一般社団法人 日本人材派遣協会 事務局 広報室

TEL : 03-6744-4130 FAX : 03-6744-4129 e-mail : jigyo@jassa.or.jp